

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

中部ブロックにおける社会資本整備重点計画
(原案)

目次

第1章 中部ブロックにおける社会資本整備を取り巻く社会経済情勢

1. 中部ブロックの特徴	1
(1)ものづくりに秀でた産業特性	1
(2)地形地質・治水特性	1
(3)巨大災害の切迫、インフラ老朽化	2
(4)自然・歴史文化など多種多様な地域資源	2
(5)ものづくりの高付加価値化	3
(6)ゆとりある生活環境	3
2. 中部ブロックにおける社会情勢の変化	4
(1)国内外の経済状況の変化	4
(2)巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害への備え、国土保全	5
(3)インフラの老朽化	6
(4)リニア中央新幹線開業で日本最大の交流圏の中心地化	7
(5)地域社会の変化	8
(6)デジタル革命の本格化	9
(7)グリーン社会の実現に向けた動き、ライフスタイルや価値観の多様化	9
(8)新型コロナウイルス感染症の拡大	10
3. 中部ブロックの将来像	11
(1)中部ブロックの将来像	11

第2章 今後の中部ブロックの社会資本整備の方向性

1. 社会資本整備の中長期的な目的と計画期間内の社会資本整備の目標	13
(1)社会資本整備の中長期的な目的	13
(2)計画期間内の社会資本整備の目標	13
2. 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性	14
3. 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組	14

第3章 中部ブロックにおける社会資本整備の重点目標

重点目標1:経済の好循環を支える基盤整備	15
小目標1－1:ものづくり中枢圏・中部強化	15
小目標1－2:リニア効果最大化	25
小目標1－3:新たな中部観光交流圏形成	29
重点目標2:防災・減災が主流となる社会の実現	34
小目標2－1:南海トラフ地震に備えた国土強靱化	34
小目標2－2:スーパー伊勢湾台風等大規模災害対策	49
小目標2－3:適切な国土保全強化	59

1	重点目標3:持続可能なインフラメンテナンス.....	69
2	小目標3-1:戦略的なメンテナンスサイクル構築	69
3		
4	重点目標4:持続可能で暮らしやすい地域社会の実現.....	77
5	小目標4-1:地方創生地域支援.....	77
6	小目標4-2:ハード・ソフト両面のバリアフリー化による移動等円滑化.....	81
7		
8	重点目標5:インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)	82
9	小目標5-1:メンテナンス産業強化	82
10		
11	重点目標6:インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による	
12	生活の質の向上	85
13	小目標6-1:中部の魅力を高める快適安心生活環境.....	85
14	小目標6-2:環境共生・美しい豊かな国土づくり.....	91
15		
16	第4章 計画を推進するための方策	
17	1. 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施	96
18	2. 社会資本整備への多様な主体の参画・協働と透明性・公平性の確保	96
19	(1)関係機関等の連携強化.....	96
20	(2)社会資本整備への多様な主体の参画と透明性・公平性の確保	96
21	3. 社会資本整備における生産性の向上.....	96
22	(1)社会資本整備に関する情報基盤の強化.....	97
23	(2)効果的・効率的な社会資本整備のための技術開発の進展	97
24		

第1章 中部ブロックにおける社会資本整備を取り巻く社会経済情勢

1. 中部ブロックの特徴

(1)ものづくりに秀でた産業特性

我が国の成長エンジンの一翼を担う中部のものづくり産業には、これを支えるカイゼンマインド¹を持った優秀な人材(人材力)や、現場でのすり合わせによる生産技術(技術力)、これらの力を有する企業の密接なる集積と、最先端の研究開発を行う大学や研究機関などの知的基盤の集積(集積力)があり、この企業の単体による力と連携・つながりによる力を高め、地域全体が発揮するものづくり力を維持・強化させる「ものづくりマザー機能」がこれを支えている。

この「ものづくりマザー機能」を常に進化させることで、自動車産業などをリーディング産業へと導き、我が国の製造品出荷額等(2019年)の27%を占め、また、約72兆円(2015年度)の域内総生産を生み出す「ものづくり中枢圏域」として発展し国際競争を牽引している。

また、第4次産業革命の進展、CASE(コネクティッド(C)、自動運転(A)、シェアリング(S)、電動化(E))やMaaS(Mobility as a Service)など本地域の中心産業である自動車産業における変革にも対応していくため、2020年7月にスタートアップエコシステム「グローバル拠点都市」²に認定された愛知県・名古屋市及び浜松市地域における世界に伍するグローバルなスタートアップエコシステムの形成など、イノベーションの創出に向けた取組を推進している。

中部における最先端を行く研究力は、産業界と大学、行政等の密接な連携により、名古屋大学、名城大学に縁のあるノーベル賞受賞者を7名輩出するなど着実に結実し、ものづくりの高度化へとつながっている。さらなる研究力の強化は、自動車関連産業や航空宇宙産業等を次世代産業に発展させる大きな力になっていく。

(2)地形地質・治水特性

中部の山地部は中央構造線や糸魚川・静岡構造線などに起因し脆弱で、木曽川や熊野川、天竜川、大井川など我が国有数の200km級の急流河川が流れ、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯に広がる濃尾平野など沖積平野に流れ込む地形を成している。

その地形地質特性から、中部では洪水との闘いが繰り返され発展してきたといえる。

徳川家康が名古屋城築城に合わせて、木曽川沿いに延長48kmに及ぶ御囲堤を築き尾張を洪水から守る

一方で、木曽三川の中下流域では、輪中堤の整備や宝暦治水など治水対策に取り組み、



図1 木曽三川河口部

¹ 業務や生産のムリ・ムラ・ムダを削減し、業務効率・生産効率を高める取組であるカイゼン活動によって自発的に生産性や品質の向上へ取り組む風土・土壌。

² 内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点形成計画を選定するもの。「グローバル拠点都市」には全国4地域が選定されている。

新田開発など国力増強につながってきた。

明治に入り近代国家建設が始まると、国家プロジェクトとして木曾三川の完全分流工事（明治改修）が行われ、また、伊勢湾台風を契機に高潮防潮堤や海岸堤防の整備などが進められた。加えて、長島ダムや徳山ダム建設などにより治水安全性が高められ、中部の発展に大きく貢献してきた。

(3) 巨大災害の切迫、インフラ老朽化

中部は、地形・地質・気象等の国土条件により、従来から自然災害による甚大な被害に見舞われてきた。

こうした中、近年、地球温暖化による気候変動の進行により、短時間強雨の発生頻度が増え、氾濫危険水位を超える河川数が増加するなど、水災害等が激甚化・頻発化している。

今後も更なる降雨量の増加による洪水や土砂災害の激化が見込まれるとともに、平均海面水位の上昇や高潮のリスクの増大も予測されている。降雪・積雪は減少傾向がみられるものの、短期間で記録的な降雪となるリスクがある。

また、地震についても、今後 30 年以内の発生確率が、首都直下地震では 70% 程度、南海トラフ地震では 70～80% と高い確率で予測され、発生した場合には甚大な被害が想定される。

さらに、火山についても、我が国は世界の活火山の約 1 割を有する世界有数の火山国である。平成 26 (2014) 年には御嶽山が 7 年ぶりに噴火を起こすなど、いつ大規模噴火が起こってもおかしくない状況である。

中部では、可住地が限られており、災害リスクの高い地域に人口や資産が集中している。

また、近年では、サプライチェーンの高度化・複雑化に伴い、災害発生時の交通ネットワークの途絶により、広域にわたり大規模な被害が発生している。

中部のインフラは、その多くが高度経済成長期以降に整備されており、今後、建設から 50 年以上経過する施設の割合は加速度的に増加することが見込まれる。

施設点検の結果、修繕などの措置を早急に行うことが必要な施設が多数存在している。

自然災害が激甚化・頻発化する中で、整備したインフラが事前防災として大きな効果を発揮するためには、平素からの維持管理が不可欠であり、インフラの維持管理・更新を計画的に進めていくことが重要である。

また、中部のインフラの多くを管理している市区町村では、土木部門全体の職員数が減少し、中部の市町村の 5 分の 2 は技術系職員が配置されていない。

(4) 自然・歴史文化など多種多様な地域資源

世界文化遺産の富士山・熊野古道・白川郷・五箇山・葦山反射炉、9ヶ所の自然豊かな国立公園、ユネスコエコパークやジオパーク等特色ある地形・地質資源など、また、世界農業遺産の「静岡の茶草場農法」「清流長良川の鮎」「静岡水わさびの伝統栽培」等次世代へ継承すべき地域固有の里山・里川環境、雄大な自然などを背景に営まれてきた田園風景や農山漁村など多種多様で美しい風土・風景、景観がある。

また、古いまちなみや城郭、武将、忍者などの歴史文化資源、伊勢神宮や熱田神宮など

1 の精神文化、海女や鵜飼などの漁撈(ぎょうろう)文化、山海資源や醸造技術などを活用した
 2 独特の食文化、地歌舞伎や祭り等伝統文化が継承されている。加えて、自動車分野などの
 3 最新テクノロジーにも触れる産業観光施設や、ものづくり産業の系譜を体感できる産業遺産
 4 など、ものづくり中部ならではの資源もある。



図2 中部の主な世界文化遺産(左:熊野古道 中央:白川郷 右:葦山反射炉)

(5)ものづくりの高付加価値化

激化する国際競争の中で、価格競争に陥ることなく、機能性や付加価値で差別化を図っていくことが重要となる。

そのため、ICTやロボット技術を活用した効率的な開発・設計・試作・生産の一貫体制の構築や、ものづくりと情報処理やデザインなどサービス機能の融合、連携強化を図っていくことが求められる。

(6)ゆとりある生活環境

名古屋圏は、東京圏や関西圏に比べて平均通勤時間が2割から4割短い³など職住が比較的近接し、通勤・通学時の鉄道の極端な混雑もないなど優位な生活環境にある。また、一人当たりの居住空間が広く、都市と自然が近接しているなど他の大都市圏に比較して生活環境にゆとりがある。

新型コロナウイルス感染症の拡大はゆとりある生活環境への志向の高まりをもたらしており、テレワークなどの新しい働き方の普及、リニア中央新幹線の開業により名古屋駅が首都圏と40分で結ばれることなどを背景に、中部圏のゆとりある生活環境の魅力が大きく高まっている。

また、中部圏は三世帯世帯比率が首都圏、近畿圏の約2倍、合計特殊出生率⁴は首都圏、近畿圏、また全国平均をも上回っており、地域コミュニティの強みもあり、子育て世代が親世代や地域の協力を得て子供を産み育てやすい環境にある。

加えて、ものづくりを中心とした産業力や、都市部における大学や病院、文化施設等高次都市機能の集積を活かすことで、国内外から多様な人材を惹きつける潜在力を有している。

このような中、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、まちなかウォーカブル推進事業に基づく「ウォーカブル推進都市」として国内外の先進事例の情報共有や、政策づくりに向けた国と地方とのプラットフォームに参加するなど、ウォーカブルなまちづくりが複数の地域で進められている。

³ 平成30年度住宅・土地統計調査(総務省)による。

⁴ 15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

2. 中部ブロックにおける社会情勢の変化

(1) 国内外の経済状況の変化

(1)－1 中部の経済成長に大きな役割を果たしてきた社会資本整備の発展

東海環状自動車道東回りや新東名高速道路等の沿線では工業団地整備や企業立地などが進み、また、国内投資の増強を図る企業も現れるなど、高速交通ネットワークの進展が地域経済の発展や雇用などに貢献してきている。

東海環状自動車道東回りでは沿線の工業団地が開通前後で約2倍に増加し、また、沿線市町の製造品出荷額が約1.4倍に増加するなどストック効果が大きく発現された。

また、東海北陸自動車道の全線開通は中部と北陸の距離を大きく短縮し、産業や観光などのつながりが強まりつつある。

我が国の製造品出荷額の約3割を占める中部圏を背後圏とし、総取扱貨物量・輸出額ともに全国1位である名古屋港では、大水深岸壁の整備とともに、官民の連携により、日本初の自働搬送台車(AGV)や、世界初の遠隔自働ラバータイヤ式ガントリークレーン(RTG)の導入などIT自働化コンテナターミナル等が整備され、国際物流の効率化が図られている。

近年、ものづくりの国際競争が一段と厳しさを増す中で、市場の成長が期待される次世代自動車など自動車関連産業や航空宇宙産業、ヘルスケア産業、環境産業等を新たな戦略産業に位置づけた国際競争力の強化に、産学官民が一体となり取り組んでおり、それを支える道路と空港、港湾などが連携したさらなる交通ネットワークの強化が不可欠である。

(1)－2 増加、多様化する観光産業、昇龍道プロジェクトの進展

国際大交流時代を迎える中で、中部北陸9県⁵では産官の連携により平成24(2012)年3月より「昇龍道プロジェクト」に取り組み、その結果昇龍道エリアの外国人延べ宿泊者数が平成24(2012)年から令和元(2019)年にかけて4.6倍に増加するなど、その成果が現れている。

また、令和8(2026)年のアジア競技大会の開催や令和4(2022)年秋の開業を目指すジ

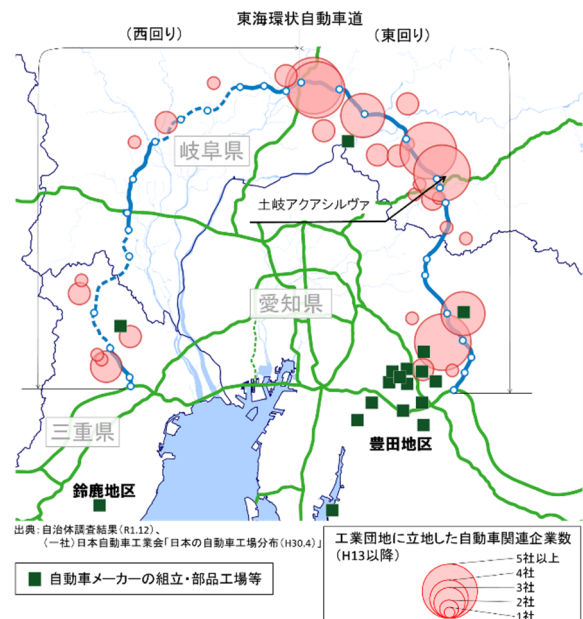


図3 東海環状沿線の自動車関連企業立地

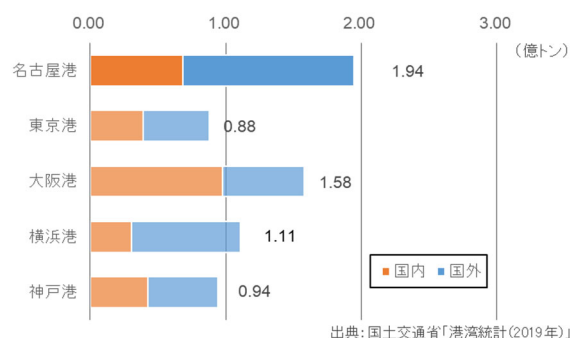


図4 5大港の取扱貨物量 (令和元年)

⁵ 富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び滋賀県の区域を一体とした区域（中部圏開発整備法の対象区域）

ブリパークなどを踏まえ、さらに増加が期待される訪日観光需要を取り込んでいくため、中部の多様な資源を磨き上げ、それらをネットワークしストーリー性・テーマ性を持った多様な広域観光周遊ルートの構築、提供、また、それを支える空港等のイン・アウト拠点の機能強化や受入環境の整備、交通ネットワークの強化が求められる。



図5 昇龍道プロジェクトの進展

(2) 巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害への備え、国土保全

(2)－1 大規模自然災害

中部は、南海トラフ地震の発生が今後 30 年以内に 70～80%と高い確率で予測され、また、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯に広がる濃尾平野などエリアの6割が災害リスクを抱え、そこに人口の9割が居住し、近年の地球温暖化に伴う異常気象などにより、災害も激甚化・頻発化しており、安全・安心が脅かされている。南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風、御嶽山や富士山などの火山災害の恐れなど、大規模自然災害に備えたハードとソフトが一体となった防災・減災対策が求められる。

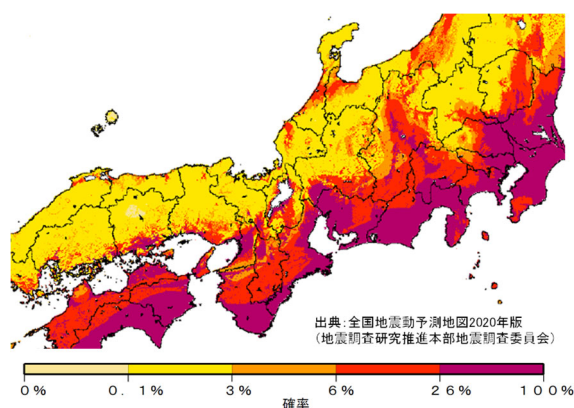


図6 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(2020年)

さらに、太平洋・日本海2面活用の強靱な国土を構築し、また首都直下地震が切迫する中で、首都圏機能をバックアップする体制を強化していくため、中部・北陸に跨がる二重、三重に多重性・代替性を確保した幹線道路ネットワークの拡充を図るなど、中部の防災力強化が求められる。



図7 中部の抱える災害リスク

(左: 長野県木曽郡南木曽町で発生した土石流災害(平成26年7月) 右: 由比地すべり対策事業(静岡市清水区))

(2)－2 渇水リスク増大

中部では豊かな水資源を背景にして、ものづくり産業や農業などが発展してきたが、近年の気候変動に伴い渇水が頻発化、長期化、深刻化し、さらなる渇水被害が発生することが懸念されている。

また、最近 30 ヶ年で渇水による上水道の減断水が発生した状況をみると、東三河地域、西三河地域、尾張地域の減断水の発生頻度は高く、特に東三河地域は全国的にも高頻度の状況にあり、生活用水、工業用水等の安定的な水の供給に向けた対策が求められる。

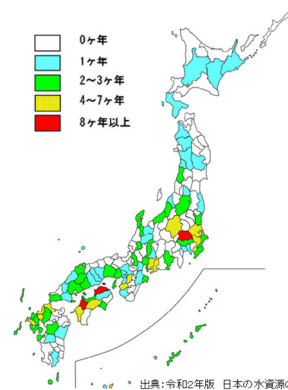


図8 最近30 ヶ年で渇水による上水道の減断水が発生した状況

(2)－3 国土の適切な保全

山地部の地質が脆弱なことから侵食による土砂の流出が多く、河川の河床上昇や河道・河口閉塞を招き洪水氾濫の危険性を増大させている。

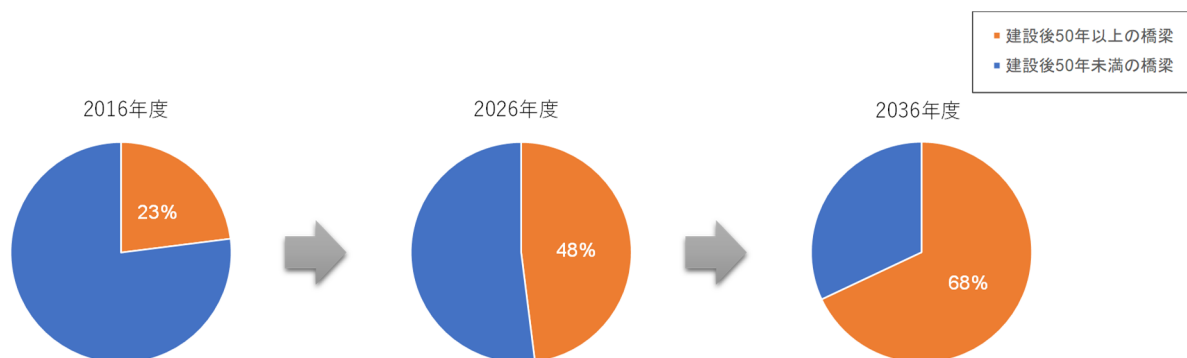
また、土砂移動の遮断等による河川環境への障害や、陸域から海域への土砂供給の減少による海岸侵食、高潮・波浪等に対する砂浜の持つ防災効果の低下、自然環境や海岸景観への影響など、土砂の流れに起因する安全上、利用上の課題が生じており、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理による国土の保全対策が求められる。

(3)インフラの老朽化

(3)－1 加速する社会資本の老朽化

国民の安全・安心や経済成長を支える道路や河川、港湾などの社会資本は昭和 39 (1964) 年の東海道新幹線や昭和 40 (1965) 年の名神高速道路の全線開通を契機に迎えた高度成長期以降に集中的に整備され、中部の発展に大きく貢献してきた。

一方で今後、老朽化した社会資本の割合が急速に増加すると見込まれ、その維持管理・更新費用も増加すると見込まれることから、戦略的な維持管理・更新に取り組み、トータルコストの縮減・平準化を図っていくことが求められる。



出典：橋梁の長寿命化修繕計画（平成29年12月中部地方整備局）

図9 中部地方整備局管内の橋梁の老朽化（橋長2 m以上対象、2017年3月末時点）

(3)－2 地域の守り手としての建設業

建設業は、災害発生の有事の際は住民の生命と財産、生活を守る最前線に立つ地域の守り手として不可欠な基幹産業であるが、労働者の高齢化などにより疲弊が進んでおり、地域の安全・安心の確保の観点からも建設業の強化並びに人材の確保・育成が求められる。

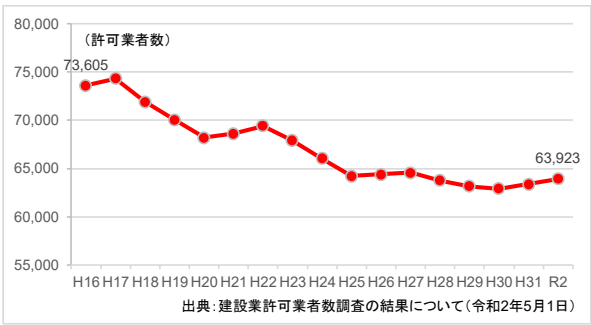
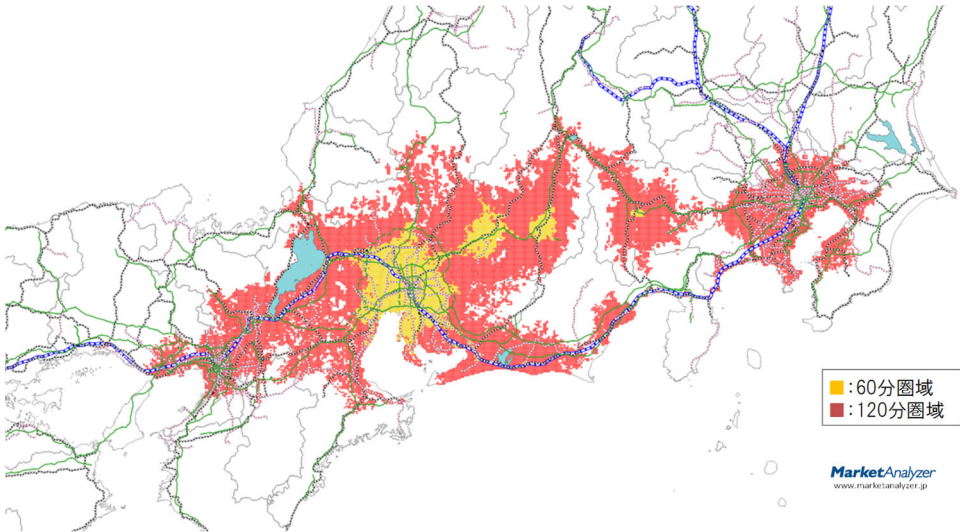


図 1 0 中部の建設業許可業者数推移

(4)リニア中央新幹線開業で日本最大の交流圏の中心地化

リニア中央新幹線の開業によって、東京－名古屋間が約 40 分、名古屋－大阪間が約 27 分で結ばれ、首都圏・近畿圏と一体的な都市圏として緊密な連携が可能となるスーパー・メガリージョンの形成が期待される。開業時期については、東京－名古屋間は 2027 年、名古屋－大阪間は最短で 2037 年と計画されている。

スーパー・メガリージョンの形成により、名古屋駅を中心として人口、事業所数、本社等の 2 時間圏の集積が日本最大となる。こうした背景から、中部ブロック内における企業活動および首都圏・近畿圏との交流の活発化によるイノベーションの促進や、R&D、拠点工場などの新たな適地の創出、リニアを活用した新たなライフスタイル・ワークスタイルの創出および国際的拠点性の向上が期待されている。



出典：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）作成

図11 圏域拡大のイメージ図：リニア開業（品川-名古屋間）後の時間圏（名古屋駅起点）

1 (5)地域社会の変化

2 (5)－1 人口減少・高齢化社会の進展

3 2050 年人口推計において、2010 年人口と比較
4 し人口の半数以上が減少する地域が約5割と推
5 計され、中山間地域などをはじめ地方部は人口
6 減少度合いが高く、急速に人口減少・高齢化社
7 会が進展すると見込まれる。

8 そうした中で、持続可能な地域経営を進めてい
9 くため、生活サービス・コミュニティ機能などの拠
10 点地区への集約(小さな拠点の形成)や都市のコ
11 ンパクト化、加えて都市・地域間の交流連携を支
12 える交通ネットワークの強化など人口減少に適
13 した地域づくり(コンパクト・プラス・ネットワーク)と
14 ともに、高齢化の進展に対応した、安全で安心な
15 生活環境、交通環境の整備が求められる。

16 また、地方移住への関心が高まるとともに、外
17 部から多様な形で継続的に地域と関わり、現地
18 の人々と交流する「関係人口」の存在も、地域の活性化や課題解決にとって重要になって
19 いる。

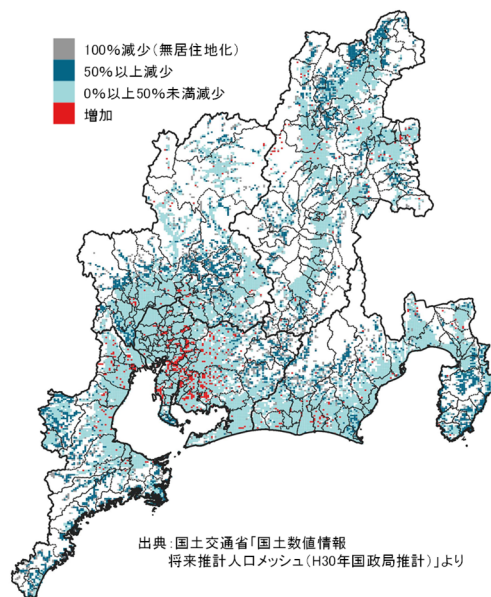


図 1 2 2010 年(平成 22 年)を 100 とした場合
の 2050 年(平成 62 年)の人口増減状況

21 (5)－2 自然環境の保全

22 豊かな自然と共生した持続可能な中部を構築していくため、生物の多様性を確保してい
23 くとともに、陸域と沿岸域、海域が一体となった自然環境の保全・再生及び活用を図ってい
24 く必要がある。

25 そうした中で、河川の水質については環境基準を概ね満足しているが、閉鎖性水域の水
26 質は環境基準を満足していない状況にある。

27 伊勢湾に流入する汚濁負荷量は着実に削減されてきており、当該水域における T-N(全
28 窒素)、T-P(全リン)の環境基準達成率は向上しているが、COD(化学的酸素要求量)は十
29 分な状況になく、引き続き適正な排出汚濁負荷量の削減や干潟・浅場の保全・再生などが
30 求められる。

32 (5)－3 温室効果ガスの排出抑制・大気環境の保全

33 気候変動の社会経済活動への影響が生じている中、平成 27(2015)年のパリ協定をはじ
34 め、温室効果ガスの排出削減に向けた国際的な機運が急速に拡大している。我が国におい
35 ても、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指し、積極的に温暖化対策を
36 行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな経済成長につながるという発想
37 の転換により、経済と環境の好循環をつくり出していくことが求められている。

38 自動車交通への依存度が高い中部として、自動車交通などから排出される温室効果ガ
39 スの低減を図ることは、地球温暖化に伴う異常気象の抑制のためだけでなく、我が国にお
40 ける脱炭素社会の実現に大きく貢献するものである。

また、地球温暖化緩和策のみならず、自然災害の激甚化・頻発化などの気候危機に対する気候変動適応策の推進を図ることが求められている。

(6) デジタル革命の本格化

(6)－1 技術革新の加速

20 世紀末以降、世界的に ICT 機器の普及が進み、AI、5G、クラウド等に至る革新的な技術の開発・社会実装が進むなど、デジタル技術が社会のあらゆる場面に広がり、人々の生活や経済活動のあり方が抜本的に変化してきた。

今後、デジタル技術やデータのさらなる活用により、あらゆる分野・セクターにおいて生産性向上や新たなサービスの創出が進み、社会課題の解決やイノベーションが進むことが期待される。

我が国では、「第5期科学技術基本計画」⁶において、ICT を最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society5.0」として強力に推進することとしている。

フィジカル空間の代表ともいえる社会資本整備分野においても、整備や維持管理に新技術を活用することでその高度化・効率化を図るとともに、インフラ自体に新技術を実装することでインフラのさらなる価値を発揮させることが求められる。

このような中、燃料電池自動車の実用化、量産化を世界に先駆けて実現したことは、水素社会実現に向けた我が国の大きなアドバンテージである。

(7) グリーン社会の実現に向けた動き、ライフスタイルや価値観の多様化

(7)－1 高齢化の進展

中部5県（長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県）の高齢化率⁷は、2050 年には 37.1%（全国 37.7%）に達すると推計される。

また、高齢者人口は、高齢化が先行して進む地方圏（三大都市圏以外）では、今後 2025 年をピークに減少へ転じることが推計されるが、東海3県では 2025 年以降も増加を続け、2045 年には 2010 年の 1.38 倍に達すると推計されるため、長期にわたり介護施設の不足などの課題が生じる可能性がある。

(7)－2 国民の価値観の変化

質の高い生活に対するニーズが拡大している。内閣府の「国民生活に関する世論調査」によると、「心の豊かさ」を重視する人の割合は年々高まっており、平成元（1989）年度には 49%であったところ、令和元（2019）年度には 62%にのぼっている。

また、同調査では、日頃の生活の中で充実感を感じる時として、「家族団らんの時」や「友人や知人と会合、雑談している時」が上位にのぼっており、身近な人との交流へのニーズも高い。

⁶ 平成 28 年 1 月 22 日閣議決定

⁷ 総人口に占める 65 歳以上人口の割合

加えて、モノの所有よりも体験に価値を見いだす、「コト消費」の需要も拡大している。

(8)新型コロナウイルス感染症の拡大

令和元(2019)年 12 月に中国湖北省武漢市で感染者が確認された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は世界規模に拡大するとともに、その脅威は継続している。

これにより、人々の考え方や行動、暮らし方、働き方は大きく変容した。本章の1. から2. で記載した様々な社会経済情勢も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、その傾向がより強くなったものもあれば、その傾向が弱まったものもある。

社会経済情勢の変化の傾向が強くなったものとして、非接触が求められる中のデジタル化・スマート化の必要性、地方移住への関心の高まりや企業の地方移転、テレワークやクラウドソーシング等の柔軟な働き方の広がり、テレワーク等を活用した地方・郊外での居住、二地域居住等の複数地域での住まいを实践する動き、東京一極集中リスクの認識拡大、サプライチェーンの多元化や製造事業者の国内生産拠点の整備などが挙げられる。

一方、東京圏への転入超過傾向などは、新型コロナウイルス感染症拡大前に比べ、弱まっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国内外を問わず、人の移動に制約が課されている。

これらの傾向の変化は、新型コロナウイルス感染症下における一時的なものとするか、それとも、新型コロナウイルス感染症収束後も引き続き続くものなのか、本重点計画策定後も引き続き注視していく必要があるが、デジタル化・スマート化や柔軟な暮らし方・働き方など、以前よりその必要性を指摘されていたものについては、新型コロナウイルス感染症による変化を契機として、関連する取組を強力に推進していく必要がある。

具体的には、i-Construction やスマートシティの社会実装等の社会資本整備のデジタル化・スマート化、「コンパクト・プラス・ネットワーク」等の多核連携型の国土づくり、バリアフリーやグリーンインフラ等の豊かで暮らしやすい地域づくりを進める必要がある。加えて、新型コロナウイルス感染症により、例えば、グローバルサプライチェーンについて、世界各地で寸断が生じ、物資の供給途絶や人材の移動の停滞等といった様々なリスクが顕在化したことを踏まえ、このようなリスクに強い社会経済構造を構築し、持続的な経済成長を実現する必要がある。

他方、国民の命と暮らしに関係のある自然災害リスクの増加、インフラ老朽化、人口減少・高齢化などは、引き続き重要な課題であり、どのような状況であっても、総力を挙げて取り組んでいく必要がある。

3. 中部ブロックの将来像

(1) 中部ブロックの将来像

計画期間が、2015年(平成27年度)から2025年(令和7年度)の中部圏広域地方計画では、以下の3点を中部圏の目指すべき将来の姿と位置付けている。

中部ブロックの社会資本整備計画は、中部圏広域地方計画に示す地方ブロックの方向性や地域戦略の実現に向け、地方ブロックにおける地方の特性に応じて社会資本を重点的・効率的かつ効果的に整備し、適切に維持管理・更新していくための社会資本整備の具体的な重点計画を示すものである。

今回策定する中部ブロックの社会資本整備重点計画は、現行の中部圏広域地方計画の計画期間内であることから、現行の中部圏広域地方計画で明示している、「中部圏の目指すべき将来像」を「中部ブロックの将来像」とする。

暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点－中部”

①世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ

世界の冠たるものづくり技術と品質。世界中から中部にビジネスチャンス求めて、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流。環太平洋・環日本海に拓かれた我が国の一大産業拠点。

②リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部

リニアを始め、高速交通ネットワークを活かした国内外との交流連携。更に、産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値の創造によるひとり一人の豊かさを創生。

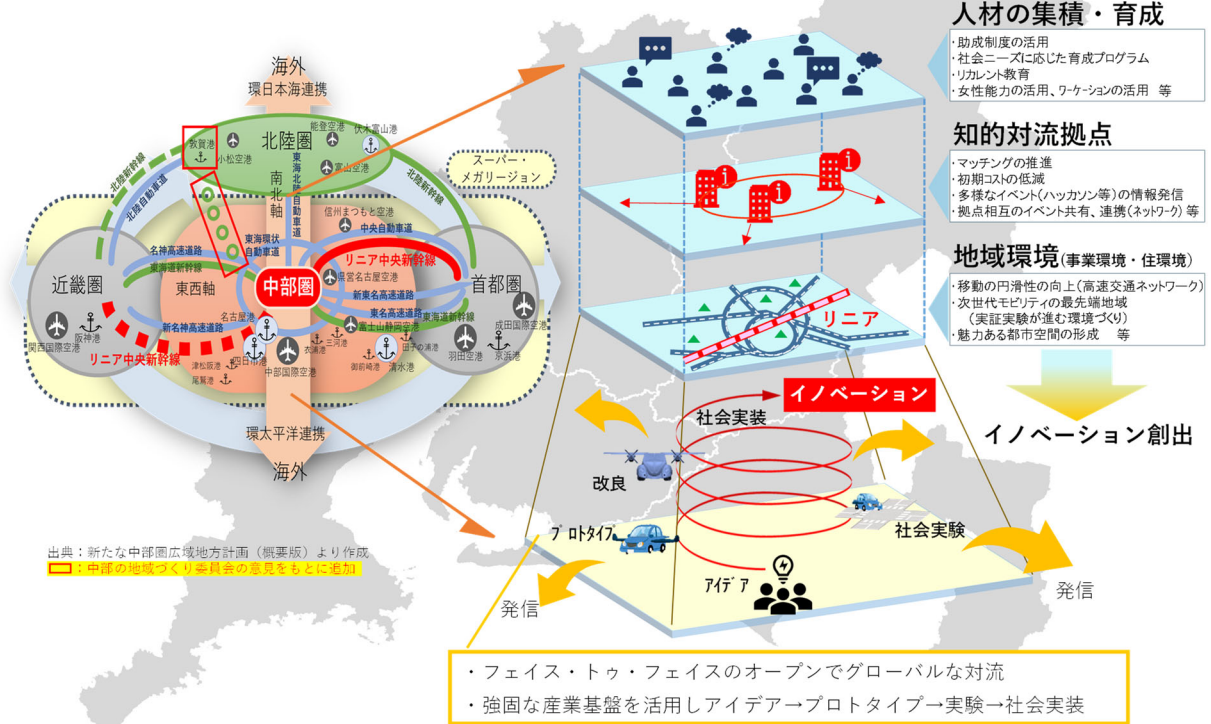
③南海トラフ地震などの災害に強くしなやか、環境と共生した国土

太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土形成。環境との共生、国土の保全、国土基盤の維持・活用など国土の適切管理による安全・安心で持続可能な国土。

スーパー・メガリージョンにおける“ものづくり”対流拠点の具体像(イメージ)

【“ものづくり”対流拠点】

国内外からヒト・モノ・カネが対流し、イノベーションを引き起こすことで世界に先駆けて圧倒的なスピードで新たな価値を生み出し、新しいサービスや製品を利用したサービスとセットにした“コト(体験)づくり”を提供し続ける拠点



第2章 今後の中部ブロックの社会資本整備の方向性

1. 社会資本整備の中長期的な目的と計画期間内の社会資本整備の目標

(1) 社会資本整備の中長期的な目的

社会資本整備重点計画第2章1では、社会経済情勢の変化、また、SDGsへの関心の高まり等といった時代感を踏まえた社会形成の必要性を示している。具体的には、①時間・空間・生活ともにゆとりがあり、子育て環境をはじめとする生活の基本的な要素が充実している、②自由度が高く、人生の各ステージで様々な選択肢の中から望ましい働き方、暮らし方を選択できる、③多様な価値観が認められ、かつ、その交流が新たな価値を創造する、④国際的に見ても魅力的で競争力のある地域を育むなど、「真の豊かさ」を実感できる社会としており、中部ブロックにおいても、社会資本整備の中長期的な目的を、国民目線に立った『真の豊かさ』を実感できる社会を構築することと位置付けるものとする。

また、「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するためには、「雇用や所得が安定的かつ持続的に確保されていること」、「安全・安心が確保されていること」、「人口減少・少子高齢化の下でも生活に必要なサービスを受けられ、時間・空間・生活ともにゆとりのある豊かな暮らしができること」が必要となる。

概ね 10 年から 20 年先を見据えた社会資本整備の中長期的な方向性としては、こうした「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するための3つの目的である、「経済成長」、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」の達成に向け、選択と集中の徹底を図りつつ、重点的に整備を行っていくこととする。

(2) 計画期間内の社会資本整備の目標

第1章で挙げたような中部ブロックの社会経済情勢の変化を踏まえるとともに、本章1.で挙げた「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するための3つの中長期的な目的（「経済成長」、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」）の達成に向け、中部ブロックにおいても、社会資本整備重点計画を踏まえ、本計画期間内（5年間）で達成すべき6つの目標を設定する。

具体的には、「経済の好循環を支える基盤整備」を第1の目標に、「防災・減災が主流となる社会の実現」を第2の目標に、「持続可能なインフラメンテナンス」を第3の目標に、「持続可能で暮らしやすい地域社会の実現」を第4の目標に、「インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション（DX）」を第5の目標に、「インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上」を第6の目標に設定する。

第1の目標は「経済成長」の達成に、第2の目標は「安全・安心の確保」の達成に、第4の目標は「持続可能な地域社会の形成」の達成に資するとともに、第3の目標、第5の目標、第6の目標は、インフラの機能維持や新たな価値を発現するものであり、3つの中長期的な目的（「経済成長」、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」）全ての達成に資するものである。

こうした認識のもと、さらに第3章において、これらの重点目標の達成に向け、第1章で示した中部ブロックの将来像・地域特性、整備水準等を踏まえた小目標を設定する。

2. 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性

計画期間内(5年間)の6つの短期的目標を達成するとともに、3つの中長期的目的の達成に繋げていくためには、厳しい財政制約や人口減少、技術革新、ライフスタイルや価値観の多様化という社会情勢の変化の中、ストック効果を最大化していく必要がある。

社会資本整備重点計画では、同計画第2章3において、ストック効果の最大化の取組の方向性として、(1)「3つの総力(主体の総力・手段の総力・時間軸の総力)」を挙げて社会資本整備を深化させるとともに、(2)インフラを国民が持つ「資産」として捉え、インフラを「経営」という発想に立ち、整備・維持管理・利活用の各段階において、工夫を凝らした取組を実施し、インフラの潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造する、という新たな取組を行うことを示している。中部ブロックの目標の達成においても、こうした方向性を踏まえて、取組を行っていくものとし、第3章の重点目標の小目標ごとに、こうした取組を示していく。

3. 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組

社会資本整備重点計画第2章4で示されているように、インフラのストック効果最大化に向けた取組を進める一方、こうした持続可能な社会資本整備の大前提として、「安定的・持続的な公共投資の確保」、「建設産業の生産性向上や担い手の確保・育成」が不可欠である。

「真の豊かさ」を実感できる社会を構築するため、社会資本整備により「経済成長」、「安全・安心の確保」、「持続可能な地域社会の形成」の3つの中長期的目的を達成していく必要があるが、社会資本の整備には一定の期間を要するとともに、長期にわたってその機能を効果的に発揮する必要があることから、戦略的・計画的に社会資本整備を実施していくことが重要である。

こうした戦略的・計画的な社会資本整備の着実な実施の観点に加え、社会資本整備の担い手となる建設産業の人材の確保・育成の観点から、安定的・持続的な公共投資の見通しが必要であり、中長期的目的を達成するためには、中長期的な見通しの下、安定的・持続的な公共投資を確保することが求められる。こうした観点から、本計画においては、公共投資の見通しとして、重点目標の達成の寄与する社会資本整備のうち、中部ブロックの目標の達成に資する主要取組において、記載する事業の計画策定時点の残事業費を記載することとする。

あわせて、社会資本整備を支える建設業の担い手の確保及び育成、生産性の向上のため、社会資本整備重点計画第2章4で示された「担い手の確保・育成」、「建設産業の生産性向上」、「建設キャリアアップシステムの普及促進」、「公共工事の品質確保と担い手確保に向けた発注者による取組の推進」等に取り組んでいく。

中部ブロックにおいては、具体的には、「担い手の確保・育成」については「中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会」等による取組により、産学官が連携して社会資本整備及び維持管理・更新を支える人材の確保、育成に向けた取組を推進する。

第3章 中部ブロックにおける社会資本整備の重点目標

前章において、中部ブロックの社会資本整備の方向性を踏まえた、計画期間内の社会資本整備の重点目標を設定した。本章では、令和7(2025)年度までを計画期間とし、6つの重点目標と、その達成のための小目標を設定し、重点的に取り組むべき具体的な施策・事業を明らかにする。

なお、主要取組は、小目標の達成のために代表性が高いと考えられる取組を中心に記載しており、完成年度等については、毎年度の予算や進捗等の事情により、変更となる場合があるとともに、残事業費については、公表時点のものを記載している。

また、令和3年度から7年度までの5年間に追加的に必要となる事業規模等を定め、重点的かつ集中的に講ずる対策として閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に位置付けられた取組については、同対策に沿って中長期の目標を定め実施し、防災・減災、国土強靱化の更なる加速化・深化を図っていく。

重点目標1:経済の好循環を支える基盤整備

目指すべき姿

・ポストコロナ時代における、持続的な経済成長の実現やリスクに強い社会経済構造の構築に向け、我が国の国際競争力強化等に資する社会資本の重点整備やインフラ輸出により、経済の好循環を作り上げるとともに、ポストコロナ時代において地域経済を支える観光の活性化に向けた基盤整備を行い、地域経済を再生させる。

現状と課題

- ・ポストコロナ時代においても持続的な経済成長が必要である。そのための道路ネットワークの強化や港湾機能の強化が求められている。
- ・基幹産業の国際競争力強化を支える国際拠点港湾や重要港湾において、コンテナ船や自動車運搬船等の大型化に対応した機能強化が必要である。
- ・中部の骨格をなす高速道路ネットワークのうち、環状軸、南北軸等の整備が遅延しており、高速道路ネットワークと国際物流拠点(港湾・空港)や生産拠点を結ぶ区間(道路)等で、未開通区間等による交通渋滞区間が存在し円滑な物流を阻害している。
- ・生産活動を支える安定的な水の供給に対して渇水リスクが顕在化している。
- ・名古屋駅におけるリニア中央新幹線と在来鉄道や高速バスとの乗換利便性の向上、並びに高速道路との結節性強化とともに、中部のエントランスとして中部国際空港と名古屋駅の両者が一体となった機能性の向上が求められている。
- ・また、国際中枢都市・名古屋の玄関口となる名古屋駅周辺などの都市機能の高度化やリニア中間駅を核とした周辺地域づくりとともにリニアを活かす道路ネットワークの強化が求められている。加えて、既存新幹線の沿線地域においても輸送形態の転換等による再発展に向けた取組が必要となる。
- ・訪日外国人旅行者需要を取り込むとともに、国内観光の活性化を図るため、中部国際空港や名古屋駅、リニア中間駅、富士山静岡空港、信州まつもと空港、清水港、名古屋港などをイ

ン・アウトの拠点としたマルチモーダルな周遊ルートの形成やクルーズ船の受入環境の改善が求められている。

・観光資源としての歴史文化的資源の復元などによる地域の魅力増進や水の恵みと潤いをもたらす水辺空間を活かした地域振興などの取組が求められている。

小目標1-1:ものづくり中枢圏・中部強化

(重点施策の概要)

- ・ものづくり産業をはじめとした基幹産業の国際競争力の強化や資源・エネルギー・穀物等の安定的かつ安価な輸入を図るため、国際拠点港湾や重要港湾において、船舶の大型化等に対応した港湾機能の強化を図る。
- ・国際競争力の一層強化のため、空港、港湾や産業拠点との物流の効率性や利便性を高め、ものづくり産業をはじめとした地域産業を支える道路ネットワークの強化を図る。
- ・ものづくり産業をはじめとした地域産業の競争力強化に不可欠なエネルギーと水の安定的な供給に向けて、エネルギー供給及び水供給の多様化や渇水リスクに備えた対策を推進する。
- ・国際拠点空港の将来の完全24時間化という課題を見据え、空港機能の充実を始めとする空港活性化の取組を推進する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

- [1]ものづくり産業をはじめとした地域産業支える道路ネットワークの強化
- ・三大都市圏環状道路整備率

【R2年度 79% → R7年度 約93%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

■ものづくり産業をはじめとした基幹産業支える港湾機能強化

サイバーボートの構築

(R3年度推進中)④

■ものづくり産業をはじめとした地域産業支える道路ネットワークの強化

(都)焼津広幡線 街路整備事業(重要物流道路)(静岡県焼津市)

(R3年度工事中)④

一般国道151号 一宮バイパス(愛知県豊川市他)

(R3年度工事中)④

一般国道151号 宮下立体(愛知県豊川市)

(R3年度工事中)④

一般国道155号 布袋拡幅(江南大口拡幅)(愛知県江南市他)

(R3年度工事中)④

一般国道155号 東海拡幅(愛知県東海市)

(R3年度工事中)④

一般国道247号 碧南高浜拡幅(愛知県高浜市他)

(R3年度工事中)④

一般国道247号 碧南拡幅(愛知県碧南市)

(R3年度工事中)④

一般国道247号 衣浦大橋(左折拡幅)(愛知県半田市他)

(R3年度工事中)④

一般国道259号 植田拡幅(愛知県豊橋市)★

(R3年度工事中)④

一般国道301号 松平バイパス(愛知県豊田市)★

(R3年度工事中)④

1	一般国道 419 号 四郷上原拡幅(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)④
2	一般国道 419 号 高浜拡幅(愛知県高浜市)	(R3 年度工事中)④
3	(主)岐阜稲沢線 荏安賀1号踏切(愛知県一宮市)	(R3 年度工事中)④
4	(主)東三河環状線 大崎工区はじめ2工区★(愛知県豊川市)	(R3 年度工事中)④
5	(主)岡崎碧南線 中島～江原(愛知県岡崎市他)★	(R3 年度工事中)④
6	(主)名古屋半田線 東海工区(愛知県東海市)★	(R3 年度工事中)④
7	(主)名古屋岡崎線 豊明刈谷工区はじめ3工区(愛知県豊明市他)★	(R3 年度工事中)④
8	(主)瀬戸大府東海線 長久手工区(愛知県長久手市)★	(R3 年度工事中)④
9	(主)名古屋江南線 一宮岩倉工区(愛知県一宮市他)★	(R3 年度工事中)④
10	(一)給父清須線 新清洲1号踏切(愛知県清須市)	(R3 年度測量設計中)④
11	(主)名古屋祖父江線 新清洲9号踏切(愛知県稲沢市)	(R3 年度測量設計中)④
12	(都)名古屋第3環状線(愛知県弥富市)	(R3 測量設計中)④
13	(都)安城一色線(愛知県西尾市)	(R3 測量設計中)④
14	(一)羽島稲沢線 新濃尾大橋(愛知県一宮市他)★	(R3 年度工事中)④
15	(一)豊川蒲郡線 金野西工区(愛知県豊川市)	(R3 年度工事中)④
16	(一)蒲郡碧南線 江原～細池はじめ2工区(愛知県西尾市)	(R3 年度工事中)④
17	(一)扶桑各務原線 新愛岐大橋(愛知県扶桑町他)★	(R3 年度工事中)④
18	伊勢志摩連絡道路 一般国道 167 号 磯部バイパス(三重県志摩市)★	(R3 年度工事中)④
19	一般国道 421 号 大安 IC アクセス道路(三重県いなべ市)★	(R3 年度工事中)④
20	一般国道 368 号 大内・伊賀名張拡幅(三重県伊賀市～名張市)★	(R3 年度工事中)④
21	一般国道 365 号 東員(三重県東員町)★	(R3 年度工事中)④
22	(主)鈴鹿環状線 国府バイパス(三重県鈴鹿市)★	(R3 年度工事中)④
23	(一)館町通線 御側橋(三重県伊勢市)	(R3 年度工事中)④
24	静岡南北道路(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④
25	(主)浜松環状線(中郡・笠井工区)(静岡県浜松市東区)	(R3 年度測量設計中)④
26		
27	■安定的な水の供給に向けた対策	
28	設楽ダム建設事業(愛知県北設楽郡設楽町)[残事業費 1,650 億円(H30 年度評価時点)]★	
29		(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③(再掲)
30	新丸山ダム建設事業(岐阜県加茂郡八百津町他)[残事業費 1,034 億円(R 元年度評価時点)]★	
31		(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③(再掲)
32		
33		
34	■物流や観光交流を支える空港機能強化	
35	スーパーシティ構想推進事業(愛知県常滑市)	(R3 年度調査・検討中)④
36		
37	【ハード・ソフト一体となった取組】	
38	■ものづくり産業をはじめとした基幹産業支える港湾機能強化	
39	国内物流を安定的に支えるフェリー・RORO 船輸送網の構築	(R3 年度推進中)④
40	「ヒトを支援する AI ターミナル」の実現	(R3 年度推進中)④
41		
42	【インフラの利活用】	
43	■ものづくり産業をはじめとした地域産業支える道路ネットワークの強化	

1	(一) 奈良間手越線(奈良間～富厚里)(静岡県静岡市)★	(R3 年度測量設計中)④
2	一般国道 362 号(羽鳥安西拡幅3期)(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④
3	(市) 中野小鹿線(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④
4	(都) 日出町高松線(八幡工区)(静岡県静岡市)★	(R3 年度測量設計中)④
5	(都) 宮前岳美線(3)(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④
6	(都) 東町大岩線(1)(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④
7		
8	【既存施設の集約・再編】	
9	■ものづくり産業をはじめとした基幹産業支える港湾機能強化	
10	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業(静岡県静岡市)	
11		(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
12	名古屋港ふ頭再編整備事業(愛知県名古屋市 他)[残事業費 3,097 億円(R 元年度評価時点)]★	
13		(R3 年度工事中)④
14	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業(三重県四日市市)[残事業費 324 億円(R2 年度評価時点)]	
15		(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③
16	清水港新興津地区小型船だまり整備事業(静岡県静岡市清水区)	
17		(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
18		
19	【選択と集中の徹底】	
20	■ものづくり産業をはじめとした基幹産業支える港湾機能強化	
21	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	
22	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
23	名古屋港ふ頭再編整備事業[残事業費 3,097 億円(R 元年度評価時点)]★	
24	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
25	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業[残事業費 324 億円(R2 年度評価時点)]	
26	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③(再掲)】
27	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業★	
28	【(愛知県豊橋市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
29	衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	
30	【(愛知県武豊町他)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
31	中山水道航路保全事業	
32	【(愛知県田原市)	(R3 年度推進中)④】
33	三河港蒲郡地区国際物流ターミナル整備事業	
34	【(愛知県蒲郡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
35		
36	■ものづくり産業をはじめとした地域産業支える道路ネットワークの強化	
37	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 飯喬道路[残事業費 277 億円(R 元年度評価時点)]★	
38	【(飯田上久堅・喬木富田 IC～喬木 IC)(長野県飯田市～下伊那郡喬木村)	(R3 年度工事中)④】
39	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 青崩峠道路[残事業費 276 億円(R 元年度評価時点)]★	
40	【(小嵐 IC(仮称)～水窪北 IC(仮称))(長野県飯田市～静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】

- 1 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 水窪佐久間道路[残事業費 899 億円(R 元年度評価時点)]★
- 2 【(水窪 IC(仮称)～佐久間川合 IC)(静岡県浜松市) (R3 年度測量設計中)④】
- 3 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 佐久間道路・三遠道路★
- 4 【(東栄 IC～鳳来峡 IC)(愛知県設楽郡東栄町～新城市)
- 5 (R3 年度工事中)[R7 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】
- 6 東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(土岐～関)
- 7 【(土岐 JCT～美濃加茂 IC)(岐阜県土岐市～美濃加茂市)
- 8 (R3 年度工事中)[R4 年度から順次完成、R6 年度完成②】
- 9 【(美濃加茂 IC～関広見 IC)(岐阜県美濃加茂市～関市) (R3 年度測量設計中)④】
- 10 東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(関～養老)
- 11 【(山県 IC～大野神戸 IC)(岐阜県山県市～安八郡神戸町) (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
- 12 東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(養老～北勢)[残事業費 1,267 億円(R 元年
- 13 度評価時点)]
- 14 【(養老 IC～北勢 IC(仮称))(岐阜県養老郡養老町～三重県いなべ市)
- 15 (R3 年度工事中)[R8 年度完成※用地取得等が順調な場合]③】
- 16 東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(北勢～四日市)
- 17 【(北勢 IC(仮称)～大安 IC)(三重県いなべ市) (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
- 18 岐阜南部横断ハイウェイ 一般国道 21 号 岐大バイパス★
- 19 【(岐阜市内立体) (R3 年度測量設計中)④】
- 20 【(岐阜県岐阜市～岐阜県大垣市) (R3 年度測量設計中)④】
- 21 一般国道 21 号 可児御嵩バイパス[残事業費 46 億円(H28 年度評価時点)]★
- 22 【(岐阜県可児郡御嵩町～可児市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 23 一般国道 21 号 関ヶ原バイパス[残事業費 183 億円(H29 年度評価時点)]
- 24 【(岐阜県不破郡垂井町～ 不破郡関ヶ原町) (R3 年度測量設計中)④】
- 25 一般国道 41 号 美濃加茂バイパス[残事業費 141 億円(H29 年度評価時点)]
- 26 【(岐阜県美濃加茂市～岐阜県加茂郡川辺町(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 27 一般国道 258 号 大桑道路
- 28 【(岐阜県養老郡養老町～岐阜県海津市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 29 静岡東西道路 一般国道 1 号 静岡バイパス[残事業費 559 億円(R2 年度評価時点)]★
- 30 【(静岡県静岡市清水立体) (R3 年度工事中)④】
- 31 一般国道 1 号 藤枝バイパス[残事業費 334 億円(R2 年度評価時点)]★
- 32 【(広幡 IC～野田 IC)(静岡県藤枝市～島田市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 33 一般国道 246 号 裾野バイパス[残事業費 123 億円(H29 年度評価時点)]
- 34 【(静岡県駿東郡小山町(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 35 豊橋浜松道路 一般国道 23 号 豊橋東バイパス[残事業費 42 億円(R2 年度評価時点)]
- 36 【(豊橋東 IC～野依 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 37 豊橋浜松道路・名豊道路 一般国道 23 号 豊橋バイパス[残事業費 278 億円(R2 年度評価時点)]★
- 38 【(野依 IC～大崎 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 39 【(前芝 IC～豊川為当 IC)(愛知県豊川市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 40 名豊道路 一般国道 23 号 蒲郡バイパス★

1	【(豊川為当 IC～蒲郡 IC)(愛知県豊川市～蒲郡市)	
2	(R3 年度工事中)[R6 年度完成※大規模切土工事が順調に進んだ場合]②】	
3	名豊道路 一般国道 23 号 岡崎バイパス[残事業費 203 億円(R2 年度評価時点)]	
4	【(幸田芦谷 IC～西尾東 IC)(愛知県額田郡幸田町～西尾市町(4 車線化))	
5	(R3 年度測量設計中)④】	
6	一般国道 153 号 豊田西バイパス★	
7	【(愛知県名古屋市～豊田市(6 車線化))	(R3 年度測量設計中)④】
8	一般国道 153 号 豊田北バイパス[残事業費 175 億円(R 元年度評価時点)]★	
9	【(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)④】
10	一般国道 155 号 豊田南バイパス[残事業費 171 億円(R 元年度評価時点)]★	
11	【(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)④】
12	西知多道路 一般国道 247 号 西知多道路(東海ジャンクション)[残事業費 445 億円(R2 年度評価時	
13	点)]★	
14	【(愛知県東海市)	(R3 年度工事中)④】
15	西知多道路 一般国道 247 号 西知多道路(長浦～日長)[残事業費 300 億円(R2 年度評価時点)]	
16	【(長浦 IC(仮称)～日長 IC(仮称))(愛知県知多市)	(R3 年度測量設計中)④】
17	一般国道 302 号 名古屋環状 2 号線	
18	【(愛知県飛島村木場一丁目～名古屋市中川区島井町(4 車線化))	
19	(R3 年度工事中)[今後概ね 5 か年程度での完成を目指す]②】	
20	【(愛知県春日井市～名古屋市(4 車線化))	(R3 年度工事中)④】
21	【(愛知県あま市～清須市(4 車線化))	(R3 年度測量設計中)④】
22	一般国道 1 号 北勢バイパス★	
23	【((市)日長八郷線～国道 477 号バイパス)	
24	(R3 年度工事中)[R6 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】	
25	【(国道 477 号バイパス～四日市市)	(R3 年度工事中)④】
26	一般国道 23 号 鈴鹿四日市道路[残事業費 840 億円(R 元年度評価時点)]	
27	【(三重県四日市市～鈴鹿市)	(R3 年度測量設計中)④】
28	一般国道 23 号 中勢道路[残事業費 173 億円(R 元年度評価時点)]★	
29	【(三重県鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町)	(R3 年度工事中)[R5 年度暫定完成]①】
30	【(津市部分立体)	(R3 年度測量設計中)④】
31	新東名高速道路 秦野-新御殿場	
32	【(神奈川県秦野市～静岡県御殿場市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
33	新東名高速道路 新磐田スマート IC	
34	【(静岡県磐田市)(R3 年度工事中)	(R3 年度完成)①】
35	伊勢湾岸自動車道 刈谷スマート IC	
36	【(愛知県刈谷市)	(R3 年度工事中)④】
37	中央自動車道 神坂スマート IC(仮称)	
38	【(岐阜県中津川市)	(R3 年度工事中)④】
39	新東名高速道路 小山スマート IC(仮称)	
40	【(静岡県小山町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】

1	東名高速道路 岡崎阿知和スマートIC(仮称)	
2	【(愛知県岡崎市)	(R3 年度測量設計中)④】
3	東名高速道路 東郷スマートIC(仮称)	
4	【(愛知県日進市)	(R3 年度測量設計中)④】
5	国道 475 号東海環状自動車道 海津スマートIC(仮称)	
6	【(岐阜県海津市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】
7	金谷御前崎連絡道路 一般国道 473 号金谷相良道路Ⅱ★	
8	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④】
9	(一)富士由比線 (仮称)新々富士川橋	
10	【(静岡県富士市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
11	愛知県港湾臨港道路整備事業	
12	【(愛知県)	(R3 年度測量設計中)[R12 年度完成]③】
13	(一)栗林宮田(停)線 大久保橋	
14	【(長野県駒ヶ根市～上伊那郡宮田村)	(R3 年度工事中)④】
15	(一)三才大豆島中御所線 北長池～大豆島	
16	【(長野県長野市)	(R3 年度工事中)④】
17	(主)中津川南木曾線 妻籠(下り谷)	
18	【(長野県木曾郡南木曾町)	(R3 年度工事中)④】
19	(一)市ノ沢山吹(停)線 新万年橋	
20	【(長野県豊丘村～高森町)	(R3 年度工事中)④】
21	(主)坂城インター線 中之条	
22	【(長野県埴科郡坂城町)	(R3 年度工事中)④】
23	(一)豊田中野線 笠倉～壁田	
24	【(長野県中野市)	(R3 年度工事中)④】
25	一般国道 153 号 伊那バイパス★	
26	【(長野県伊那市～上伊那郡南箕輪村～上伊那郡箕輪町)	
27	(R3 年度工事中)野底地区[R3 年度完成]①、福島地区[R9 年度完成]③】	
28	一般国道 151 号 粒良脇トンネル★	
29	【(長野県下伊那郡下條村)	(R3 年度工事中)④】
30	一般国道 256 号 下久堅バイパス★	
31	【(長野県飯田市)	(R3 年度工事中)④】
32	一般国道 148 号 雨中★	
33	【(長野県下伊那郡小谷村)	(R3 年度工事中)④】
34	(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)	
35	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
36	(主)井川湖御幸線(下～松富上組)★	
37	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
38	一般国道 150 号(静岡バイパス)★	
39	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
40	(主)清水富士宮線(清地/宮嶋橋)	

1	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
2	(主)清水富士宮線(穴原)	
3	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
4	(一)茂畑横砂線(廣瀬、茂畑)	
5	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
6	(市)下鯨ヶ池1号線外	
7	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
8	(市)昭府一丁目2号線外	
9	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
10	一般国道 150 号(久能拡幅)	
11	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
12	(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)	
13	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
14	(都)駒形井宮線(安西)	
15	【(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
16	(都)水道町伊呂波町線(伊呂波町)	
17	【(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
18	(都)宮前岳美線(4)	
19	【(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
20	(都)一里山長崎線(七ツ新屋)★	
21	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
22	(都)渋川妙音寺線(大曲)	
23	【(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
24	(都)丸子池田線(曲金)	
25	【(静岡県静岡市)	(R3 年度測量設計中)④】
26	(都)静岡駅賤機線(昭府～松富2)★	
27	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
28	(都)日の出町押切線(北脇)	
29	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
30	(都)あさはた線(北)	
31	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
32	東海北陸自動車道 白川郷-五箇山(4車線化)	
33	【(岐阜県大野郡白川村～富山県南砺市)	(R3 年度測量設計中)④】
34	新名神高速道路 亀山西-大津(6車線化)	
35	【(三重県亀山市～滋賀県大津市)	(R3 年度工事中)[R4 年度から順次開通年度完成]①】
36	紀勢自動車道 大宮大台-紀勢大内山(一部4車線化)	
37	【(三重県多気郡大台町～三重県度会郡大紀町)	(R3 年度測量設計中)④】
38	紀勢自動車道 勢和多気 JCT-大宮大台(4車線化)★	
39	【(三重県多気郡多気町～三重県多気郡大台町)	(R3 年度測量設計中)④】
40	名古屋高速道路 新洲崎出入口(仮称)	

1	【(新洲崎 JCT) (愛知県名古屋市)	(R3 測量設計中) [R9 年度完成] ③】
2	名古屋高速道路 新黄金出入口 (仮称)	
3	【(黄金 IC) (愛知県名古屋市)	(R3 測量設計中) [R9 年度完成] ③】
4		
5		

重点施策	指標
(ものづくり産業をはじめとした基幹産業支える港湾機能強化)	
・地域の基幹産業の国際競争力強化を支える国際拠点港湾や重要港湾の機能強化	
(ものづくり産業をはじめとした地域産業支える道路ネットワークの強化)	
・ものづくり産業をはじめとした地域産業を支える港湾や産業拠点とのアクセス性を高める道路ネットワークの強化	[K P I - 1] ・三大都市圏環状道路整備率 R2 年度 79% → R7 年度 約 93%
(安定的な水の供給に向けた対策)	
・エネルギーと水の安定的な供給に向けたエネルギー供給の多様化や渇水リスクに備えた対策の推進	
(物流や観光交流を支える空港機能強化)	
・国際拠点空港の将来の完全 24 時間化という課題を見据え、空港機能の充実を始めとする空港活性化の取組推進	
期待されるストック効果	
・新東名高速道路や新名神高速道路、東海環状自動車道などの開通により、沿線地域では工業団地の整備や物流拠点の集積が進み、現在の中部の発展を牽引してきた。東海環状自動車道では、平成 12 年の東回り全線工事着工後、沿線地域に延べ 165 企業が進出(平成 30 年まで)し、沿線市町の製造品出荷額等は約 1.7 倍に増加している。今後も西回り区間における未事業化区間の順次開通や暫定 2 車線区間の 4 車線化を推進することにより、さらなる経済活動の活性化に寄与し、新たな料金体系の導入効果の最大化が期待される。 ・近年、トラックドライバーの高齢化や担い手不足が進展し、将来的にもトラックドライバー不足が予想されている中で、企業の物流ネットワークの維持やドライバーの労働環境改善の観点から、内航フェリー・RORO 船輸送網の構築・充実化を図る。これにより、大量輸送、定時制の確保、環境負荷の低減、輸送品質の確保など国内物流を安定的に支えることが期待される。 ・清水港では、岸壁等の整備と、清水港とその周辺を結ぶ国道 1 号(静清バイパス)改良が相まって港湾の利便性が向上し、物流施設の立地やコンテナ利用が促進された。これらに伴い、周辺地域への産業立地に伴う経済が活性化し、投資額(内陸部への産業機械工場の新規立地等)は約 372 億円(H26 ～ R2)、雇用数は約 520 人が増加した。今後も他港湾において国際物流ターミナル等の整備により、大型船による荷役や岸壁の待ち状況の解消など荷役の AI 技術による効率化が図られ、物流コストの低下等による国際競争力の向上が期待される。 ・一般国道 473 号金谷相良道路Ⅱ事業は、志太榛原地域の南北軸を強化し、新東名高速道路、国道 1 号、富士山静岡空港、東名高速道路、御前崎港を結ぶ交通ネットワークの構築に重要な役割を果たしており、企業立地の更なる促進や富士山静岡空港・御前崎港における貨物取扱量の増加など、地域経済に大きく貢献している。 ・一般国道 247 号碧南高浜拡幅等の整備により、混雑緩和による旅行速度向上により所要時間が短縮され、さらには沿線への企業立地が進展することで、沿線市の製造品出荷額等の増加・衣浦港の貿易額増加に寄与する。 ・伊勢志摩地域は伊勢志摩サミットが開催された場所でもあり、県内でも主要な観光地でもある。令和 7 年度に大阪万博が開催される際には、鉄道事業者と連携し、伊勢志摩地域に観光客を呼び寄せる取り組みを検討しており、それらに合わせた道路ネットワーク整備は地域観光等に大きな期待を寄せている。 ・内陸部の工場立地誘導地区へ工業関連企業が進出・稼働しており、これと東名高速道路浜松ICを結ぶ主要地方道浜松環状線の現道拡幅整備を行うことにより、地域産業を支える交通ネットワークサービスが向上し、主要拠点間の移動時間の短縮が図られ物流生産性に貢献する。	
「インフラ経営」の取組	
・大型コンテナ船の寄港増加による荷役時間の長期化や、コンテナターミナルゲート前の渋滞の深刻化に対応するため、ゲート処理及びターミナル内荷役の効率化を図ることで、良好な労働環境と世界最高水準の生産性を有する「ヒトを支援するAIターミナル」の実現に向けた取り組みを進める。これにより、コンテ	

ナターミナルの生産性が向上し、コンテナ船の大型化に際してもその運航スケジュールを遵守した上で、
外来トレーラーのゲート前における待機時間の短縮が期待される。

- ・港内に分散するコンテナ・バルク・完成自動車などの取扱機能の集約や老朽化・陳腐化した岸壁の利用
転換を行い、港湾機能の強化とともにインフラストックの適正化を図る。

小目標1－2:リニア効果最大化

(重点施策の概要)

- ・名古屋駅と中部国際空港との多重性・代替性機能を確保するとともに、名古屋駅及びリニア中間駅等と周辺都市との広域交通機能強化に向けた道路、交通ネットワークを強化する。
- ・「名古屋駅のスーパーターミナル化」と合わせて、広域にリニア効果を波及させるため、名古屋駅周辺における都市機能の高度化や中間駅を核とした交通結節機能の強化や市街地活性化等のまちづくりを推進する。
- ・名古屋駅からの鉄道アクセス40分交通圏を拡大するため、名古屋駅への速達性を向上させる鉄道路線の機能を強化する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[2]リニア駅と周辺都市・拠点を結ぶ道路ネットワークの強化

・三大都市圏環状道路整備率

【R2年度 79% → R7年度 約93%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①:～R5年度、②:～R7年度、③:～R12年度頃、④:完成時期未定)

★印:「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■リニア駅と周辺都市・拠点を結ぶ道路ネットワークの強化

(都)東新町座光寺線(長野県飯田市)

(R3年度測量設計中)④

一般国道152号(池島～大原)(静岡県浜松市天竜区)★

(R3年度工事中)④

■名古屋駅・リニア中間駅周辺のまちづくり

交通ネットワーク リニアを見据えた鉄道ネットワークの充実・強化に関する方策案の推進

(愛知県)

(R3年度調査・検討中)④(再掲)

リニア中央新幹線開業に向けた名古屋駅周辺のまちづくり構想の推進(愛知県名古屋市)

(R3年度推進中)

【ハード・ソフト一体となった取組】

■名古屋駅・リニア中間駅周辺のまちづくり

リニア中央新幹線 リニア中央新幹線開業を見据えたリニア活用戦略の推進(岐阜県)

(R3年度推進中)[R9年度完成(予定)]③

一級河川堀川 うるおいと活気のある堀川再生(愛知県名古屋市)

(R3年度推進中)④

【既存施設の集約・再編】

■名古屋駅・リニア中間駅周辺のまちづくり

ささしまライブ24土地区画整理事業(名古屋市)

(R3年度工事中)[R7年度完成]②

【選択と集中の徹底】

1	■リニア駅と周辺都市・拠点を結ぶ道路ネットワークの強化	
2	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 飯喬道路[残事業費 277 億円(R 元年度評価時点)]★	
3	【(飯田上久堅・喬木富田 IC～喬木 IC)(長野県飯田市～下伊那郡喬木村)	
4		(R3 年度工事中)④】
5	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 青崩峠道路[残事業費 276 億円(R 元年度評価時点)]★	
6	【(小嵐 IC(仮称)～水窪北 IC(仮称))(長野県飯田市～静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】
7	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 水窪佐久間道路[残事業費 899 億円(R 元年度評価時点)]★	
8	【(水窪 IC(仮称)～佐久間川合 IC)(静岡県浜松市)	(R3 年度測量設計中)④】
9	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 佐久間道路・三遠道路★	
10	【(東栄 IC～鳳来峡 IC)(愛知県設楽郡東栄町～新城市)	
11		(R3 年度工事中) [R7 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】
12	一般国道 153 号 伊駒アルプスロード[残事業費 620 億円(R 元年度評価時点)]	
13	【(長野県駒ヶ根市～伊那市)	(R3 年度測量設計中)④】
14	一般国道 19 号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)[残事業費 215 億円(R 元年度評価時点)]★	
15	【(岐阜県瑞浪市～恵那市)	(R3 年度工事中)④】
16	一般国道 19 号 瑞浪恵那道路(恵那工区)[残事業費 168 億円(R 元年度評価時点)]★	
17	【(岐阜県恵那市～恵那市)	(R3 年度工事中)④】
18	西知多道路 一般国道 247 号 西知多道路(東海ジャンクション)[残事業費 445 億円(R2 年度評価時点)]★	
19		
20	【(愛知県東海市)	(R3 年度工事中)④】
21	西知多道路 一般国道 247 号 西知多道路(長浦～日長)[残事業費 300 億円(R2 年度評価時点)]	
22	【(長浦 IC(仮称)～日長 IC(仮称))(愛知県知多市)	(R3 年度測量設計中)④】
23	一般国道256号 三庫工区	
24	【(岐阜県郡上市)	(R3 年度工事中)④】
25	濃飛横断自動車道 一般国道257号 中津川工区★	
26	【(岐阜県中津川市)	(R3 年度工事中)④】
27	(主)伊那生田飯田線 宮ヶ瀬橋	
28	【(長野県下伊那郡松川町)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
29	一般国道 153 号 飯田北改良	
30	【(長野県飯田市)	(R3 年度工事中)[R9 年度完成]③】
31	(主)飯島飯田線・(一)上飯田線 座光寺上郷道路	
32	【(長野県飯田市)(R3 年度工事中)	[R9 年度完成]③】
33	(一)市場桜町線 座光寺	
34	【(長野県飯田市)	(R3 年度工事中)④】
35	(主)諏訪辰野線 小坂～有賀	
36	【(長野県岡谷市～諏訪市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
37	(一)上松南木曽線 登玉～和村	
38	【(長野県上松町～木曽郡大桑村)	(R3 年度工事中)④】
39	(一)上松南木曽線 和村橋	
40	【(長野県木曽郡大桑村)	(R3 年度工事中)④】

(一)上松南木曽線 殿～阿寺

【(長野県木曽郡大桑村)

(R3 年度測量設計中)④】

(一)上松南木曽線 読書ダム～戸場

【(長野県木曽郡大桑村～木曽郡南木曽町)

(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②】

(主)中津川田立線 田立

【(長野県木曽郡南木曽町)

(R3 年度工事中)④】

■名古屋駅・リニア中間駅周辺のまちづくり

(都)笹島線(東側区間)

【(愛知県名古屋市)

(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】

■公共交通の速達性向上

名古屋鉄道 名古屋本線等連続立体交差事業(知立駅付近)

【(愛知県知立市)

(R3 年度工事中)④】

重点施策	指標
(リニア駅と周辺都市・拠点を結ぶ道路ネットワークの強化)	
・名古屋駅及びリニア中間駅と周辺都市を結ぶ道路ネットワークの強化	〔K P I - 2〕 ・三大都市圏環状道路整備率 R2 年度 79% → R7 年度 約 93%
(名古屋駅・リニア中間駅周辺のまちづくり)	
・「名古屋駅のスーパーターミナル化」と合わせて、広域にリニア効果を波及させるため、名古屋駅周辺における都市機能の高度化や中間駅を核とした交通結節機能の強化や市街地活性化等のまちづくりを推進	・歴史的風致の維持及び向上に取り組む市町村数 R2 年 16 → R7 年度末 20
(公共交通の速達性向上)	
・名古屋駅へ速達性を向上させる鉄道ネットワークの強化	
期待されるストック効果	
・東三河・遠州・南信州を結ぶ三遠南信自動車道路の整備により、リニア中央新幹線整備の効果を三遠南信地域へ波及させ、都市と地域間の移動時間短縮により、地方への移住・居住の促進が期待される。 ・西知多道路は、自動車部品輸出額が全国 1 位(H31 貿易統計より)の拠点空港である「中部国際空港」と、高規格幹線道路(伊勢湾岸自動車道)を連絡し、名古屋都市圏を結ぶ、自動車専用道路網を形成する重要な路線。リニア中央新幹線の開業も見据え、中部国際空港と名古屋市街地を結ぶ信頼性の高い自専道ダブルネットワークを構築し、知多半島道路との代替性が確保されるとともに、整備後、所要時間短縮効果が見込まれ、円滑なモビリティの確保が期待される。 ・濃飛横断自動車道は郡上市から下呂市を経由して中津川市に至る延長約 80kmの地域高規格道路である。このうちの約 5 kmを整備する当該事業は、(仮称)リニア岐阜県駅と下呂市方面とを南北に繋ぐアクセス道路となるとともに、岐阜県の東西を走る一般国道 19 号等と(仮称)リニア岐阜県駅を接続させることで、東西南北のネットワークを形成し、リニア中央新幹線の開業効果を最大限県内に波及させる。 ・リニア中央新幹線の開業を見据えた名古屋駅周辺の道路ネットワーク強化を図ることにより、リニア効果を広域に波及させることが期待される。	
「インフラ経営」の取組	

- ・リニア中央新幹線の開業効果を岐阜県内に最大限に波及させ、リニア中央新幹線を活用した地域づくりを戦略的に進める。

小目標1－3:新たな中部観光交流圏形成

(重点施策の概要)

- ・四季自然・歴史文化・ものづくり体験等、中部の持つ魅力をテーマやストーリーで結び、中部北陸9県の昇龍道エリアなどの広域的な周遊観光を支える道路、交通ネットワークを強化する。
- ・国際拠点空港の将来の完全24時間化という課題を見据え、中部北陸9県へのインバウンド増進を図る昇龍道プロジェクトの一層の推進など、地域と一体となった需要開拓や受入環境の整備を推進する。
- ・MICE やクルーズ船などでこの地域に訪れる旅客の交流・観光を促進する受入環境を整備する。
- ・国営公園をはじめとする都市公園、道の駅、みなとオアシス、かわまちづくりの推進及びミズベリングプロジェクト⁸による地域支援等により、都市公園、道路、港湾、河川、運河等の空間を活かした賑わいの場を創出する。
- ・観光地での移動手段の確保・充実とともに観光体験の一括検索・予約・購入を可能とする観光型 MaaS の取組を推進することによりシームレスな観光を実現する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

[3]賑わいの場の創出

- ・水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市区町村の数

【R2 年度 41 → R7 年度 61】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5 年度、②：～R7 年度、③：～R12 年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容^{*}が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■周遊観光を支える道路ネットワークの強化

日本平公園整備事業(静岡県静岡市) (R3 年度工事中)④

一般国道 152 号(池島～大原)(静岡県浜松市天竜区)★ (R3 年度工事中)④

(主)長篠東栄線海老バイパス(愛知県新城市) (R3 年度測量設計中)④

■国内外の交流・観光を促進する環境整備

清水港日の出地区道路改良事業(静岡県静岡市清水区) (R3 年度工事中)①

清水港日の出地区クルーズ高度化事業(静岡県静岡市清水区) (R3 年度工事中)①

■賑わいの場の創出

地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する道の駅、みなとオアシス、かわまち

⁸ まちの空間で日常的な生活や経済活動を営みながら、身近にある川をほとんど意識していない人々や民間企業に対し、川の外から改めて川の価値を見いだす機会を提供し、身近なニューフロンティアとして川を生かし、多様な主体が相互に連携することで、新たなソーシャルデザインを生み出しながら、全国各地の水辺から地域活性化を実現しようとする活動

1 づくりの推進及びミズベリングプロジェクトによる地域支援 (R3 年度推進中)④
 2 名古屋港 港湾の経済活性化促進事業(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②

4 【ハード・ソフト一体となった取組】

5 ■国内外の交流・観光を促進する環境整備
 6 クルーズを安心して楽しめる環境整備 (R3 年度推進中)④

8 ■賑わいの場の創出
 9 国営木曽三川公園(岐阜県、愛知県、三重県)[残事業費 163 億円(H29 年度評価時点)]★

10 (R3 年度工事中)④
 11 一級河川堀川 うるおいと活気のある堀川再生(愛知県名古屋市) (R3 年度推進中)④(再掲)

13 【インフラの利活用】

14 ■国内外の交流・観光を促進する環境整備
 15 公園整備事業 ジブリパーク整備事業(愛知県長久手市) (R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
 16 常滑港へのクルーズ船誘致(愛知県常滑市) (R3 年度調査・検討中)④
 17 四日市港 千歳運河緑地整備事業(三重県四日市市) (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②
 18 名城公園 名古屋城本丸御殿の復元(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)④
 19 国際会議場 名古屋国際会議場整備運営事業(愛知県名古屋市)★
 20 (R3 年度測量設計中)[R8 年度完成]③
 21 国際展示場 国際展示場の整備(愛知県名古屋市)★ (R3 年度工事中)④

23 ■賑わいの場の創出
 24 みなとオアシス「みなと」を核とした 魅力ある地域づくり(中部管内) (R3 年度推進中)④
 25 愛・地球博記念公園 公園整備事業(愛知県長久手市) (R3 年度工事中)[R5 年度完成]①

27 【既存施設の集約・再編】

28 ■国内外の交流・観光を促進する環境整備
 29 清水港 江尻地区岸壁整備事業(静岡県静岡市清水区) (R3 年度工事中)①

31 ■賑わいの場の創出
 32 清水港新興津地区小型船だまり整備事業(静岡県静岡市清水区) (R3 年度工事中)①(再掲)

35 【選択と集中の徹底】

36 ■周遊観光を支える道路ネットワークの強化
 37 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 飯喬道路[残事業費 277 億円(R 元年度評価時点)]★
 38 【(飯田上久堅・喬木富田 IC～喬木 IC)(長野県飯田市～下伊那郡喬木村) (R3 年度工事中)④】
 39 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 青崩峠道路[残事業費 276 億円(R 元年度評価時点)]★
 40 【(小嵐 IC(仮称)～水窪北 IC(仮称))(長野県飯田市～静岡県浜松市) (R3 年度工事中)④】
 41 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 水窪佐久間道路[残事業費 899 億円(R 元年度評価時点)]★

- | | | |
|----|---|--------------------------|
| 1 | 【(水窪 IC(仮称)～佐久間川合 IC)(静岡県浜松市) | (R3 年度測量設計中)④】 |
| 2 | 三遠南信自動車道 一般国道 474 号 佐久間道路・三遠道路★ | |
| 3 | 【(東栄 IC～鳳来峡 IC)(愛知県設楽郡東栄町～新城市) | |
| 4 | (R3 年度工事中) [R7 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】 | |
| 5 | 中部縦貫自動車道 一般国道 158 号 高山清見道路[残事業費 986 億円(R2 年度評価時点)]★ | |
| 6 | 【(高山 IC～丹生川 IC(仮称))(岐阜県高山市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 7 | 伊豆縦貫自動車道 一般国道 1 号 東駿河湾環状道路[残事業費 208 億円(H28 年度評価時点)] | |
| 8 | 【(沼津岡宮 IC～函南 IC(仮称))(静岡県沼津市～田方郡函南町) | (R3 年度測量設計中)④】 |
| 9 | 伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅰ期)[残事業費 225 億円(H28 年度評価時点)] | |
| 10 | ★ | |
| 11 | 【(下田北 IC(仮称)～下田 IC(仮称))(静岡県下田市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 12 | 伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅱ期)★ | |
| 13 | 【(河津 IC(仮称)～逆川 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町) | |
| 14 | (R3 年度工事中) [R4 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]①】 | |
| 15 | 【(逆川 IC(仮称)～下田北 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町～下田市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 16 | 一般国道 42 号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)★ | |
| 17 | 【(尾鷲北 IC～尾鷲南 IC)(三重県尾鷲市) | (R3 年度工事中) [R3 年夏頃完成]①】 |
| 18 | 一般国道 42 号 熊野道路[残事業費 294 億円(R2 年度評価時点)]★ | |
| 19 | 【(熊野大泊 IC～熊野 IC(仮称))(三重県熊野市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 20 | 一般国道 42 号 紀宝熊野道路[残事業費 845 億円(R2 年度評価時点)]★ | |
| 21 | 【(熊野 IC(仮称)～紀宝 IC(仮称))(三重県熊野市～南牟婁郡紀宝町) | (R3 年度測量設計中)④】 |
| 22 | 一般国道 1 号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)[残事業費 221 億円(R1 年度評価時点)] | |
| 23 | 【(沼津岡宮 IC～愛鷹 IC(仮称))(静岡県沼津市) | (R3 年度測量設計中)④】 |
| 24 | 高山下呂連絡道路 一般国道 41 号 石浦バイパス[残事業費 230 億円(R2 年度評価時点)]★ | |
| 25 | 【(岐阜県高山市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 26 | 一般国道 1 号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)[残事業費 221 億円(R 元年度評価時点)] | |
| 27 | 【(沼津岡宮 IC～愛鷹 IC(仮称))(静岡県沼津市) | (R3 年度測量設計中)④】 |
| 28 | (主)岡谷茅野線 大熊 | |
| 29 | 【(長野県諏訪市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 30 | (主)諏訪辰野線 高島(上川) | |
| 31 | 【(長野県諏訪市) | (R3 年度工事中)④】 |
| 32 | (主)奈川木祖線 境峠下 | |
| 33 | 【(長野県木祖村) | (R3 年度工事中)④】 |
| 34 | (主)飯田富山佐久間線 知久平～南原 | |
| 35 | 【(長野県飯田市) | (R3 年度測量設計中) [R7 年度完成]②】 |
| 36 | (主)長野真田線 松代 | |
| 37 | 【(長野県長野市) | (R3 年度工事中) [R3 年度完成]①】 |
| 38 | (主)伊那生田飯田線 飯沼～北組★ | |
| 39 | 【(長野県上伊那郡中川村) | (R3 年度工事中)④】 |
| 40 | 一般国道 152 号 湯川バイパス★ | |

- 1【(長野県茅野市) (R3 年度工事中)④】
- 2一般国道 361 号 長峰峠(長峰～九蔵)★
- 3【(長野県木曽郡木曽町) (R3 年度工事中)④】
- 4一般国道 158 号 狸平★
- 5【(長野県松本市) (R3 年度工事中)④】
- 6
- 7■国内外の交流・観光を促進する環境整備
- 8(都)清水港三保線(折戸 1～2)
- 9【(静岡県静岡市) (R3 年度工事中)④】
- 10
- 11■賑わいの場の創出
- 12静岡県港湾環境整備事業(緑地等施設)
- 13【(静岡県) (R3 年度工事中)②】
- 14愛知県港湾環境整備事業(緑地等施設)
- 15【(愛知県) (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
- 16
- 17

重点施策	指標
(周遊観光を支える道路ネットワークの強化)	
・中部北陸 9 県の昇龍道エリア等広域周遊観光を支える道路ネットワーク等の強化	
(国内外の交流・観光を促進する環境整備)	
・国際拠点空港の将来の完全 24 時間化という課題を見据え、中部北陸 9 県へのインバウンド増進を図る昇龍道プロジェクトの一層の推進など、地域と一体となった需要開拓や受入環境の整備の推進	
・MICE やクルーズ船などの、交流・観光を促進する受入環境の整備	
(賑わいの場の創出)	
・国営公園をはじめとする都市公園、道の駅、みなとオアシス、かわまちづくりの推進及びミズベリングプロジェクトによる地域支援等による都市公園、道路、港湾、河川、運河等の空間を活かした賑わいの場の創出	〔K P I - 3〕 ・水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市区町村の数 R2 年度 41 → R7 年度 61
(シームレスな観光の実現)	
・観光地での移動手段の確保・充実とともに観光体験の一括検索・予約・購入を可能とする観光型 MaaS の取組の推進	
期待されるストック効果	
・国営木曽三川公園において、河川公園ならではの自然環境に配慮した整備・管理運営を推進し、輪中文化の学習など多様な環境プログラムの実施、地域の歴史・文化・産業と結びついたイベント開催等により、訪れる人々の歴史・文化への理解を深めるとともに、地域のにぎわいを創出し、観光・周遊ネットワークの活性化に寄与するなど、地域の観光振興への波及効果が期待される。 ・高山清見道路(中部縦貫自動車道)の順次開通により、東海北陸自動車道と接続し、高速ネットワークを形成することで、飛騨地域の文化、観光資源を生かした地域振興や産業経済の発展を支えてきた。沿線 4 市町村(高山市、郡上市、飛騨市、大野郡白川村)の観光入込客数は、平成元年以降約 3 倍に増加しており、高山市における外国人宿泊数も約 60 万人も増加している。高山市街地への所要時間短縮効果も見込まれることから、今後も全線整備による、広域観光周遊ルート形成が期待される。 ・魅力ある水辺空間及び賑わい空間が望まれており、港湾環境整備事業(緑地、水質改善等)、栈橋整備	

等を推進している。また、地域振興の取組が継続的に行われている施設を「みなとオアシス」として登録することで活動の活性化を図っており、これらの施策の実施により賑わいある水辺空間の創出に貢献している。 ・清水港新興津地区の海岸は、清水港の拡張や国道整備により埋立てられ、水際線は港湾や護岸等の人工構造物に改変されてきた。このことから、地域住民より「港湾機能だけでなく地域振興にも繋がる整備」を求める要請があり、県は人工海浜を中心施設とした新たな緑地計画を位置付けるとともに、港内に点在している漁船等の集約を図る小型船だまりを隣接地に位置付け、新たな海洋レクリエーション拠点・観光交流拠点の創出を目指して整備を推進している。 ・2022 年秋に愛・地球博記念公園にて、スタジオジブリ作品の世界観を表現した唯一無二の施設なるジブリパークを開業し、国内外から多くの来訪者が訪れることが期待される。 ・「名城公園の魅力向上」計画の事業の一つである名城公園は、名古屋市の中央部に位置する総合公園であり、名古屋城を中心に広がる歴史情緒あふれる観光振興の拠点となっている。本丸御殿復元工事は、工期を3期に分けて工事を行っており、平成25年度に第1期部分(玄関・表書院)、平成28年度に第2期部分(対面所等)、そして平成30年6月8日からは第3期部分(上洛殿等)を含む全体公開を開始した。しかし、復元模写障壁画等の作成は終了していないため、全体公開後も完成した復元模写障壁画を順次、本丸御殿内の壁や建具などに貼り込む表具工事を継続して行う。 ・これまで、名古屋市では平成 2 年に設置された、固定席ホールとして全国第3位であるセンチュリーホールを擁する名古屋国際会議場を舞台に、その高い産業・学術集積地という背景を活かし、参加人数が多い会議を多数開催してきた。 ・昭和 48 年、当時としては先駆的な大規模ホールとして整備された第 1 展示館をはじめ 3 つの大型展示ホールを有する名古屋市国際展示場は、地域唯一の大規模展示場として長らく発展に貢献してきた。 ・三遠南信自動車道は東三河・遠州・南信州を結ぶ広域幹線道路ネットワークであり、当地域の交流がより深まるとともに、南北の新たな観光交流が形成される。
「インフラ経営」の取組
・管内港湾において住民参加による地域振興の取組が継続的に行われている施設を「みなとオアシス」として登録し、地域の水辺空間における更なる賑わいの創出。

重点目標2:防災・減災が主流となる社会の実現

目指すべき姿

・激甚化・頻発化する、または切迫する風水害・土砂災害・地震・津波・噴火・豪雪等の自然災害に対し、強くてしなやかになるようにする対策がなされ、国民が安心して生活を送ることができる社会をつくる。

現状と課題

・気候変動に伴い激甚化・頻発化する水災害については、防災・減災が主流となる社会を目指し、河川等の管理者が主体となって行う治水対策に加え、あらゆる関係者の協働により流域全体で治水対策に取り組む必要がある。

・切迫する南海トラフ地震に備え、人命を守り、社会経済活動の継続性を確保するため、社会資本の耐震化や津波対策とともに、災害発生時における人命救助や早期の復旧・復興に資する事前防災などの、防災・減災対策の着実な推進が求められている。

・我が国最大の海拔ゼロメートル地帯が広がり、急流の大河川が流れる地域特性とともに、台風の大規模化や集中豪雨による水害や土砂災害が激甚化・頻発化しており、災害被害の最小化や早期の復旧・復興を図る事前防災への取組が求められている。

・また、活発な経済活動が行われている都市における防災力強化も必要である。

・山地からの土砂流出による河床上昇や河道・河口閉塞、洪水氾濫の危険性増大、並びに河川環境への障害や上流の土砂移動の遮断等による陸域から海域への土砂供給の減少、海岸侵食の助長、及び防災効果の低下、並びに自然環境や海岸景観への影響を軽減する必要がある。

・また、急峻な地形や脆弱な地質に起因する土砂災害や道路災害、火山災害による住民生活や社会経済活動への影響を軽減する必要がある。

・災害からの迅速な復旧・復興を果たすため、被災後速やかに機能する強靱な道路ネットワークを整備する必要がある。

・大規模災害発生時においても、経済活動を支えるサプライチェーンへの影響を最低限に抑制し、国民の安全・安心で豊かな暮らしを支える基幹的海上交通ネットワークを可能な限り維持する必要がある。

小目標2-1:南海トラフ地震に備えた国土強靱化

(重点施策の概要)

・切迫する南海トラフ地震に備え、「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」など産学官民が一体となりソフト・ハード両面での防災・減災対策のため、道路・河川管理施設・海岸保全施設・下水道・港湾・空港・鉄道・官庁施設、住宅・建築物等の耐震化等を推進する。

・日本のまんなか位置する中部において南海トラフ地震など大規模災害により道路、エネルギー、ライフライン等の東西軸及び南北軸が途絶することなく、社会経済活動を継続するため、緊急輸送道路の強化や無電柱化の推進、高規格道路等の東西、南北方向への多重性・代替性を確保した幹線道路ネットワークを拡充する。さらに、大規模災害時において、南北軸

で連結された中部圏と北陸圏の空港・港湾がその代替機能を補完、強化することで、多モードの交通機能により東西、南北に二重、三重にネットワークされた、太平洋と日本海の2面活用型の強靱な国土を構築する。

- ・大規模津波による浸水被害を軽減し、避難のリードタイムを確保するため、河川堤防の整備や海岸等において地域の実情に応じた粘り強い構造等の海岸堤防の整備等の津波・高潮対策を推進する。
- ・防災拠点の広域的な防災ネットワークを形成するため、大規模な広域防災拠点等の整備や避難場所・通路を確保する。
- ・大規模災害による被害が想定される地域において、早期の復旧・復興を図るため、地籍整備、業務継続計画の策定、行政と民間団体等との災害時支援協定の締結(改定)の促進、広域的な合同防災訓練の実施、危険区域の情報開示など産学官が連携した防災・減災の取組を推進する。
- ・被災した自治体等の災害対応を支援する緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)やリエゾン、地理空間情報を活用した防災・災害情報の共有化・高度化等の取組による危機管理対策を強化する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔4〕施設の耐震化等

- ・南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な①河川堤防等の整備率（計画高までの整備と耐震化）

【R元年度 57% → R7年度 71%】

- ・南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な②水門・樋門等の耐震化率

【R元年度 31% → R7年度 78%】

- ・南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の耐震化率

【R元年度 56% → R7年度 59%】〔全国指標〕

- ・災害時における主要な管渠、下水処理場及びポンプ場の機能確保率

【R元年度 ①管渠：70%、②処理場：38%、③ポンプ場：31%】

→ R7年度 ①管渠：76%、②処理場：42%、③ポンプ場：41%】

- ・官庁施設の耐震基準を満足する割合

【R元年度 92% → R7年度 100%】

〔5〕防災拠点整備や避難場所・通路の確保

- ・地域防災計画に位置付けられた「道の駅」におけるBCP策定率

【R元年度 3% → R7年度 約100%】

〔6〕防災・減災の取組

- ・災害時の対応や訓練結果等を踏まえ、港湾の事業継続計画（港湾BCP）を改訂した港湾（重要港湾以上）の割合

【R2年度 0% → R7年度 100%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■施設の耐震化等

(主)掛川天竜線 新橋(静岡県掛川市)★ (R3年度工事中)④

無電柱化推進事業(静岡県静岡市)★ (R3年度推進中)④

■道路等の多重性・代替性の確保

一般国道414号 静浦バイパス(静岡県沼津市)★

(R3年度工事中)下香貫地区[R4年度完成]①、その他地区④

一般国道151号 一宮バイパス(愛知県豊川市他) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道151号 宮下立体(愛知県豊川市) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道155号 東海拡幅(愛知県東海市) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道247号 碧南高浜拡幅(愛知県高浜市他) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道247号 碧南拡幅(愛知県碧南市) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道247号 衣浦大橋(左折拡幅)(愛知県半田市他) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道419号 高浜拡幅(愛知県高浜市) (R3年度工事中)④(再掲)

(主)名古屋津島線七宝工区(愛知県あま市) (R3年度工事中)④(再掲)

(一)蒲郡碧南線江原～細池はじめ2工区(愛知県西尾市) (R3年度工事中)④(再掲)

一般国道473号 月バイパス(愛知県設楽町他)★ (R3年度工事中)④(再掲)

無電柱化の推進(愛知県岡崎市ほか)★ (R3年度推進中)④

一般国道260号 船越バイパス(三重県南伊勢町) (R3年度測量設計中)④

(主)鈴鹿環状線 采女北工区(三重県四日市市) (R3年度工事中)④

一般国道368号 下太郎(三重県津市)★ (R3年度工事中)④

一般国道368号 仁柿峠バイパス(三重県松阪市)★ (R3年度工事中)④

一般国道368号 色太(三重県多気町)★ (R3年度工事中)④

一般国道路368号 上長瀬(三重県名張市) (R3年度工事中)④

(主)大台宮川線 弥起井(三重県大台町)★ (R3年度工事中)④

(主)大台宮川線 天ヶ瀬(三重県大台町) (R3年度工事中)④

(一)蓮狭線 七日市工区(三重県松阪市)★ (R3年度工事中)④

一般国道260号 東宮河内Ⅰ期(三重県南伊勢町)★ (R3年度測量設計中)④

(主)度会玉城線(三重県度会町)★ (R3年度工事中)④

(主)浜島阿児線 塩屋(三重県志摩市) (R3年度測量設計中)④

(一)阿児磯部鳥羽線 今浦(三重県鳥羽市) (R3年度測量設計中)④

(一)矢口浦上里線 矢口浦(三重県紀北町)★ (R3年度工事中)④

一般国道311号 甫母拡幅(三重県熊野市) (R3年度工事中)④

一般国道368号 奥立川(三重県津市) (R3年度工事中)④

(主)鈴鹿環状線 磯山バイパス(三重県鈴鹿市) (R3年度工事中)④

無電柱化推進事業(静岡県静岡市)★ (R3年度推進中)④

1 ■総合的な津波・高潮対策

2 富士海岸直轄海岸保全施設整備事業(静岡県沼津市、富士市、静岡市)[残事業費 157 億円(H29
3 年度評価時点)]★ (R3 年度工事中)④

4 駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業(静岡県焼津市、吉田町、牧之原市)[残事業費 99 億円(R 元
5 年度評価時点)]★ (R3 年度工事中)④

6 伊勢湾地区地震・高潮対策河川事業(愛知県名古屋市中区)[残事業費 276 億円(R2 年度評価時点)]
7 ★ (R3 年度工事中)④

8 二級河川山崎川 山崎川施設機能向上事業(愛知県名古屋市)(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①

10 ■防災拠点整備や避難場所・通路の確保

11 「道の駅」の防災機能強化の推進 (R3 年度推進中)④

12 小笠山総合運動公園 小笠山総合運動公園静岡アリーナ特定天井対策事業費(静岡県袋井市)
13 ★ (R3 年度工事中)[R3 年度完成]①

14 (主)浜松環状線(中郡・笠井工区)(静岡県浜松市東区) R3 年度測量設計中)④

16 ■防災・減災の取組

17 災害時の事業継続計画(BCP)の策定・充実(重要港湾ごとの港湾 BCP) (R3 年度推進中)④

18 災害時の早期の復旧に向けた航路啓開計画の策定・充実(伊勢湾 BCP) (R3 年度推進中)④

19 中部の港湾における高潮・暴風対策検討委員会の開催(愛知県名古屋市中区)(R3 年度推進中)④

20 広域の情報を収集する自律制御型ドローンの導入★ (R3 年度推進中)①

21 リアルタイム情報を収集するカメラの導入、みなとカメラの更新と新設★ (R3 年度推進中)④

22 情報基盤整備(衣浦港、三河港)(愛知県内) (R3 年度調査・検討中)[R3 年度完成]①

23 災害時の業務継続計画(BCP)の策定・充実 (R3 年度推進中)④

24 広域的な合同防災訓練等の実施 (R3 年度推進中)④

25 民間団体等との災害時支援協定(改定)の促進 (R3 年度推進中)④

27 ■危機管理対策の強化

28 TEC-FORCE と連携した訓練の実施 (R3 年度推進中)④

30 【ハード・ソフト一体となった取組】

31 ■施設の耐震化等

32 愛知県流域下水道事業(愛知県豊橋市他)★ (R3 年度推進中)④

33 名古屋港老朽化対策事業(愛知県名古屋市中区)★ (R3 年度工事中)[R6 年度完成]②

34 名古屋港海岸保全施設整備連携事業(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)②

35 名古屋港海岸高潮対策事業(愛知県名古屋市)★ (R3 年度工事中)④

37 ■総合的な津波・高潮対策

38 常滑海岸 大規模海岸保全施設改良事業(愛知県常滑市) (R3 年度工事中)[R5 年度完成]①

40 ■防災拠点整備や避難場所・通路の確保

(仮称)あいち防災臨空公園 基幹的広域防災拠点整備事業(愛知県西春日井郡豊山町他)★

(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②

■危機管理対策の強化

広域的な救援活動を支援する地理空間情報の整備・更新・提供

(R3 年度推進中)④

【インフラの利活用】

■施設の耐震化等

緊急輸送道路における橋梁耐震化(愛知県愛西市他)

(R3 年度推進中)④

緊急輸送道路における橋梁の耐震化(静岡県静岡市)

(R3 年度推進中)④

くしの歯ルート上の橋梁耐震化(静岡県静岡市)

(R3 年度推進中)④

緊急輸送道路における橋梁耐震化(三重県津市他)

(R3 年度推進中)④

■道路等の多重性・代替性の確保

緊急輸送道路の耐震補強の推進

(R3 年度推進中)④

無電柱化事業の推進

(R3 年度推進中)④

【既存施設の集約・再編】

■施設の耐震化等

名古屋第4地方合同庁舎 名古屋第4地方合同庁舎(愛知県名古屋市)

(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②

■道路等の多重性・代替性の確保

無電柱化推進:(都)名古屋環状線(黄金通工区)(愛知県名古屋市)

(R3 年度工事中)④

無電柱化推進:(都)名古屋環状線(五月通工区)(愛知県名古屋市)

(R3 年度工事中)④

【選択と集中の徹底】

■施設の耐震化等

木曾川直轄河川改修事業[残事業費 310 億円(R2 年度評価時点)]★

【(三重県桑名市他)

(R3 年度工事中)④(再掲)】

長良川直轄河川改修事業[残事業費 782 億円(R2 年度評価時点)]★

【(岐阜県岐阜市他)

(R3 年度工事中)④(再掲)】

揖斐川直轄河川改修事業[残事業費 605 億円(R2 年度評価時点)]★

【(岐阜県大垣市他)

(R3 年度工事中)④(再掲)】

宮川直轄河川改修事業[残事業費 111 億円(H30 年度評価時点)]★

【(三重県伊勢市他)

(R3 年度工事中)④(再掲)】

清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

【(静岡県静岡市)

(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】

名古屋港ふ頭再編整備事業[残事業費 3097 億円(R 元年度評価時点)]★

1	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
2	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業[残事業費 324 億円(R2 年度評価時点)]	
3	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)(R10 年度完成)③(再掲)】
4	緊急輸送道路等の橋梁耐震対策	
5	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
6	木曽川右岸流域下水道(地震対策)[残事業費 62 億円(R2 年度評価時点)]★	
7	【(岐阜県各務原市他)	(R3 年度工事中)④】
8	清水港 袖師臨港地区橋梁改良事業	
9	【(静岡県静岡市清水区)	(R3 年度工事中)①】
10	清水港 江尻地区岸壁整備事業	
11	【(静岡県静岡市清水区)	(R3 年度工事中)①(再掲)】
12	三重県港湾耐震対策事業★	
13	【(三重県)	(R3 年度工事中)(R9 年度完成)③】
14	三重県港湾老朽化対策事業★	
15	【(三重県)	(R3 年度工事中)(R9 年度完成)③】
16	流域下水道地震対策事業★	
17	【(三重県四日市市他)	(R3 年度推進中)(R7 年度完成)②】
18	(市)東築地町第1号線(東築地橋)	
19	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
20		
21	■道路等の多重性・代替性の確保	
22	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 飯喬道路[残事業費 277 億円(R 元年度評価時点)]★	
23	【(飯田上久堅・喬木富田 IC～喬木 IC)(長野県飯田市～下伊那郡喬木村)	
24		(R3 年度工事中)④】
25	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 青崩峠道路[残事業費 276 億円(R 元年度評価時点)]★	
26	【(小嵐 IC(仮称)～水窪北 IC(仮称))(長野県飯田市～静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】
27	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 水窪佐久間道路[残事業費 899 億円(R 元年度評価時点)]★	
28	【(水窪 IC(仮称)～佐久間川合 IC)(静岡県浜松市)	(R3 年度測量設計中)④】
29	三遠南信自動車道 一般国道 474 号 佐久間道路・三遠道路★	
30	【(東栄 IC～鳳来峡 IC)(愛知県設楽郡東栄町～新城市)	
31		(R3 年度工事中) [R7 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】
32	中部縦貫自動車道 一般国道 158 号 高山清見道路[残事業費 986 億円(R2 年度評価時点)]★	
33	【(高山 IC～丹生川 IC(仮称))(岐阜県高山市)	(R3 年度工事中)④】
34	東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(土岐～関)	
35	【(土岐 JCT～美濃加茂 IC)(岐阜県土岐市～美濃加茂市)	
36		(R3 年度工事中)[R4 年度から順次完成、R6 年度完成]②】
37	【(美濃加茂 IC～関広見 IC)(岐阜県美濃加茂市～関市)	(R3 年度測量設計中)④】
38	東海環状自動車道 一般国道 475 号(関～養老)	
39	【(山県 IC～大野神戸 IC)(岐阜県山県市～安八郡神戸町)	(R3 年度工事中) [R6 年度完成]②】
40	東海環状自動車道 一般国道 475 号(養老～北勢)[残事業費 1,267 億円(R 元年度評価時点)]	

- 1 【(養老 IC～北勢 IC(仮称))(岐阜県養老郡養老町～三重県いなべ市)
2 (R3 年度工事中) [R8 年度完成※用地取得等が順調な場合] ③】
 - 3 東海環状自動車道 一般国道 475 号(北勢～四日市)
 - 4 【(北勢 IC(仮称)～大安 IC)(三重県いなべ市) (R3 年度工事中) [R6 年度完成] ②】
 - 5 伊豆縦貫自動車道 一般国道 1 号 東駿河湾環状道路[残事業費 208 億円(H28 年度評価時点)]
 - 6 【(沼津岡宮 IC～函南 IC(仮称))(静岡県沼津市～田方郡函南町) (R3 年度測量設計中) ④】
 - 7 伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅰ期)[残事業費 225 億円(H28 年度評価時点)]
 - 8 ★
 - 9 【(下田北 IC(仮称)～下田 IC(仮称))(静岡県下田市) (R3 年度工事中) ④】
 - 10 伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅱ期)★
 - 11 【(河津 IC(仮称)～逆川 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町)
12 (R3 年度工事中) [R4 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合] ①】
 - 13 【(逆川 IC(仮称)～下田北 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町～下田市) (R3 年度工事中) ④】
 - 14
 - 15 一般国道 42 号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)★
 - 16 【(尾鷲北 IC～尾鷲南 IC)(三重県尾鷲市) (R3 年度工事中) [R3 年夏頃完成] ①】
 - 17 一般国道 42 号 熊野道路[残事業費 294 億円(R2 年度評価時点)]★
 - 18 【(熊野大泊 IC～熊野 IC(仮称))(三重県熊野市) (R3 年度工事中) ④】
 - 19 一般国道 42 号 紀宝熊野道路[残事業費 845 億円(R2 年度評価時点)]★
 - 20 【(熊野 IC(仮称)～紀宝 IC(仮称))(三重県熊野市～南牟婁郡紀宝町) (R3 年度測量設計中) ④】
 - 21 一般国道 156 号 郡上大橋架替
 - 22 【(岐阜県郡上市) (R3 年度測量設計中) ④】
 - 23 一般国道 1 号 愛知 1 号震災橋架替(熱田伝馬橋架替)
 - 24 【(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中) ④】
 - 25 豊橋浜松道路 一般国道 23 号 豊橋東バイパス[残事業費 42 億円(R2 年度評価時点)]
 - 26 【(豊橋東 IC～野依 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中) ④】
 - 27 豊橋浜松道路・名豊道路 一般国道 23 号 豊橋バイパス[残事業費 278 億円(R2 年度評価時点)]★
 - 28 【(野依 IC～大崎 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度工事中) ④】
 - 29 【(前芝 IC～豊川為当 IC)(愛知県豊川市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中) ④】
 - 30 名豊道路 一般国道 23 号 蒲郡バイパス★
 - 31 【(豊川為当 IC～蒲郡 IC)(愛知県豊川市～蒲郡市)
32 (R3 年度工事中) [R6 年度完成※大規模切土工事が順調に進んだ場合] ②】
 - 33 名豊道路 一般国道 23 号 岡崎バイパス[残事業費 203 億円(R2 年度評価時点)]
 - 34 【(幸田芦谷 IC～西尾東 IC)(愛知県額田郡幸田町～西尾市町(4 車線化))
35 (R3 年度測量設計中) ④】
 - 36 一般国道 1 号 桑名東部拡幅[残事業費 305 億円(H29 年度評価時点)]★
 - 37 【(三重県桑名市) (R3 年度工事中) ④】
 - 38 一般国道 1 号 北勢バイパス★
 - 39 【((市)日長八郷線～国道 477 号バイパス)
40 (R3 年度工事中) [R6 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合] ②】

1	【(国道477号バイパス～四日市市)	(R3 年度工事中)④】
2	一般国道23号 鈴鹿四日市道路[残事業費840億円(R元年度評価時点)]	
3	【(三重県四日市市～鈴鹿市)	(R3 年度測量設計中)④】
4	一般国道23号 中勢道路★	
5	【(三重県鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町)	(R3 年度工事中)[R5 年度暫定完成]①】
6	【(津市部分立体)	(R3 年度測量設計中)④】
7	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	
8	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
9	名古屋港ふ頭再編整備事業[残事業費3,097億円(R元年度評価時点)]★	
10	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
11	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業[残事業費324億円(R2 年度評価時点)]	
12	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③(再掲)】
13	一般国道417号 赤坂大橋工区	
14	【(岐阜県大垣市)	(R3 年度工事中)④】
15	一般国道303号 西横山バイパス★	
16	【(岐阜揖斐郡揖斐川町)	(R3 年度工事中)④】
17	一般国道248号 山田バイパス	
18	【(岐阜県関市)	(R3 年度工事中)④】
19	一般国道257号 馬瀬川上工区★	
20	【(岐阜県下呂市)	(R3 年度工事中)④】
21	一般国道156号 福島バイパス	
22	【(岐阜県大野郡白川村)	(R3 年度工事中)④】
23	一般国道360号 種蔵・打保バイパス★	
24	【(岐阜県飛騨市)	(R3 年度工事中)④】
25	金谷御前崎連絡道路 一般国道473号 金谷相良道路Ⅱ★	
26	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④】
27	一般国道362号 本川根静岡バイパス★	
28	【(静岡県川根本町)	(R3 年度工事中)④】
29	清水港江尻地区岸壁整備事業	
30	【(静岡県静岡市清水区)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
31	愛知県港湾防波堤改良事業	
32	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
33	一般国道260号(東宮橋)橋梁架替	
34	【(三重県南伊勢町)	(R3 年度工事中)④】
35	(主)神戸長沢線(汲川原橋)耐震補強	
36	【(三重県)	(R3 年度測量設計中)④】
37	(一)与地辰野線 下田	
38	【(長野県上伊那郡辰野町)	(R3 年度測量設計中)④】
39	(一)沢渡高遠線 貝沼	
40	【(長野県伊那市)	(R3 年度工事中)④】

1	(主)岡谷茅野線 湖南	
2	【(長野県諏訪市)	(R3 年度工事中)④】
3	(主)開田三岳福島線 小島トンネル	
4	【(長野県木曽郡木曽町)	(R3 年度測量設計中)④】
5	(一)上松御岳線 高倉橋(小川)	
6	【(長野県木曽郡上松町)	(R3 年度工事中)④】
7	(主)下条米川飯田線 下平～富田	
8	【(長野県飯田市～喬木村)	(R3 年度工事中)④】
9	(主)飯田富山佐久間線 龍江	
10	【(長野県飯田市)	(R3 年度測量設計中)〔R12 年度完成〕③】
11	(主)飯田富山佐久間線 中谷★	
12	【(長野県下伊那郡阿南町)	(R3 年度測量設計中)④】
13	(一)内川姨捨停車場線 冠着橋	
14	【(長野県千曲市)	(R3 年度工事中)④】
15	一般国道 141 号 跡部～平原★	
16	【(長野県佐久市～小諸市)	(R3 年度工事中)④】
17	一般国道 144 号 上野バイパス★	
18	【(長野県上田市)	(R3 年度工事中)④】
19	一般国道 254 号 東内～西内★	
20	【(長野県上田市)	(R3 年度工事中)④】
21	一般国道 143 号 青木峠バイパス	
22	【(長野県松本市～上田市)	(R3 年度測量設計中)④】
23	一般国道 299 号 糸萱～蓼科★	
24	【(長野県茅野市)	(R3 年度測量設計中)④】
25	一般国道 151 号 新野拡幅★	
26	【(長野県下伊那郡阿南町)	(R3 年度工事中)④】
27	一般国道 151 号 八幡町	
28	【(長野県飯田市)	(R3 年度工事中)④】
29	一般国道 418 号 岩倉橋～軒川★	
30	【(長野県下伊那郡売木村)	(R3 年度測量設計中)④】
31	一般国道 152 号 下樽渡橋★	
32	【(長野県下伊那郡大鹿村)	(R3 年度工事中)④】
33	一般国道 152 号 分杭峠～上青木★	
34	【(長野県下伊那郡大鹿村)	(R3 年度測量設計中)④】
35	一般国道 418 号 大町～下市場	
36	【(長野県下伊那郡天龍村)	(R3 年度推進中)④】
37	一般国道 418 号 天竜川橋	
38	【(長野県下伊那郡天龍村)	(R3 年度工事中)④】
39	一般国道 418 号 新野～川島★	
40	【(天龍村)	(R3 年度測量設計中)④】

1	一般国道 418 号 足瀬★	
2	【(長野県下伊那郡天龍村)	(R3 年度工事中)④】
3	一般国道 256 号 漆畑拡幅 3 工区	
4	【(長野県木曽郡南木曽町)	(R3 年度工事中)④】
5	一般国道 361 号 姥神峠道路(延伸)	
6	【(長野県木曽郡木曽町)	(R3 年度測量設計中)④】
7	一般国道 403 号 下木島	
8	【(長野県飯山市～下高井郡木島平村)	(R3 年度測量設計中)④】
9		
10	■総合的な津波・高潮対策	
11	菊川直轄河川改修事業[残事業費 182 億円(H29 年度評価時点)]★	
12	【(静岡県菊川市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
13	木曽川直轄河川改修事業[残事業費 310 億円(R2 年度評価時点)]★	
14	【(三重県桑名市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
15	長良川直轄河川改修事業 [残事業費 782 億円(R2 年度評価時点)]★	
16	【(岐阜県岐阜市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
17	揖斐川直轄河川改修事業[残事業費 605 億円(R2 年度評価時点)]★	
18	【(岐阜県大垣市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
19	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業★	
20	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)②】
21	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業★	
22	【(静岡県御前崎市)	(R3 年度工事中)①】
23	下田港防波堤整備事業[残事業費 122 億円(R2 年度評価時点)]★	
24	【(静岡県下田市)	(R3 年度工事中)④】
25	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業★	
26	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
27	相良須々木海岸高潮対策事業[残事業費 12 億円(R3 年度公表時点)]	
28	【(静岡県牧之原市)	(R3 年度工事中)④】
29	静岡海岸 静岡海岸高潮対策事業★	
30	【(静岡県静岡市駿河区)	(R3 年度工事中)④】
31	沼津牛臥海岸 沼津牛臥海岸高潮対策事業★	
32	【(静岡県沼津市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】
33	坂口谷川 坂口谷川事業間連携河川事業★	
34	【(静岡県牧之原市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
35	清水港海岸津波対策緊急事業[残事業費 53 億円(R2 年度評価時点)]	
36	【(静岡県静岡市清水区)	(R3 年度測量設計中)③】
37	御前崎港海岸津波対策緊急事業[残事業費 60 億円(R2 年度評価時点)]	
38	【(静岡県御前崎市)	(R3 年度測量設計中)③】
39	静岡県海岸高潮対策事業★	
40	【(静岡県)	(R3 年度工事中)③】

1	静岡県海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業★	
2	【(静岡県)	(R3 年度工事中)③】
3	静岡県海岸堤防等老朽化対策緊急事業	
4	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②】
5	静岡県海岸環境整備事業	
6	【(静岡県)	(R3 年度工事中)③】
7	焼津漁港海岸高潮対策事業★	
8	【(静岡県焼津市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成(変更協議中)]①】
9	大井川港海岸高潮対策事業★	
10	【(静岡県焼津市)	(R3 年度工事中)③】
11	愛知県海岸耐震対策緊急事業	
12	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
13	愛知県港湾防波堤改良事業	
14	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②(再掲)】
15	愛知県海岸高潮対策事業★	
16	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)②】
17	愛知県海岸津波・高潮危機管理対策事業★	
18	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)②】
19	海岸保全施設整備連携事業(一色漁港海岸)★	
20	【(愛知県西尾市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)】
21	海岸保全施設整備連携事業(水産拠点)(西幡豆漁港海岸)★	
22	【(愛知県西尾市)	(R3 年度調査・検討中)[R7 年度完成]②】
23	津波対策緊急事業(赤羽根漁港海岸)★	
24	【(愛知県田原市)	(R3 年度調査・検討中)[R7 年度完成]②】
25	海岸保全施設整備事業(篠島漁港海岸、一色漁港海岸、西幡豆漁港海岸、三谷漁港海岸)★	
26	【(愛知県知多郡南知多町他)	(R3 年度工事中)④】
27	津波高潮危機管理対策事業(大浜漁港海岸、赤羽根漁港海岸)★	
28	【(愛知県碧南市他)	(R3 年度工事中)④】
29	城南第一地区海岸高潮対策事業★	
30	【(三重県桑名市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
31	三重県海岸侵食対策事業★	
32	【(三重県)	(R3 年度工事中)④】
33	三重県海岸堤防等老朽化対策緊急事業★	
34	【(三重県)	(R3 年度工事中)②】
35	上野・白塚海岸 海岸保全施設整備連携事業★	
36	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
37	三重県海岸津波・高潮危機管理対策緊急事業★	
38	【(三重県)	(R3 年度工事中)①】
39	三重県海岸高潮対策事業★	
40	【(三重県)	(R3 年度工事中)④】

1	四日市港海岸高潮対策事業★	
2	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)②】
3	井田地区海岸高潮対策事業[残事業費 26 億円(R2 年度評価時点)]★	
4	【(三重県南牟婁郡紀宝町)	(R3 年度工事中)④】
5		
6	■防災拠点整備や避難場所・通路の確保	
7	静岡県港湾耐震対策事業★	
8	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②】
9	静岡県海岸避難施設設置事業★	
10	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②】
11	(市)愛知名駅南線 運河橋★	
12	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
13	(都)東志賀町線(水分橋)★	
14	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
15	(地)名古屋祖父江線枇杷島橋架け替え事業	
16	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④】
17	(都)万場藤前線(正江橋)★	
18	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
19	(都)小幡西山線	
20	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
21	(都)戸田荒子線(高木工区)	
22	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
23	都市公園整備 米野公園整備	
24	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
25	都市公園整備 富田公園整備★	
26	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
27	都市公園整備 船頭場公園整備★	
28	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
29		
30	■防災・減災の取組	
31	地籍調査の推進★	
32	【(静岡県静岡市)	(R3 年度推進中)④】
33		

重点施策	指標
(施設の耐震化等)	
・道路・河川管理施設・海岸・下水道・港湾・空港・鉄道・官庁施設、住宅・建築物等の耐震化等の推進	[K P I-4] ・南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な① 河川堤防等の整備率（計画高までの整備と耐震化） R元年度 57% → R7年度 71% ・南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な②

	水門・樋門等の耐震化率 R 元年度 31% → R7 年度 78% 〔全国指標〕 ・南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の耐震化率 R 元年度 56% → R7 年度 59% 〔全国指標〕 ・南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率 R 元年度 81%→R7 年度 88% ・災害時における主要な管渠、下水処理場及びポンプ場の機能確保率 R 元年度 ①管渠：70% ②処理場：38% ③ポンプ場：31% → R7 年度 ①管渠：76% ②処理場：42% ③ポンプ場：41% ・官庁施設の耐震基準を満足する割合 R 元年度 92% → R7 年度 100%
・切迫する大地震に備え、大規模盛土造成地の滑動崩落の危険性を把握する取組を推進	・大規模盛土造成地の安全性を把握する調査に着手した実施率 R 元年度 3% → R7年度 60%
(道路等の多重性・代替性の確保)	
・緊急輸送道路の強化、無電柱化の推進と高規格道路等の東西、南北方向への多重性・代替性を確保した幹線道路ネットワークの拡充	
・中部圏と北陸圏の空港・港湾がその代替機能を補完、強化することで、多モードの交通機能により東西、南北に二重、三重にネットワークされた、太平洋と日本海の2面活用型の強靱な国土の構築	
(総合的な津波・高潮対策)	
・河川堤防の整備や海岸において地域の実情に応じた粘り強い構造の海岸堤防の整備等の津波・高潮対策の推進	・南海トラフ地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等において対策が必要な①河川堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) R 元年度 57% → R7年度 71% ・気候変動影響を防護目標に取り込んだ海岸の数 R 元年度 0 → R7 年度 3 〔全国指標〕 ・海岸堤防等の整備率 R 元年度 53% → R7 年度 64% 〔全国指標〕 ・海面上昇等の影響にも適応可能となる順応的な砂浜の管理が実施されている海岸の数 R2 年度 1 → R7 年度 20
(防災拠点整備や避難場所・通路の確保)	
・大規模な広域防災拠点をはじめとする防災拠点ネットワークの整備や避難場所の確保	〔K P I - 5〕 ・地域防災計画に位置付けられた「道の駅」における BCP 策定率 R 元年度 3% → R7 年度 約 100%

(防災・減災の取組)	
・地籍整備、業務継続計画の策定、行政と民間団体との災害時支援協定の締結(改定)の促進、広域的な合同防災訓練の実施、危険区域の情報開示など産学官が連携した防災・減災の取組推進	・高潮浸水想定区域を指定している都道府県数 R2 年度 0 → R7 年度 3 ・津波災害警戒区域を指定している都道府県数 R2 年度 2 → R7 年度 4 〔K P I-6〕 ・災害時の対応や訓練結果等を踏まえ、港湾の事業継続計画(港湾 BCP)を改訂した港湾(重要港湾以上)の割合 R2 年度 0% → R7 年度 100% ・最大クラスの津波に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練(机上訓練、情報伝達訓練等)を実施した市区町村数 R2 年度 14 → R7 年度 32
(危機管理対策の強化)	
・被災した自治体等の災害対応を支援する緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)やリエゾン、地理空間情報の活用に基づく防災情報の共有化・高度化等の取組推進	
「「A2-BCP」(空港業務継続計画)の実行性強化対策」及び「空港におけるイレギュラー時の適切な対応および体制の確保」	・「A2-BCP」(空港業務継続計画)に基づく訓練などの毎年度 8 月までの実施率 R2 年度 70% → 毎年度 100%
期待されるストック効果	
・阪神淡路大震災以降、既存の社会資本の耐震化が進められ、大規模地震に対する安全性が向上されてきた。また、南海トラフ地震に対応した道路啓開計画を策定するとともに、道路管理者間及び実働部隊との連携強化や訓練による対応能力を向上してきた。今後も南海トラフ地震・津波に対応した社会資本の耐震化・道路ネットワーク化が進むことにより、社会経済活動を継続され、地域住民の安全・安心が確保されることが期待される。南海トラフ地震での被害想定が大きい紀伊半島南部地域では、熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路の整備により津波浸水域を回避する代替路線が確保され、命の道としての効果が期待される。 ・大規模災害時における緊急物資輸送、幹線物流機能の確保のため、ネットワークを意識した耐震強化岸壁の整備や臨港道路の耐震化等が進むことにより、社会経済活動を支えるサプライチェーンへの影響が最低限に抑制されるとともに、地域住民の安全・安心が確保されることが期待される。 ・東日本大震災以降、発生頻度の高い津波に対する海岸等の堤防整備とともにこれを越える津波に対するソフトを含めた対策も進められ沿岸域住民の安全・安心に寄与してきた。今後も南海トラフ地震・津波に対応した防波堤の粘り強い化改良、海岸堤防の整備などの社会資本整備が進むことにより、背後地の浸水被害が軽減されることが期待される。また、防波堤の粘り強い化改良により、津波来襲後においても港内静穏度を確保することで、物流機能の維持が期待される。 ・巨大地震等の自然災害後における具体的な対応と、平時に行うマネジメント活動等を示した港湾 BCP の策定・充実を図ることで、災害発生後における港湾の重要機能の維持・早期回復が期待できる。 ・南海トラフ地震等の大規模・広域災害における航路啓開計画(伊勢湾 BCP)の策定・充実を図ることで、伊勢湾内の広域連携による緊急物資輸送や港湾物流機能の早期回復が期待できる。 ・木曽三川の下流域における洪水被害、四日市港における高潮災害など複合型災害を想定した広域連携防災訓練等を通じ、防災体制の確立・強化を図ることで、ハード・ソフト両面の防災・減災対策が促進され、強靱な国土の形成が期待される。 ・港湾の堤外地については、高潮による浸水被害が発生すると、コンテナターミナル等の機能が損なわれ、我が国の港湾物流ネットワークや立地企業の生産活動が大きく停滞する可能性がある。フェーズ別高潮対応計画を策定し、高潮対策を推進することで、ハード・ソフト両面の防災・減災対策により、強靱な国土の形成が期待される。 ・管内港湾事務所において、ドローンの配備、みなとカメラを更新・新設することにより、災害時における港湾施設の被害状況の迅速な確認体制を構築することが期待できる。	

- ・岐阜県内緊急輸送道路上の橋梁について、平成 25 年度に策定した緊急輸送道路ネットワーク整備計画に基づき、地震時に橋脚の倒壊や落橋といった甚大な被害が発生しないよう計画的に耐震対策を推進し、平成 30 年度に完了した。また令和 2 年度以降、緊急輸送道路など特に重要な路線を優先して、被災しても速やかな機能回復が可能な性能を目指す対策(フルスペック化)を推進することにより、災害時でも救急搬送や物資輸送などが可能なネットワークの確保に貢献している。
- ・坂口谷川の河口部では、静岡県第 4 次地震被害想定において、南海トラフ巨大地震等に伴い発生する津波の影響で、河口部から一定区間で浸水の恐れがある。直轄の海岸堤防整備事業と連携し、河口部に水門を整備することで、レベル 1 津波に対する防護機能が向上し、沿岸域の地域活性化に期待できる。
- ・唐崎川水門は、築造後 50 年以上全国有数の焼きものの郷常滑を浸水被害から防護し地域経済に貢献をしてきたが、耐震性を有する施設に改築することで、防護機能が向上し、地域経済の更なる活性化が期待できる。
- ・二級河川三滝川・海蔵川流域は、昭和 49 年の豪雨による水害をはじめとして、過去から度々浸水被害が発生していることから、治水安全度向上のため、三滝川から海蔵川へ洪水の一部を分派させる三滝新川の河川整備を行っている。河川整備を行うことにより県内有数の市街地である四日市市の治水安全度向上に大きく寄与することとなる。
- ・南海トラフ地震・津波に対応した海岸堤防の整備と砂浜の人工養浜が進むことにより、発生頻度の高い津波などから背後地を防護し、「二見浦」として知られる白砂青松の保全を図ることにより、地域住民や観光客の水害リスク低減や生活環境、利用環境の向上に寄与している。
- ・(主)浜松環状線が、東名及び新東名高速道路(重要物流道路)を繋ぐネットワークとなり、双方を補完する広域幹線道路ネットワーク形成による平常時・災害時の安定的な輸送を確保する。

「インフラ経営」の取組

- ・「道の駅」を災害時の避難所や防災拠点等としても活用するために、施設・体制整備による機能強化を推進

小目標2-2:スーパー伊勢湾台風等大規模自然災害対策

(重点施策の概要)

- ・気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者(国・都道府県・市町村・企業・住民等)により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速する。(あらゆる関係者の協働による治水対策の全体像をとりまとめた流域治水プロジェクトとして、中部地方においては21,138億円規模の事前防災対策を予定)
- ・関係省庁・官民が連携して、利水ダムを含む既存ダムの洪水調節機能の強化や、水田の貯留機能の活用等を進める。
- ・激甚化・頻発化する自然災害に備え、「東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会」など産学官民が一体となりソフト・ハード両面での防災・減災対策のため、河川整備や保水・遊水機能保全など流域が一体となった総合的な治水対策の取組を推進する。
- ・洪水対策及び名古屋市地下街などの地下空間における都市浸水に対する内水対策、土地利用の適正化等災害に強い地域づくりを推進する。
- ・想定し得る最大規模の降雨を前提とした河川の浸水想定図の作成や大規模浸水を想定した危機管理行動計画、直轄河川管理区間沿川市町村の避難指示の発令等に着目したタイムラインの策定、防災訓練等、激甚化する気象災害への対応力を強化する。
- ・みなとや市民の安全・安心を守るために、各港湾で「水際・防災対策連絡会議」を設置し、平時より関係者で情報を共有・連携し、事前準備を進めるとともに、非常時には関係者が連携して即座に対処する取組を推進する。
- ・リダンダンシーの確保により、風水害・土砂災害・地震・津波・噴火・豪雪・原子力災害等が発生した直後から、救命・救助活動等が迅速に行われ、社会経済活動が機能不全に陥ることなく、また、制御不能な二次災害を発生させないことなどを目指し、高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化、災害時の道路閉塞を防ぐ無電柱化等を推進し、災害に強い道路ネットワークの構築を進めるとともに、海上交通ネットワークを維持するための港湾の高潮・高波対策等を進める。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔7〕 総合的な治水対策

- ・1級水系及び2級水系において、流域治水プロジェクトを策定している水系数

【R元年度 0 → R7年度 83】

- ・流域治水として流域対策に取り組む市町村数

【R元年度 88市町村 → R7年度 210市町村】

〔8〕

- ・1級、2級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率(1級)

【R元年度 64% → R7年度 69%】

〔9〕都市浸水に対する内水対策等の災害に強い地域づくり

・下水道による都市浸水対策達成率

【R元年度 約63% → R7年度 約68%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■総合的な治水対策

設楽ダム建設事業(愛知県北設楽郡設楽町)[残事業費 1,650 億円(H30 年度評価時点)]★

(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③

新丸山ダム建設事業(岐阜県加茂郡八百津町他)[残事業費 1,034 億円(R元年度評価時点)]★

(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③

三峰川総合開発事業(美和ダム再開発)(長野県伊那市)★

(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①

天竜川ダム再編事業(静岡県浜松市他)[残事業費 662 億円(R2 年度評価時点)]★

(R3 年度工事中)④

矢作ダム再生事業(愛知県豊田市他)[残事業費 383 億円(R2 年度評価時点)]★

(R3 年度測量設計中)④

新川・境川流域総合治水対策特定河川事業(愛知県名古屋市、刈谷市他)[残事業費 2,434 億円
(H30 年度評価時点)]★

(R3 年度工事中)④

松川ダム 松川ダム再開発事業(長野県飯田市)[残事業費 50 億円(R元年度評価時点)]★

(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③

裾花ダム・奥裾花ダム 裾花川流域ダム再生事業(長野県長野市)[残事業費 707 億円(R2 年度評
価時点)]★

(R3 年度調査・検討中)④

■大規模災害発生後の港湾における災害対応力の強化

水際・防災対策連絡会議

(R3 年度推進中)④

【ハード・ソフト一体となった取組】

■総合的な治水対策

二級河川三滝新川 三滝新川大規模特定河川事業(三重県四日市市)[残事業費 8.6 億円(R2 年
度評価時点)]

(R3 年度測量設計中)[R8 年度完成]③

二級河川相川 相川大規模特定河川事業(三重県津市)[残事業費 12.54 億円(R2 年度評価時点)]
★

(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③

一級河川木津川 木津川大規模特定河川事業(三重県伊賀市)[残事業費 29.5 億円(R2 年度評価
時点)]★

(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③

一円(河川監視カメラ、危機管理型水位計、浸水想) 総合流域防災事業(県内一円)★

(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①

1	一級河川堀川 堀川事業間連携河川事業(100mm/h 安心プラン)(愛知県名古屋市)★	
2		(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
3	一級河川堀川 堀川流域治水対策河川事業(100mm/h 安心プラン)(愛知県名古屋市)	
4		(R3 年度工事中)④
5	二級河川山崎川 山崎川広域河川改修事業(100mm/h 安心プラン)(愛知県名古屋市)	
6		(R3 年度測量設計中)④
7	二級河川山崎川 山崎川広域河川改修事業(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④
8	二級河川戸田川 戸田川広域河川改修事業(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④
9	二級河川扇川 扇川広域河川改修事業(愛知県名古屋市)(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②	
10	一級河川野添川 野添川広域河川改修事業(愛知県名古屋市)	(R3 年度測量設計中)④
11	準用河川境川 庄内川・木曽川圏域総合流域防災事業(愛知県名古屋市)(R3 年度測量設計中)④	
12	二級河川九領川 広域河川改修事業(浜松市西区)[残事業費 24.1 億円(R2 年度評価時点)]★	
13		(R3 年度工事中)④
14		
15	■都市浸水に対する内水対策等の災害に強い地域づくり	
16	下水道による浸水対策事業(愛知県名古屋市)★	(R3 年度推進中)④
17		
18	■激甚化する気象災害への対応力強化	
19	ハザードマップ作成効果促進事業(愛知県名古屋市)	(R3 年度推進中)[R4 年度完成]①
20		
21	■交通・物流の機能確保のための事前対策の推進	
22	愛知県港湾エリア減災対策(愛知県内)	(R3 年度推進中)[R7 年度完成]②
23		
24	【選択と集中の徹底】	
25	■総合的な治水対策	
26	木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)[残事業費 241 億円(R2 年度評価時点)]★	
27	【(岐阜県大垣市)	(R3 年度調査・検討中)④】
28	庄内川(枇杷島地区)特定構造物改築事業[残事業費 573 億円(H29 年度評価時点)]★	
29	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度調査・検討中)④】
30	狩野川直轄河川改修事業[残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★	
31	【(静岡県沼津市他)	(R3 年度工事中)④】
32	安倍川直轄河川改修事業[残事業費 99 億円(H29 年度評価時点)]★	
33	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
34	大井川直轄河川改修事業[残事業費 75 億円(H29 年度評価時点)]★	
35	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④】
36	菊川直轄河川改修事業[残事業費 182 億円(H29 年度評価時点)]★	
37	【(静岡県菊川市他)	(R3 年度工事中)④】
38	天竜川直轄河川改修事業[残事業費 252 億円(R2 年度評価時点)]★	
39	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④】
40	豊川直轄河川改修事業[残事業費 203 億円(H29 年度評価時点)]★	

1	【(愛知県豊橋市他)(R3 年度工事中)	[R12 年度完成]③】
2	矢作川直轄河川改修事業[残事業費 231 億円(R 元年度評価時点)]★	
3	【(愛知県豊田市他)	(R3 年度工事中)④】
4	庄内川直轄河川改修事業[残事業費 920 億円(H29 年度評価時点)]★	
5	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④】
6	木曽川直轄河川改修事業[残事業費 310 億円(R2 年度評価時点)]★	
7	【(三重県桑名市他)	(R3 年度工事中)④】
8	長良川直轄河川改修事業[残事業費 782 億円(R2 年度評価時点)]★	
9	【(岐阜県岐阜市他)	(R3 年度工事中)④】
10	揖斐川直轄河川改修事業[残事業費 605 億円(R2 年度評価時点)]★	
11	【(岐阜県大垣市他)	(R3 年度工事中)④】
12	鈴鹿川直轄河川改修事業[残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★	
13	【(三重県四日市市他)	(R3 年度工事中)④】
14	雲出川直轄河川改修事業[残事業費 268 億円(H29 年度評価時点)]★	
15	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)④】
16	櫛田川直轄河川改修事業[残事業費 93 億円(H28 年度評価時点)]★	
17	【(三重県松阪市他)	(R3 年度工事中)④】
18	宮川直轄河川改修事業[残事業費 111 億円(H30 年度評価時点)]★	
19	【(三重県伊勢市他)	(R3 年度工事中)④】
20	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業★	
21	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】(再掲)
22	防災・安全交付金事業 津屋川広域河川改修事業[残事業費 68 億円(R 元年度評価時点)]★	
23	【(岐阜県海津市、養老町)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成(予定)]③】
24	防災・安全交付金事業 境川総合治水特定河川事業[残事業費 176 億円(R 元年度評価時点)]★	
25	【(岐阜県岐阜市、岐南町)(R3 年度工事中)	[R20 年度完成(予定)]④】
26	河川総合開発事業費補助 内ヶ谷ダム建設事業★	
27	【(岐阜県郡上市)(R3 年度工事中)	[R7 年度完成(予定)]②】
28	巴川麻機遊水池総合治水対策特定河川事業★	
29	【(静岡県静岡市葵区)(R3 年度工事中)	[R10 年度完成]③】
30	馬込川緊急河道掘削事業 [残事業費 381 億円(R2 年度評価時点)]★	
31	【(静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】
32	沼川大規模特定河川事業[残事業費 185 億円(R2 年度評価時点)]★	
33	【(静岡県沼津市)(R3 年度工事中)	[R14 年度完成]④】
34	堀留川広域河川事業★	
35	【(静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】
36	八田川・地藏川床上浸水対策特別緊急事業★	
37	【(愛知県名古屋市、春日井市)	(R3 年度工事中)①】
38	広田川大規模特定河川事業[残事業費 48 億円(R2 年度評価時点)]★	
39	【(愛知県額田郡幸田町)	(R3 年度工事中)③】
40	砂川大規模特定河川事業[残事業費 12 億円(R2 年度評価時点)]★	

1	【(愛知県岡崎市)	(R3 年度工事中)③】
2	柳生川大規模特定河川事業[残事業費 118 億円(R2 年度評価時点)]	
3	【(愛知県豊橋市)	(R3 年度工事中)②】
4	野府川大規模特定河川事業[残事業費 134 億円(R2 年度評価時点)]	
5	【(愛知県一宮市)	(R3 年度工事中)③】
6	大田川事業間連携河川事業[残事業費 16 億円](R2 年度評価時点)	
7	【(愛知県東海市)	(R3 年度工事中)】
8	二級河川神内川 神内川大規模特定河川事業	
9	【(三重県紀宝町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
10	鳥羽河内ダム建設事業[残事業費 79.5 億円(R2 年度評価時点)]★	
11	【(三重県鳥羽市)	(R3 年度工事中)[R10 年度完成]③】
12	北沢川広域河川改修事業★	
13	【(長野県佐久穂町)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
14	片貝川広域河川改修事業★	
15	【(長野県佐久市)	(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②】
16	塚間川・大川総合流域防災事業★	
17	【(長野県岡谷市他)	(R3 年度工事中)R4 年度完成]①】
18	承知川広域河川改修事業★	
19	【(長野県下諏訪町)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
20	木曾川総合流域防災事業★	
21	【(長野県上松町他)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
22	黒沢川広域河川改修事業[残事業費 34 億円(H30 年度評価時点)]★	
23	【(長野県安曇野市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】
24	浅川浸水対策重点地域緊急事業★	
25	【(長野県長野市)	(R3 年度測量設計中)[R6 年度完成]②】
26	千曲川広域河川改修事業[残事業費 12 億円(H30 年度評価時点)]★	
27	【(長野県飯山市)	(R3 年度工事中)[R8 年度完成]③】
28	釜口水門広域河川改修事業★	
29	【(長野県岡谷市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
30	奈良井川広域河川改修事業★	
31	【(長野県松本市)	(R3 年度工事中)④】
32	岡田川大規模特定河川事業[残事業費 36 億円(H30 年度評価時点)]★	
33	【(長野県長野市)	(R3 年度工事中)[R11 年度完成]③】
34	皿川広域河川改修事業★	
35	【(長野県飯山市)	(R3 年度測量設計中)[R12 年度完成]③】
36	狩野川水系流域治水対策プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 462 億円(R2 年度公表時点)]★	
37	【(静岡県沼津市他)	(R3 年度工事中)④】
38	安倍川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 252 億円(R2 年度公表時点)]★	
39	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
40	大井川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 402 億円(R2 年度公表時点)]★	

1	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④】
2	菊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 166 億円(R2 年度公表時点)]★	
3	【(静岡県菊川市他)	(R3 年度工事中)④】
4	天竜川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,889 億円(R2 年度公表時点)]★	
5	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④】
6	豊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,858 億円(R2 年度公表時点)]★	
7	【(愛知県豊橋市他)	(R3 年度工事中)④】
8	矢作川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,763 億円(R2 年度公表時点)]★	
9	【(愛知県豊田市他)	(R3 年度工事中)④】
10	庄内川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 4,652 億円(R2 年度公表時点)]★	
11	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④】
12	木曽川水系木曽川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 3,128 億円(R2 年度公表時点)]★	
13	【(三重県桑名市他)	(R3 年度工事中)④】
14	木曽川水系長良川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,277 億円(R2 年度公表時点)]★	
15	【(岐阜県岐阜市他)	(R3 年度工事中)④】
16	木曽川水系揖斐川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,553 億円(R2 年度公表時点)]★	
17	【(岐阜県大垣市他)	(R3 年度工事中)④】
18	鈴鹿川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 581 億円(R2 年度公表時点)]★	
19	【(三重県四日市市他)	(R3 年度工事中)④】
20	雲出川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 326 億円(R2 年度公表時点)]★	
21	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)④】
22	櫛田川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 66 億円(R2 年度公表時点)]★	
23	【(三重県松阪市他)	(R3 年度工事中)④】
24	宮川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 278 億円(R2 年度公表時点)]★	
25	【(三重県伊勢市他)	(R3 年度工事中)④】
26	境川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 438 億円(R2 年度公表時点)]★	
27	【(愛知県)	(R3 年度工事中)④】
28	猿渡川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 188 億円(R2 年度公表時点)]★	
29	【(愛知県)	(R3 年度工事中)④】
30	※残事業費は個別事業との重複がある。	
31		
32	■都市浸水に対する内水対策等の災害に強い地域づくり	
33	木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場) [残事業費 241 億円(R2 年度評価時点)]★	
34	【(岐阜県大垣市)	(R3 年度調査・検討中)④(再掲)】
35	庄内川(枇杷島地区)特定構造物改築事業[残事業費 573 億円(H29 年度評価時点)]★	
36	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度調査・検討中)④(再掲)】
37	狩野川直轄河川改修事業[残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★	
38	【(静岡県沼津市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
39	安倍川直轄河川改修事業[残事業費 99 億円(H29 年度評価時点)]★	
40	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】

1	大井川直轄河川改修事業[残事業費 75 億円(H29 年度評価時点)]★	
2	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
3	菊川直轄河川改修事業[残事業費 182 億円(H29 年度評価時点)]★	
4	【(静岡県菊川市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
5	天竜川直轄河川改修事業[残事業費 252 億円(R2 年度評価時点)]★	
6	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
7	豊川直轄河川改修事業[残事業費 203 億円(H29 年度評価時点)]★	
8	【(愛知県豊橋市他)(R3 年度工事中)	[R12 年度完成]③(再掲)】
9	矢作川直轄河川改修事業[残事業費 231 億円(R 元年度評価時点)]★	
10	【(愛知県豊田市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
11	庄内川直轄河川改修事業[残事業費 920 億円(H29 年度評価時点)]★	
12	【(愛知県名古屋市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
13	木曽川直轄河川改修事業[残事業費 310 億円(R2 年度評価時点)]★	
14	【(三重県桑名市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
15	長良川直轄河川改修事業[残事業費 782 億円(R2 年度評価時点)]★	
16	【(岐阜県岐阜市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
17	揖斐川直轄河川改修事業[残事業費 605 億円(R2 年度評価時点)]★	
18	【(岐阜県大垣市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
19	鈴鹿川直轄河川改修事業[残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★	
20	【(三重県四日市市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
21	雲出川直轄河川改修事業[残事業費 268 億円(H29 年度評価時点)]★	
22	【(三重県津市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
23	櫛田川直轄河川改修事業[残事業費 93 億円(H28 年度評価時点)]★	
24	【(三重県松阪市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
25	宮川直轄河川改修事業[残事業費 111 億円(H30 年度評価時点)]★	
26	【(三重県伊勢市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
27	川岸町・渋川地区大規模雨水処理施設整備事業計画[残事業費 23 億円(R 元年度評価時点)]	
28	【(静岡県静岡市中他)(R3 年度工事中)	[R8 年度完成]③】
29	追分二丁目地区大規模雨水処理施設整備事業計画[残事業費 59 億円(R2 年度評価時点)]	
30	【(静岡県静岡市中他)(R3 年度工事中)	[R12 年度完成]③】
31	狩野川水系流域治水対策プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 462 億円(R2 年度公表時点)]★	
32	【(静岡県沼津市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
33	安倍川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 252 億円(R2 年度公表時点)]★	
34	【(静岡県静岡市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
35	大井川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 402 億円(R2 年度公表時点)]★	
36	【(静岡県島田市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
37	菊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 166 億円(R2 年度公表時点)]★	
38	【(静岡県菊川市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
39	天竜川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,889 億円(R2 年度公表時点)]★	
40	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市中他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】

- 1 豊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,858 億円(R2 年度公表時点)]★
- 2 【(愛知県豊橋市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 3 矢作川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,763 億円(R2 年度公表時点)]★
- 4 【(愛知県豊田市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 5 庄内川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 4,652 億円(R2 年度公表時点)]★
- 6 【(愛知県名古屋市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 7 木曽川水系木曽川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 3,128 億円(R2 年度公表時点)]★
- 8 【(三重県桑名市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 9 木曽川水系長良川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,277 億円(R2 年度公表時点)]★
- 10 【(岐阜県岐阜市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 11 木曽川水系揖斐川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,553 億円(R2 年度公表時点)]★
- 12 【(岐阜県大垣市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 13 鈴鹿川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 581 億円(R2 年度公表時点)]★
- 14 【(三重県四日市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 15 雲出川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 326 億円(R2 年度公表時点)]★
- 16 【(三重県津市) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 17 櫛田川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 66 億円(R2 年度公表時点)]★
- 18 【(三重県松阪市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 19 宮川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 278 億円(R2 年度公表時点)]★
- 20 【(三重県伊勢市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 21 境川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 438 億円(R2 年度公表時点)]★
- 22 【(愛知県) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 23 猿渡川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 188 億円(R2 年度公表時点)]★
- 24 【(愛知県) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 25 ※残事業費は個別事業との重複がある。
- 26
- 27 ■激甚化する気象災害への対応力強化
- 28 木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)[残事業費 241 億円(R2 年度評価時点)]★
- 29 【(岐阜県大垣市) (R3 年度調査・検討中)④(再掲)】
- 30 庄内川(枇杷島地区)特定構造物改築事業 [残事業費 573 億円(H29 年度評価時点)]★
- 31 【(愛知県名古屋市中他) (R3 年度調査・検討中)④(再掲)】
- 32 狩野川直轄河川改修事業[残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★
- 33 【(静岡県沼津市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 34 安倍川直轄河川改修事業[残事業費 99 億円(H29 年度評価時点)]★
- 35 【(静岡県静岡市) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 36 大井川直轄河川改修事業[残事業費 75 億円(H29 年度評価時点)]★
- 37 【(静岡県島田市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 38 菊川直轄河川改修事業[残事業費 182 億円(H29 年度評価時点)]★
- 39 【(静岡県菊川市中他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 40 天竜川直轄河川改修事業[残事業費 252 億円(R2 年度評価時点)]★

1	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
2	豊川直轄河川改修事業[残事業費 203 億円(H29 年度評価時点)]★	
3	【(愛知県豊橋市他)(R3 年度工事中)	[R12 年度完成]③(再掲)】
4	矢作川直轄河川改修事業[残事業費 231 億円(R 元年度評価時点)]★	
5	【(愛知県豊田市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
6	庄内川直轄河川改修事業[残事業費 920 億円(H29 年度評価時点)]★	
7	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
8	木曽川直轄河川改修事業[残事業費 310 億円(R2 年度評価時点)]★	
9	【(三重県桑名市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
10	長良川直轄河川改修事業 [残事業費 782 億円(R2 年度評価時点)]★	
11	【(岐阜県岐阜市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
12	揖斐川直轄河川改修事業 [残事業費 605 億円(R2 年度評価時点)]★	
13	【(岐阜県大垣市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
14	鈴鹿川直轄河川改修事業 [残事業費 375 億円(R2 年度評価時点)]★	
15	【(三重県四日市市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
16	雲出川直轄河川改修事業 [残事業費 268 億円(H29 年度評価時点)]★	
17	【(三重県津市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
18	櫛田川直轄河川改修事業[残事業費 93 億円(H28 年度評価時点)]★	
19	【(三重県松阪市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
20	宮川直轄河川改修事業[残事業費 111 億円(H30 年度評価時点)]★	
21	【(三重県伊勢市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
22	狩野川水系流域治水対策プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 462 億円(R2 年度公表時点)]★	
23	【(静岡県沼津市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
24	安倍川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 252 億円(R2 年度公表時点)]★	
25	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
26	大井川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 402 億円(R2 年度公表時点)]★	
27	【(静岡県島田市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
28	菊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 166 億円(R2 年度公表時点)]★	
29	【(静岡県菊川市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
30	天竜川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,889 億円(R2 年度公表時点)]★	
31	【(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
32	豊川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,858 億円(R2 年度公表時点)]★	
33	【(愛知県豊橋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
34	矢作川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,763 億円(R2 年度公表時点)]★	
35	【(愛知県豊田市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
36	庄内川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 4,652 億円(R2 年度公表時点)]★	
37	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
38	木曽川水系木曽川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 3,128 億円(R2 年度公表時点)]★	
39	【(三重県桑名市他)	(R3 年度工事中)④(再掲)】
40	木曽川水系長良川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 2,277 億円(R2 年度公表時点)]★	

- 1 【(岐阜県岐阜市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 2 木曽川水系揖斐川流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 1,553 億円(R2 年度公表時点)]★
- 3 【(岐阜県大垣市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 4 鈴鹿川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 581 億円(R2 年度公表時点)]★
- 5 【(三重県四日市市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 6 雲出川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 326 億円(R2 年度公表時点)]★
- 7 【(三重県津市) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 8 櫛田川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 66 億円(R2 年度公表時点)]★
- 9 【(三重県松阪市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 10 宮川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 278 億円(R2 年度公表時点)]★
- 11 【(三重県伊勢市他) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 12 境川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 438 億円(R2 年度公表時点)]★
- 13 【(愛知県) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 14 猿渡川水系流域治水プロジェクト[R2 年度以降の残事業費 188 億円(R2 年度公表時点)]★
- 15 【(愛知県) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 16 ※残事業費は個別事業との重複がある。
- 17
- 18 ■交通・物流の機能確保のための事前対策の推進
- 19 下田港防波堤整備事業[残事業費 122 億円(R2 年度評価時点)]★
- 20 【(静岡県下田市) (R3 年度工事中)④(再掲)】
- 21
- 22

重点施策	指標
(総合的な治水対策)	
・あらゆる関係者による流域全体で行う「流域治水」の推進	[K P I - 7] ・1 級水系及び 2 級水系において、流域治水プロジェクトを策定している水系数 R 元年度 0 → R7 年度 83 ・流域治水として流域対策に取り組む市町村数 R 元年度 88 市町村 → R7 年度 210 市町村
・利水ダムを含む既存ダムの洪水調節機能の強化	・事前放流の実施体制が整った水系の割合 R 元年度 0% → R3 年度 100%
・河川整備や保水・遊水機能保全など流域が一体となった総合的な治水対策の取組推進	[K P I - 8] ・1 級、2 級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率(1 級) R 元年度 64% → R7 年度 69% ・1 級、2 級河川における戦後最大洪水等に対応した河川の整備率(2 級) R 元年度 56% → R7 年度 59%
(都市浸水に対する内水対策等の災害に強い地域づくり)	
・洪水対策や都市浸水に対する内水対策、土地利用の適正化等災害に強い地域づくりの推進	[K P I - 9] ・下水道による都市浸水対策達成率 R 元年度 約 63% → R7 年度 約 68% ・国が運用するシステムにより、最大クラスの洪水が発生した場合に浸水が想定される範囲等の情報を公開している河川数

	R2 年度 63	→ R7 年度 1800
(激甚化する気象災害への対応力強化)		
・想定し得る最大規模の降雨を前提とした河川の浸水想定図の作成や危機管理行動計画策定、直轄河川管理区間沿川市町村の避難指示の発令等に着目したタイムラインの策定、防災訓練等、激甚化する気象災害への対応力強化	・最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練（机上訓練、情報伝達訓練、マイ・タイムライン作成講習会等）を実施した市区町村数	
	R2 年度 28	→ R7 年度 132
	・最大クラスの洪水等に対応した避難確保・浸水防止措置を講じた地下街等の数	
	R2 年度 90	→ R7 年度 94
・コンパクトなまちづくりと合わせて、防災・減災対策を推進し、居住を誘導する地域の安全確保を図る（防災指針の作成）		
(大規模災害発生後の港湾における災害対応力の強化)		
・みなとや市民の安全・安心を守るために、各港湾で「水際・防災対策連絡会議」を設置し、平時より関係者で情報を共有・連携し、事前準備を進めるとともに、非常時には関係者が連携して即座に対処する取組の推進		
(交通・物流の機能確保のための事前対策の推進)		
・海上交通ネットワークを維持するための港湾における高潮・高波対策の推進		
期待されるストック効果		
・これまで河川改修やダムを整備により、河川流域の水害に対する安全性の向上が図られてきた。特に天竜川の川路地区では、前例の無い前面盛り土方式の治水対策により安全度が向上し、事業完了後に企業等が多数立地する地域振興の拠点に成長した。また、庄内川の枇杷島地区では、東海豪雨後の河川激甚災害対策特別緊急事業等の実施により安全度が向上し、東海豪雨後に減少した人口が被災前の人口にほぼ回復するとともに、有名菓子メーカーなど5社が参入している。気候変動による水害リスクの増大に備えるため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換により、ハード・ソフト一体の事前防災対策を行い、社会全体が災害へ備える力を向上させ、水災害に対し強く持続可能な社会を構築する。 ・管内の重要港湾以上において各港湾水際・防災対策連絡会議を順次設置し、水際・防災対策に関する情報共有、所要の対策に係る連絡調整を円滑に進め関係者間の連携強固を図ることで、ハード・ソフト両面の防災・減災対策により、強靱な国土の形成が期待される。 ・海岸堤防の整備に合わせ、背後の宅地開発が進み世帯数が増加しているとともに、企業・病院の設備投資や公共施設が新設されるなど、浸水リスクの低減により、背後地域の活性化が期待される。 ・境川では、流域における都市化の進展に伴う洪水時の河川への流出量の増大等により治水安全度が低下しており、平成 20 年 8 月をはじめ浸水被害が頻発している。このため、河川改修に加え、排水機場による流域分離、校庭貯留等の貯留対策、新規開発地への流出抑制対策などの統合的な治水対策を進めている。 ・巴川流域では、昭和 49 年7月に発生した七夕豪雨により激甚な被害が発生したことから、昭和 54 年より抜本的な治水対策に着手しており、麻機遊水地第2工区の整備により、政令指定都市として多くの資産や主要交通網が集中する流域における浸水被害の軽減を図り、地域経済の発展や物流機能の確保を図る。 ・二級河川柳生川水系柳生川は、豊橋市街地を貫流する河川で、平成 20 年 8 月末豪雨で、河口より約 5.1k に位置する境橋上流で、越水により、約 10.4ha が浸水し、床上浸水 129 棟を含む 212 棟や大型商業施設、主要幹線が被害にあった。浸水被害を解消するため、JR 東海道新幹線を始め鉄道橋 3 橋、道路橋 5 橋が連なる狭窄区間に、地下河川を整備することにより、床上浸水を0にするとともに、主要幹線道路である国道2 5 9 号や豊橋鉄道といった物流と住民の生活を支える重要な交通網を浸水被害から守る。 ・最大クラスの大雨等が発生した場合を想定した洪水・内水・高潮等に関する浸水想定、ハザードマップの作成・公表、タイムラインの策定や河川情報基盤の充実など、ハード・ソフト両面の防災・減災対策により、強靱な国土の形成が期待される。 ・松川ダムは、洪水調節と水道用水及びかんがい用水の安定化を目的とした多目的ダムで、昭和 58 年台風 10 号を初めとする豪雨により、ダム貯水池内に計画を上回る大量の土砂が流入・堆積し、治水機能に支障をきたしていた。松川ダム再開発事業として、恒久的な堆砂対策となる洪水バイパス施設建設、及び貯水池機能の回復と予備放流を解消するための貯水池掘削を実施することで、地区の安全性が向上		

し、想定氾濫区域内の宅地化により、人口・資産が増大している。また、2027年にリニア中央新幹線の長野県駅が飯田市に開業され、想定氾濫区域内の定住人口・交流人口の増加、企業生産活動の拡大が見込まれている。

- ・名古屋市総合排水計画に基づき、名古屋駅周辺を含む中川運河上流地域の浸水対策を集中的に実施し、雨水調整池等の既存施設を最大限活用するとともに、改築・更新にあわせた下水管や雨水ポンプの能力増強などを行い、水害リスクの低減を図る。
- ・二級河川九領川流域内では、昭和50年10月豪雨による甚大な浸水被害を契機に事業着手している。河川改修事業の実施により、本川水位を低下させ治水安全度を向上させることで、流域内の家屋や工業団地、幹線道路などの浸水被害の軽減を期待する。
- ・二級河川九領川流域内では、昭和50年10月豪雨による甚大な浸水被害を契機に事業着手している。河川改修事業の実施により、本川水位を低下させ治水安全度を向上させることで、流域内の家屋や工業団地、幹線道路などの浸水被害の軽減を期待する。

「インフラ経営」の取組

- ・内ヶ谷ダムは、木曽川水長良川支川亀尾島川の岐阜県郡上市大和町内ヶ谷に多目的ダムとして建設するもので、長良川の治水計画の一環をなすものである。
- ・静岡県浜松市西区を流れる二級河川九領川では、河川改修事業の実施により、背後地周辺の治水安全度が向上し、降雨時の浸水リスク軽減に伴う交通アクセスの改善により、浜松技術工業団地や大規模観光農園の安定的な経営に寄与。

小目標2－3:適切な国土保全強化

(重点施策の概要)

- ・近年頻発する記録的な短時間集中豪雨等による土砂災害リスクが高い地域における土砂災害対策等の防災対策を推進する。
- ・道路の法面・盛土の土砂災害防止対策や落石等の危険地域における道路防災対策や豪雪地帯における雪害対策を推進する。
- ・砂防堰堤の整備や既存ダムの再開発・改良による流出土砂の生産抑制、調節など山地から海岸まで一貫した総合的な土砂管理対策を推進する。
- ・富士山などの火山噴火災害に備え、ソフト・ハード両面からの防災・減災対策を推進する。
- ・高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を推進し、災害に強い道路ネットワークの構築を進めるとともに、道路構造物の流失防止対策や道路高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策、ITを活用した道路管理体制の強化対策の推進を行う。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔10〕土砂災害対策

- ・重要交通網が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率

【R元年度 13% → R7年度 約13%】

- ・土砂災害ハザードマップにおける土砂災害警戒区域の新規公表数

【R元年度 0箇所 → R7年度 9,357箇所】

- ・重要なライフライン施設が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率

【R元年度 約30% → R7年度 約34%】・海岸：予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率

【R元年度 84%→R7年度 87%】〔全国指標〕

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■土砂災害対策

通常砂防事業(森沢根羽村ほか)(長野県)★	(R3年度推進中)④
火山砂防事業(下諏訪町大沢川ほか)(長野県)★	(R3年度推進中)④
地すべり対策事業(山ノ内町落合ほか)(長野県)★	(R3年度推進中)④
急傾斜地崩壊対策事業(上田市腰越ほか)(長野県)★	(R3年度推進中)④
雪崩対策事業(白馬村飯森ほか)(長野県)★	(R3年度推進中)④
火山噴火緊急減災対策事業(王滝村御嶽山)(長野県)★	(R3年度推進中)④

【ハード・ソフト一体となった取組】

■土砂災害対策

1	土砂災害警戒区域等の指定(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④
2	土砂災害対策警戒区域等の指定による土砂災害対策(長野県)	(R3 年度推進中)④
3		
4	【インフラの利活用】	
5	■土砂災害対策	
6	一般国道 362 号 黒俣(後沢山) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
7		(R3 年度測量設計中)④
8	(一)三ツ峰落合線 落合(平瀬道下) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)★	
9		(R3 年度工事中)④
10	(一)三ツ峰落合線 腰越(長島) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④
11	(一)三ツ峰落合線 横沢(コヤマチ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
12		(R3 年度工事中)④
13	(主)南アルプス公園線 大間(シロイサワ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)★	
14		(R3 年度工事中)④
15	(主)南アルプス公園線 横沢(キョウヅカ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
16		(R3 年度工事中)④
17	(主)南アルプス公園線 口坂本(カシジロ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
18		(R3 年度工事中)④
19	緊急輸送道路等の道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	(R3 年度推進中)④
20		
21		
22	■道路防災対策・雪害対策	
23	道路の法面・盛土の土砂災害防止対策の推進★	(R3 年度工事中)④
24	一般国道 362 号 黒俣(後沢山) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
25		(R3 年度測量設計中)④
26	(一)三ツ峰落合線 落合(平瀬道下) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)★	
27		(R3 年度工事中)④
28	(一)三ツ峰落合線 腰越(長島) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④
29	(一)三ツ峰落合線 横沢(コヤマチ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④
30	(主)南アルプス公園線 大間(シロイサワ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)★	
31		(R3 年度工事中)④
32	(主)南アルプス公園線 横沢(キョウヅカ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
33		(R3 年度工事中)④
34	(主)南アルプス公園線 口坂本(カシジロ) 道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	
35		(R3 年度工事中)④
36	緊急輸送道路等の道路自然災害防除事業(静岡県静岡市)	(R3 年度推進中)④
37		
38		
39	■交通・物流の機能確保のための事前対策の推進	
40	渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策の推進★	(R3 年度推進中)④

1	道路の高架区間等を活用した津波や洪水からの浸水避難対策の推進★	(R3 年度推進中)④
2		
3	【選択と集中の徹底】	
4	■土砂災害対策	
5	狩野川水系直轄砂防事業[残事業費 143 億円(R2 年度評価時点)]★	
6	【(静岡県伊豆市他)	(R3 年度工事中)④】
7	安倍川水系直轄砂防事業[残事業費 163 億円(R2 年度評価時点)]★	
8	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
9	天竜川水系直轄砂防事業[残事業費 1,442 億円(H28 年度評価時点)]★	
10	【(長野県駒ヶ根市他)	(R3 年度工事中)④】
11	木曾川水系直轄砂防事業[残事業費 563 億円(H30 年度評価時点)]★	
12	【(長野県南木曽町他、岐阜県中津川市)	(R3 年度工事中)④】
13	庄内川直轄砂防事業[残事業費 237 億円(H29 年度評価時点)]★	
14	【(岐阜県多治見市他)	(R3 年度工事中)④】
15	越美山系直轄砂防事業[残事業費 397 億円(R 元年度評価時点)]★	
16	【(岐阜県揖斐川町他)	(R3 年度工事中)④】
17	由比地区直轄地すべり対策事業[残事業費 180 億円(R 元年度評価時点)]★	
18	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)[R12 年度完成]③】
19	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業[残事業費 195 億円(H30 年度評価時点)]★	
20	【(長野県天龍村他)	(R3 年度工事中)④】
21	此田地区直轄地すべり対策事業[残事業費 9 億円(R2 年度評価時点)]★	
22	【(長野県飯田市)	(R3 年度工事中)[R9 年度完成]③】
23	日野東谷通常砂防事業ほか[残事業費 63 億円(R2 年度評価時点)]★	
24	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
25	檜地区急傾斜地崩壊対策事業ほか[残事業費 42 億円(R2 年度評価時点)]★	
26	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
27	白倉地すべり対策事業[残事業費 1.7 億円(R2 年度評価時点)]	
28	【(岐阜県瑞浪市)	(R3 年度推進中)④】
29	原急傾斜地崩壊対策★	
30	【(静岡県伊豆市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
31	平野地すべり対策★	
32	【(静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】
33	湯谷北沢通常砂防事業★	
34	【(静岡県藤枝市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
35	橋梁流出・道路流出対策★	
36	【(愛知県海部郡蟹江町他)	(R3 年度推進中)④】
37	大坪2の沢通常砂防事業★	
38	【(愛知県額田郡幸田町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
39	白山川第2支川通常砂防事業★	
40	【(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】

1	その他水系谷地東谷 谷地東谷通常砂防事業★	
2	【(三重県北牟婁郡紀北町)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
3	森家野地区 森家野地区急傾斜地崩壊対策事業★	
4	【(三重県松阪市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①】
5	一般国道 152 号(池島～長尾)道路防災 土砂災害対策道路事業★	
6	【(静岡県浜松市)	(R3 年度測量設計中)④】
7		
8		
9	■道路防災対策・雪害対策	
10	一般国道 19 号 蕨原改良★	
11	【(長野県木曽郡木祖村)	(R3 年度工事中)④】
12	一般国道 19 号 桜沢改良	
13	【(長野県塩尻市) (R3 年度工事中)	[R3 年秋頃完成]①】
14	一般国道 41 号 上麻生防災★	
15	【(岐阜県加茂郡七宗町～加茂郡白川町)	(R3 年度工事中)④】
16	一般国道 41 号 屏風岩改良★	
17	【(岐阜県下呂市)	(R3 年度工事中)④】
18	一般国道 41 号 門原防災★	
19	【(岐阜県下呂市)	(R3 年度工事中)④】
20	一般国道 41 号 船津割石防災★	
21	【(岐阜県飛騨市神岡町)	(R3 年度工事中)④】
22	一般国道 153 号 伊勢神改良★	
23	【(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)④】
24	緊急輸送道路等の防災対策★	
25	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
26	一般国道 135 号 浜工区	
27	【(静岡県河津町)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①】
28	法面防災対策★	
29	【(愛知県北設楽郡豊根村他)	(R3 年度推進中)④】
30	一般国道 477 号 菰野工区★	
31	【(三重県三重郡菰野町)	(R3 年度工事中)④】
32	法面防災対策事業★	
33	【(長野県天龍村(神原))	(R3 年度工事中)④】
34	(国)152 号(地頭方～大井)道路防災★	
35	【(静岡県浜松市)	(R3 年度工事中)④】
36		
37	■火山災害に備えた防災・減災対策	
38	富士山直轄砂防事業[残事業費 750 億円(H29 年度評価時点)]★	
39	【(静岡県富士宮市他、山梨県富士河口湖町他)	(R3 年度工事中)④】
40		

■交通・物流の機能確保のための事前対策の推進

三遠南信自動車道 一般国道 474 号 飯喬道路[残事業費 277 億円(R 元年度評価時点)]★

【(飯田上久堅・喬木富田 IC～喬木 IC)(長野県飯田市～下伊那郡喬木村)

(R3 年度工事中)④】

三遠南信自動車道 一般国道 474 号 青崩峠道路[残事業費 276 億円(R 元年度評価時点)]★

【(小嵐 IC(仮称)～水窪北 IC(仮称))(長野県飯田市～静岡県浜松市) (R3 年度工事中)④】

三遠南信自動車道 一般国道 474 号 水窪佐久間道路[残事業費 899 億円(R 元年度評価時点)]★

【(水窪 IC(仮称)～佐久間川合 IC)(静岡県浜松市) (R3 年度測量設計中)④】

三遠南信自動車道 一般国道 474 号 佐久間道路・三遠道路★

【(東栄 IC～鳳来峡 IC)(愛知県設楽郡東栄町～新城市)

(R3 年度工事中)[R7 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②】

中部縦貫自動車道 一般国道 158 号 高山清見道路[残事業費 986 億円(R2 年度評価時点)]★

【(高山 IC～丹生川 IC(仮称))(岐阜県高山市) (R3 年度工事中)④】

東海環状自動車道 一般国道 475 号 東海環状自動車道(土岐～関)

【(土岐 JCT～美濃加茂 IC)(岐阜県土岐市～美濃加茂市)

(R3 年度工事中)[R4 年度から順次完成、R6 年度完成]②】

【(美濃加茂 IC～関広見 IC)(岐阜県美濃加茂市～関市) (R3 年度測量設計中)④】

東海環状自動車道 一般国道 475 号(関～養老)

【(山県 IC～大野神戸 IC)(岐阜県山県市～安八郡神戸町)(R3 年度工事中) [R6 年度完成]②】

東海環状自動車道 一般国道 475 号(養老～北勢)[残事業費 1,267 億円(R 元年度評価時点)]

【(養老 IC～北勢 IC(仮称))(岐阜県養老郡養老町～三重県いなべ市)(R3 年度工事中)

[R8 年度完成※用地取得等が順調な場合]③】

東海環状自動車道 一般国道 475 号(北勢～四日市)

【(北勢 IC(仮称)～大安 IC)(三重県いなべ市)(R3 年度工事中) [R6 年度完成]②】

伊豆縦貫自動車道 一般国道 1 号 東駿河湾環状道路[残事業費 208 億円(H28 年度評価時点)]

【(沼津岡宮 IC～函南 IC(仮称))(静岡県沼津市～田方郡函南町) (R3 年度測量設計中)④】

伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅰ期)[残事業費 225 億円(H28 年度評価時点)]

★

【(下田北 IC(仮称)～下田 IC(仮称))(静岡県下田市) (R3 年度工事中)④】

伊豆縦貫自動車道 一般国道 414 号 河津下田道路(Ⅱ期)[残事業費 188 億円(R2 年度評価時点)]

★

【(河津 IC(仮称)～逆川 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町)

(R3 年度工事中)[R4 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]①】

【(逆川 IC(仮称)～下田北 IC(仮称))(静岡県賀茂郡河津町～下田市) (R3 年度工事中)④】

一般国道 42 号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)★

【(尾鷲北 IC～尾鷲南 IC)(三重県尾鷲市)(R3 年度工事中) [R3 年夏頃完成]①】

一般国道 42 号 熊野道路[残事業費 294 億円(R2 年度評価時点)]★

【(熊野大泊 IC～熊野 IC(仮称))(三重県熊野市) (R3 年度工事中)④】

一般国道 42 号 紀宝熊野道路[残事業費 845 億円(R2 年度評価時点)]★

- 1 【(熊野 IC(仮称)～紀宝 IC(仮称))(三重県熊野市～南牟婁郡紀宝町) (R3 年度測量設計中)④】
- 2 一般国道 19 号 藪原改良★
- 3 【(長野県木曽郡木祖村) (R3 年度工事中)④】
- 4 一般国道 19 号 桜沢改良
- 5 【(長野県塩尻市) (R3 年度工事中) [R3 年秋頃完成]①】
- 6 一般国道 153 号 伊駒アルプスロード[残事業費 620 億円(R 元年度評価時点)]
- 7 【(長野県駒ヶ根市～伊那市) (R3 年度測量設計中)④】
- 8 一般国道 19 号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)[残事業費 215 億円(R 元年度評価時点)]★
- 9 【(岐阜県瑞浪市～恵那市) (R3 年度工事中)④】
- 10 一般国道 19 号 瑞浪恵那道路(恵那工区)[残事業費 168 億円(R 元年度評価時点)]★
- 11 【(岐阜県恵那市～恵那市) (R3 年度工事中)④】
- 12 岐阜南部横断ハイウェイ 一般国道 21 号 岐大バイパス★
- 13 【(岐阜市内立体) (R3 年度測量設計中)④】
- 14 【(岐阜県岐阜市～岐阜県大垣市) (R3 年度測量設計中)④】
- 15 一般国道 21 号 可児御嵩バイパス[残事業費 46 億円(H28 年度評価時点)]★
- 16 【(岐阜県可児郡御嵩町～可児市) (R3 年度測量設計中)④】
- 17 一般国道 21 号 関ヶ原バイパス[残事業費 183 億円(H29 年度評価時点)]
- 18 【(岐阜県不破郡垂井町～不破郡関ヶ原町) (R3 年度測量設計中)④】
- 19 高山下呂連絡道路 一般国道 41 号 石浦バイパス[残事業費 230 億円(R2 年度評価時点)]★
- 20 【(岐阜県高山市) (R3 年度工事中)④】
- 21 一般国道 41 号 美濃加茂バイパス[残事業費 141 億円(H29 年度評価時点)]
- 22 【(岐阜県美濃加茂市～岐阜県加茂郡川辺町(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 23 一般国道 41 号 上麻生防災★
- 24 【(岐阜県加茂郡七宗町～加茂郡白川町) (R3 年度工事中)④】
- 25 一般国道 41 号 屏風岩改良★
- 26 【(岐阜県下呂市) (R3 年度工事中)④】
- 27 一般国道 41 号 門原防災★
- 28 【(岐阜県下呂市) (R3 年度工事中)④】
- 29 一般国道 41 号 船津割石防災★
- 30 【(岐阜県飛騨市神岡町) (R3 年度工事中)④】
- 31 一般国道 156 号 岐阜東バイパス★
- 32 【(岐阜県岐阜市～関市) (R3 年度工事中)④】
- 33 一般国道 156 号 郡上大橋架替
- 34 【(岐阜県郡上市) (R3 年度測量設計中)④】
- 35 一般国道 258 号 大桑道路
- 36 【(岐阜県養老郡養老町～岐阜県海津市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 37 静岡東西道路 一般国道 1 号 静岡バイパス[残事業費 559 億円(R2 年度評価時点)]★
- 38 【(静岡県静岡市清水立体) (R3 年度工事中)④】
- 39 一般国道 1 号 富士由比バイパス
- 40 【(静岡県富士市富士立体) (R3 年度測量設計中)④】

- 1 一般国道1号 藤枝バイパス[残事業費 334 億円(R2 年度評価時点)]★
- 2 【(広幡 IC～野田 IC)(静岡県藤枝市～島田市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 3 一般国道1号 島田金谷バイパス[残事業費 162 億円(R2 年度評価時点)]★
- 4 【(旗指 IC～大代 IC)(静岡県島田市(4 車線化)) (R3 年度工事中) [R6 年度完成]②】
- 5 【(静岡県島田市～旗指 IC、大代 IC～掛川市)(静岡県島田市(4 車線化)、静岡県島田市～掛川
- 6 市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 7 一般国道139号 富士改良[残事業費 69 億円(R2 年度評価時点)]★
- 8 【(静岡県富士市) (R3 年度工事中)④】
- 9 一般国道246号 裾野バイパス[残事業費 123 億円(H29 年度評価時点)]
- 10 【(静岡県駿東郡小山町(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 11 一般国道1号 愛知1号震災橋架替(熱田伝馬橋架替)
- 12 【(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)④】
- 13 豊橋浜松道路 一般国道23号 豊橋東バイパス[残事業費 42 億円(R2 年度評価時点)]
- 14 【(豊橋東 IC～野依 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 15 豊橋浜松道路・名豊道路 一般国道23号 豊橋バイパス[残事業費 278 億円(R2 年度評価時点)]★
- 16 【(野依 IC～大崎 IC)(愛知県豊橋市(4 車線化)) (R3 年度工事中)④】
- 17 【(前芝 IC～豊川為当 IC)(愛知県豊川市(4 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 18 名豊道路 一般国道23号 蒲郡バイパス★
- 19 【(豊川為当 IC～蒲郡 IC)(愛知県豊川市～蒲郡市)(R3 年度工事中)
- 20 [R6 年度完成※大規模切土工事が順調に進んだ場合]②】
- 21 名豊道路 一般国道23号 岡崎バイパス[残事業費 203 億円(R2 年度評価時点)]
- 22 【(幸田芦谷 IC～西尾東 IC)(愛知県額田郡幸田町～西尾市町(4 車線化))
- 23 (R3 年度測量設計中)④】
- 24 一般国道41号 名濃バイパス★
- 25 【(愛知県丹羽郡大口町～犬山市(6 車線化)) (R3 年度工事中) [R5 年度までに順次完成]①】
- 26 一般国道153号 豊田西バイパス★
- 27 【(愛知県名古屋市～豊田市(6 車線化)) (R3 年度測量設計中)④】
- 28 一般国道153号 豊田北バイパス[残事業費 175 億円(R 元年度評価時点)]★
- 29 【(愛知県豊田市) (R3 年度工事中)④】
- 30 一般国道153号 伊勢神改良★
- 31 【(愛知県豊田市) (R3 年度工事中)④】
- 32 一般国道155号 豊田南バイパス[残事業費 171 億円(R 元年度評価時点)]★
- 33 【(愛知県豊田市) (R3 年度工事中)④】
- 34 西知多道路 一般国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)[残事業費 445 億円(R2 年度評価時
- 35 点)]★
- 36 【(愛知県東海市) (R3 年度工事中)④】
- 37 西知多道路 一般国道247号 西知多道路[残事業費 300 億円(R2 年度評価時点)]
- 38 【(長浦 IC(仮称)～日長 IC(仮称))(愛知県知多市) (R3 年度測量設計中)④】
- 39 一般国道302号 名古屋環状2号線[残事業費 369 億円(R 元年度評価時点)]
- 40 【(愛知県海部郡飛島村木場一丁目～名古屋市中川区島井町(4 車線化)) (R3 年度工事中)

- 1 [今後概ね5か年程度での完成を目指す]③]
- 2 【(愛知県春日井市～名古屋市(4車線化)) (R3 年度工事中)④]
- 3 【(愛知県あま市～清須市(4車線化)) (R3 年度測量設計中)④]
- 4 一般国道1号 桑名東部拡幅[残事業費 305 億円(H29 年度評価時点)]★
- 5 【(三重県桑名市) (R3 年度工事中)④]
- 6 一般国道1号 北勢バイパス[残事業費 462 億円(R 元年度評価時点)]★
- 7 【((市)日長八郷線～国道477号バイパス) (R3 年度工事中)
- 8 [R6 年度完成※トンネル工事が順調に進んだ場合]②]
- 9 【(国道477号バイパス～四日市市) (R3 年度工事中)④]
- 10 一般国道1号 関バイパス[残事業費 82 億円(H28 年度評価時点)]
- 11 【(三重県亀山市～亀山市) (R3 年度測量設計中)④]
- 12 一般国道23号 鈴鹿四日市道路[残事業費 840 億円(R 元年度評価時点)]
- 13 【(三重県四日市市～鈴鹿市) (R3 年度測量設計中)④]
- 14 一般国道23号 中勢道路[残事業費 173 億円(R 元年度評価時点)]★
- 15 【(三重県鈴鹿市北玉垣町～鈴鹿市野町) (R3 年度工事中) [R5 年度暫定完成]①]
- 16 【(津市部分立体) (R3 年度測量設計中)④]
- 17 一般国道42号 松阪多気バイパス[残事業費 103 億円(R2 年度評価時点)]★
- 18 【(三重県松阪市～多気郡多気町) (R3 年度工事中)④]
- 19 一般国道138号 御殿場バイパス(西区間)[残事業費 129 億円(R 元年度評価時点)]★
- 20 【(静岡県御殿場市) (R3 年度測量設計中)④]
- 21 一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業[残事業費 75 億円(R2 年度評価時点)]
- 22 【(三重県四日市市) (R3 年度測量設計中)④]
- 23 一般国道1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)[残事業費 221 億円(R 元年度評価時点)]
- 24 【(沼津岡宮 IC～愛鷹 IC(仮称)) (静岡県沼津市) (R3 年度測量設計中)④]
- 25 無電柱化推進事業★
- 26 【(長野県伊那市(高遠)) (R3 年度工事中)④]
- 27 愛知県港湾臨港道路整備事業[残事業費 28 億円(R2 年度評価時点)]
- 28 【(愛知県)(R3 年度測量設計中) [R12 年度完成]③(再掲)]
- 29
- 30

重点施策	指標
(土砂災害対策)	
・土砂災害対策等の防災対策の推進	[KPI-10] ・重要交通網が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率 R 元年度 13% → R7 年度 約 13% ・土砂災害ハザードマップにおける土砂災害警戒区域の新規公表数 R 元年度 0 箇所 → R7 年度 9,357 箇所 ・重要なライフライン施設が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率 R 元年度 約 30% → R7 年度 約 34% ・市役所、町役場および支所が保全対象に含まれている要対策箇所における対策実施率

	R元年度 約30% → R7年度 約36%
(道路防災対策)	
・落石等の危険地域における道路災害対策	
(雪害対策)	
豪雪地域における雪害対策の推進	
(火山災害に備えた防災・減災対策)	
・火山噴火の恐れがある火山における防災・減災対策の推進	・火山噴火時における降灰厚把握手法の整備に着手した火山の割合 R元年度 0% → R7年度 約100%
(交通・物流の機能確保のための事前対策の推進)	
・高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等の推進	
期待されるストック効果	
・これまで砂防堰堤等の整備により土砂災害等に対する安全性が向上し、河道掘削、養浜などの総合的な土砂管理対策により侵食が進行していた海浜が回復されてきた。今後も急傾斜地崩壊対策や砂防事業等の推進により人命及び国民の財産、公共施設を守りつつ、河道掘削、養浜などの山から海までの一貫した総合的な土砂管理対策の推進により健全な流砂系を構築し、国土が適切に保全されることが期待される。 ・飛騨市市岡町船津地区では、落石・崩落の危険性がある箇所が10箇所あり、山腹斜面の高標高部には風化している岩塊が多数存在し、平成25年には落石事故が発生した。船津割石防災の整備により、こうした防災危険箇所の回避や、雨量通行規制区間の短縮が可能となり、安全で安心な道路整備が期待される。 ・事業区間の国道41号では、降雨による通行規制や落石・土砂崩れによる通行止めが平成10年から平成30年の間で10回、累計130時間発生している。上麻生防災事業の整備により、土砂流出等の災害時の交通寸断による孤立地域の発生リスクや高次医療施設への広域迂回の発生リスクの解消が期待される。 ・砂防堰堤の整備によって、近年激甚化している土砂災害に対し、重要交通網の保全や地域住民の人的被害防止など、大きな防災・減災効果が期待される。 ・大坪2の沢は、愛知県額田郡幸田町に位置し、保全対象として地域防災計画に記載のある避難所（逆川農村センター）および人家2戸を抱える土石流危険渓流である。砂防堰堤を整備することで、土石流による土砂災害から人命及び公共施設を保全する。 ・これまで砂防堰堤等の整備により土砂災害等に対する安全性が向上してきた。今後も砂防事業の推進により人命及び国民の財産、公共施設を保全することが期待される。 ・人工リーフの整備が進むことにより、海浜侵食の抑制や高潮被害の防止を図り、「七里御浜」として知られる国内最大級の砂礫海岸の景観向上と、地域住民や紀伊半島の太平洋岸を結ぶ国道42号等の水害リスク低減に寄与している。 ・一般国道477号 菰野工区は、地形が急峻で、表層には不安定な浮石が点在しており、台風等の大雨・暴風による斜面崩壊、落石などの恐れがあることから、土砂災害等の発生を防ぐため、法面対策を実施することで、適切な国土保全強化が図られ、住民生活や社会経済活動への影響を軽減することが期待できる。 ・（国）152号は浜松市天竜区における生命線となる道路であり、市民生活だけでなく多くの企業にとっても重要な路線である。近年は気象の急激な変化による自然災害の頻発化・激甚化により、斜面崩壊による道路の寸断が発生している。このため、道路防災対策を推進し、道路空間の強靱化を図り、道路利用者の安全と安心を確保すると共に、災害に強い交通ネットワークを構築する。	
「インフラ経営」の取組	
・土石流、急傾斜地の崩壊、地すべりのおそれがある土地に関する地形等の状況調査を行い、警戒避難体制の整備が図れるよう、土砂災害警戒区域等を指定する。	

重点目標3:持続可能なインフラメンテナンス

目指すべき姿

・予防保全に基づくインフラメンテナンスへの本格転換による維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や、新技術等の導入促進によるインフラメンテナンスの高度化・効率化等を進め、インフラが持つ機能が将来にわたって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスを実現する

現状と課題

- ・インフラにおける将来の維持管理・更新費用を推計した結果、インフラに不具合が生じる前に対策を行う「予防保全」の場合、不具合が生じてから対策を行う「事後保全」と比較して、1年あたりの費用が30年後には約5割減少、との見込みとなった。将来にかかる維持管理・更新費用を抑制する観点から、「予防保全」によるメンテナンスサイクルへの移行が重要である。
- ・しかし、例えば道路橋については、全橋梁のうち約1割にあたる約7万橋が早急に修繕等の対応が必要な状況にあるなど、予防保全の管理水準を下回る状態の施設が多数存在する。これらの施設に対して計画的・集中的な修繕等の実施により、「予防保全」への本格転換を早期に図ることが必要である。
- ・また、多くのインフラを管理する市町村ではメンテナンスに携わる人的資源が不足しており、多様な主体との連携や新技術等の導入促進など、メンテナンスの生産性向上に向けた取組の推進が必要である。
- ・さらに、社会情勢や地域構造の変化に応じて、必要性の減少や地域のニーズ等に応じたインフラの廃止・除却、集約・再編の取組により、インフラストックの適正化を図っていくことも重要である。
- ・今後、建設後50年以上経過する施設の割合が加速度的に高くなり、社会資本の老朽化にともなうメンテナンス対策費用の増加が懸念されている。

小目標3-1:戦略的なメンテナンスサイクル構築

(重点施策の概要)

- ・長寿命化計画(個別施設計画)及びストックマネジメント計画を策定し、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の構築を踏まえ、加速化するインフラの老朽化に対応するとともに、メンテナンスに係る費用が国や地方の財政を圧迫することのないよう、「事後保全」から「予防保全」への本格転換により、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や負担の平準化を図るとともに、早期の安全・安心の確保を図る。
- ・社会資本の既存ストックの適切な利用と高度利用化を推進するとともに、持続可能なインフラメンテナンスを構築するため、人口減少等による地域社会の変化や将来のまちづくり計画等を踏まえ、必要性の減少や地域のニーズ等に応じたインフラの廃止・除却や機能転換等を行う「集約・再編」へと本格転換する。
- ・公共施設の維持管理・更新にかかる民間活力の活用などによる事業の効率化を図りつつ、長寿命化計画に基づいた対策を実施する。

- ・社会資本に関する情報基盤の整備による社会資本の基本情報、健全性の情報一元化や電子化を推進し共有化することで、高度かつ効率的な維持管理が可能な体制を構築する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔1.1〕メンテナンスサイクルの構築

- ・河川：予防保全の考え方に基づく内水排除施設等の長寿命化対策実施率
【R元年度 0% → R7年度 100%】
- ・ダム：健全度評価において速やかに措置と判定されたダム管理施設の解消率
【R元年度 73% → R7年度 91%】
- ・砂防：健全度評価において要対策と判定された砂防関係施設の解消率
【R元年度 92.9% → R7年度 93.7%】
- ・海岸：予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率
【R元年度 84%→R7年度 87%】〔全国指標〕
- ・下水道：計画的な点検調査に基づく下水道管路の老朽化対策を完了した延長の割合
【R元年度 0% → R7年度 100%】
- ・港湾：老朽化した港湾施設のうち、予防保全型の対策を導入し、機能の保全及び安全な利用等が可能となった割合
【R2年度 77% → R7年度 83%】
- ・空港：予防保全を適切に実施した割合
【R元年度 100% → R7年度 100%】
- ・公園：予防保全の考え方に基づく都市公園長寿命化対策実施率
【R元年度 53% → R7年度 100%】
- ・官庁施設：R2年度時点で措置が必要な官庁施設の長寿命化対策実施率
【R2年度 50% → R7年度 100%】

〔1.2〕維持管理の効率化

- ・道路：施設の集約・撤去、機能縮小の検討自治体の割合
【R元年度 19% → R7年度 100%】
- ・海岸：南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率
【R元年度 81%→R7年度 88%】
- ・港湾：既存施設の統廃合、機能の集約化及び転換を検討した港湾の割合
【R元年度 89% → R7年度 100%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【ハード・ソフト一体となった取組】

■メンテナンスサイクルの構築

砂防関係施設長寿命化計画変更(愛知県)★ (R3年度推進中)[R5年度完成]①

1	砂防関係施設長寿命化計画変更(三重県全域)★	(R3 年度調査・検討中)[R4 年度完成]①
2		
3	■維持管理の効率化・長寿命化計画に基づく対策の実施	
4	電子基準点現地調査の実施	(R3 年度推進中)④
5		
6	【インフラの利活用】	
7	■メンテナンスサイクルの構築	
8	狩野川水系維持管理(静岡県沼津市 他)★	(R3 年度工事中)④
9	安倍川水系維持管理(静岡県静岡市 他)★	(R3 年度工事中)④
10	大井川水系維持管理(静岡県島田市 他)★	(R3 年度工事中)④
11	菊川水系維持管理(静岡県菊川市 他)★	(R3 年度工事中)④
12	天竜川水系維持管理(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)★	(R3 年度工事中)④
13	豊川水系維持管理(愛知県豊橋市 他)★	(R3 年度工事中)④
14	矢作川水系維持管理(愛知県豊田市 他)★	(R3 年度工事中)④
15	庄内川水系維持管理(愛知県名古屋市 他)★	(R3 年度工事中)④
16	木曽川水系維持管理(岐阜県岐阜市 他)★	(R3 年度工事中)④
17	鈴鹿川水系維持管理(三重県四日市市 他)★	(R3 年度工事中)④
18	雲出川水系維持管理(三重県津市 他)★	(R3 年度工事中)④
19	櫛田川水系維持管理(三重県松阪市 他)★	(R3 年度工事中)④
20	宮川水系維持管理(三重県伊勢市 他)★	(R3 年度工事中)④
21	道路施設の老朽化対策の推進★	(R3 年度工事中)④
22	道路施設(橋梁、トンネル、横断歩道橋、シェッド、舗装など)の計画的な点検・診断(岐阜県内)	
23		(R3 年度推進中)④
24	砂防施設長寿命化計画の改訂(岐阜県)	(R3 年度調査・検討中)[R5 年度完成]①
25	橋梁長寿命化修繕計画事業(愛知県内)★	(R3 年度工事中)④
26	トンネル長寿命化修繕計画事業(愛知県内)★	(R3 年度工事中)④
27	道路附属物等長寿命化修繕計画事業(愛知県内)★	(R3 年度工事中)④
28	道路施設の老朽化対策及び地震対策事業(愛知県内)★	(R3 年度工事中)④
29	道路構造物長寿命化対策(愛知県高浜市他)★	(R3 年度推進中)④
30	蟹江川大規模更新河川事業(愛知県海部郡蟹江町)[残事業費 11 億円(R2 年度評価時点)]	
31		(R3 年度工事中)③
32	愛知県流域下水道事業(愛知県豊橋市他)★	(R3 年度推進中)④
33	二級河川堀切川 堀切川大規模更新河川事業(三重県鈴鹿市)★	
34		(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①
35	二級河川釜屋川 釜屋川大規模更新河川事業(三重県鈴鹿市)(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①	
36	二級河川百々川 百々川大規模更新河川事業(三重県松阪市)(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②	
37	舗装の長寿命化計画等に基づく修繕(愛知県名古屋市)★	(R3 年度推進中)④
38	横断歩道橋等の定期点検・修繕(愛知県名古屋市)★	(R3 年度推進中)④
39	都市公園安全・安心対策事業 (愛知県名古屋市)★	(R3 年度工事中)④
40	道路舗装整備事業(静岡市道路構造物維持管理計画(舗装編))(静岡県静岡市)★	

1		(R3 年度推進中)④
2	橋梁健全化事業(静岡市道路構造物維持管理計画(道路橋編))(静岡県静岡市)★	
3		(R3 年度推進中)④
4	一般国道 150 号 新日本坂トンネル(トンネル設備更新事業)(静岡県静岡市)	
5		(R3 年度工事中)④
6		
7	■維持管理の効率化・長寿命化計画に基づく対策の実施	
8	名古屋港海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業(愛知県名古屋市)★	(R3 年度工事中)④
9		
10	【既存施設の集約・再編】	
11	■メンテナンスサイクルの構築	
12	二級河川戸田川 戸田川特定構造物改築事業(愛知県名古屋市)	
13		(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②
14		
15	■維持管理の効率化・長寿命化計画に基づく対策の実施	
16	愛知県営東浦住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県知多郡東浦町)	
17		(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
18	愛知県営鳴海住宅 PFI 方式整備事業(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①
19	愛知県営上和田住宅 PFI 方式整備事業(愛知県岡崎市)	(R3 年度工事中)[R3 年度完成]①
20	愛知県営西春住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県北名古屋市)	
21		(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
22	愛知県営初吹住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
23	愛知県営上郷住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県豊田市)	(R3 年度工事中)[R4 年度完成]①
24	愛知県営鷺塚住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県碧南市)	
25		(R3 年度測量設計中)[R5 年度完成]①
26	愛知県営野並住宅 PFI 方式整備等事業(愛知県名古屋市)	
27		(R3 年度測量設計中)[R5 年度完成]①
28	愛知県営平針住宅 PFI 方式整備事業(愛知県名古屋市)★	
29		(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②
30	愛知県営鳴海住宅 PFI 方式整備事業(第2次)(愛知県名古屋市)★	
31		(R3 年度測量設計中)[R7 年度完成]②
32	大浜公園再整備事業 (静岡県静岡市)	(R3 年度調査・検討中)[R7 年度完成]②
33		
34	【選択と集中の徹底】	
35	■メンテナンスサイクルの構築	
36	清水港予防保全事業★	
37	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)③】
38	名古屋港予防保全事業★	
39	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)③】
40	四日市港予防保全事業★	

1	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)②】
2	田子の浦港予防保全事業★	
3	【(静岡県富士市)	(R3 年度工事中)①】
4	御前崎港予防保全事業★	
5	【(静岡県御前崎市)	(R3 年度工事中)①】
6	三河港予防保全事業★	
7	【(愛知県豊橋市)	(R3 年度工事中)③】
8	衣浦港予防保全事業★	
9	【(愛知県半田市 他)	(R3 年度工事中)③】
10	道路施設(橋梁、トンネル、横断歩道橋、シェッド、舗装など)の計画的な修繕	
11	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
12	防災・安全交付金事業 牧田川特定構造物改築事業(旧水門川排水機場)[残事業費 29 億円(R2 年度	
13	評価時点)]★	
14	【(岐阜県大垣市)	(R3 年度推進中)[R55 年度完成(予定)]④】
15	一般国道 150 号 掛塚橋★	
16	【(静岡県磐田市)	(R3 年度工事中)④】
17	清水港日の出地区道路改良事業	
18	【(静岡県静岡市清水区)	(R3 年度工事中)①(再掲)】
19	静岡県港湾老朽化対策事業★	
20	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②】
21	愛知県港湾老朽化対策事業★	
22	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)④】
23	愛知県港湾老朽化対策事業	
24	【(愛知県内)	(R3 年度工事中)④】
25	名古屋港予防保全事業(補助)★	
26	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
27	名古屋港港湾の経済活性化促進事業★	
28	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②(再掲)】
29	名古屋港老朽化対策事業★	
30	【(愛知県名古屋市他)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②(再掲)】
31	(主)伊勢磯部線(五十鈴トンネル)★	
32	【(三重県伊勢市)	(R3 年度工事中)④】
33	津松阪港予防保全事業(補助)★	
34	【(三重県松阪市)	(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①】
35	四日市港予防保全事業★	
36	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
37	四日市港老朽化対策事業★	
38	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②】
39	四日市港海岸堤防等老朽化対策緊急事業	
40	【(三重県四日市市)	(R3 年度工事中)②】

1 下水道施設長寿命化対策事業★

2 【(三重県四日市市他)

(R3 年度推進中)[R6 年度完成]②】

3 橋梁補修事業★

4 【(長野県駒ヶ根市(駒ヶ根橋))

(R3 年度工事中)④】

5 一般国道247号線(新内田橋)

6 【(愛知県名古屋市)

(R3 年度測量設計中)④】

7 (主)浜北袋井線(浜北大橋) 道路メンテナンス事業

8 【(静岡県浜松市)

(R3 年度工事中)④】

9 一般国道 362 号(本坂トンネル) 道路メンテナンス事業

10 【(静岡県浜松市)

(R3 年度工事中)④】

11 (主)浜松環状線(舗装修繕)★

12 【(静岡県浜松市)

(R3 年度工事中)④】

14 ■既存ストックの適切な利用と維持・管理、更新

15 千曲川上流処理場(ストックマネジメント)(焼却炉1号再構築)(長野県)★

16 【(長野県長野市)

(R3 年度工事中)[R7 年度完成]②】

18 ■維持管理の効率化・長寿命化計画に基づく対策の実施

19 防災・安全交付金事業 木曽川右岸流域下水道(ストックマネジメント)[残事業費 62 億円(R2 年度評価
20 時点)]★

21 【(岐阜県各務原市他)

(R3 年度工事中)④】

重点施策	指標
(メンテナンスサイクルの構築)	
・長寿命化計画(個別施設計画)及びストックマネジメント計画の策定	[K P I - 1 1] ・河川：予防保全の考え方に基づく内水排除施設等の長寿命化対策実施率 R 元年度 0% → R7 年度 100% ・ダム：健全度評価において速やかに措置と判定されたダム管理施設の解消率 R 元年度 73% → R7 年度 91% ・砂防：健全度評価において要対策と判定された砂防関係施設の解消率 R 元年度 92.9% → R7 年度 93.7% [全国指標] ・海岸：予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率 R 元年度 84% → R7 年度 87% ・下水道：計画的な点検調査に基づく下水道管路の老朽化対策を完了した延長の割合 R 元年度 0% → R7 年度 100% ・港湾：老朽化した港湾施設のうち、予防保全型の対策を導入し、機能の保全及び安全な利用等が可能となった割合 R2 年度 77% → R7 年度 83% ・空港：予防保全を適切に実施した割合

	R 元年度 100% → R7 年度 100% ・公園: 予防保全の考え方に基づく都市公園長寿命化対策実施率 R 元年度 53% → R7 年度 100% ・官庁施設: R2 年度時点で措置が必要な官庁施設の長寿命化対策実施率 R2 年度 50% → R7 年度 100%
・メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の構築	・道路: 地方公共団体等で維持管理に関する研修を受けた人数 R 元年度 1,264 人 → R7 年度 1,960 人
・予防保全の管理水準を下回る状態のインフラに対して、計画的・集中的な修繕等の実施	
・インフラの機能を回復させ、「事後保全」から「予防保全」の考え方に基づくインフラメンテナンスへ転換し、中長期的な維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減	・適切なメンテナンスを推進するため、下水道使用料等の収入面、維持修繕費等の支出面の更なる適正化に取り組む団体数 R2 年度 20 団体 → R7 年度 139 団体
・定期的な現地調査や観測機器の監視業務を通じて、損傷が軽微な段階で修繕を実施する予防保全型維持管理を実施する。	・観測施設(測量標): 年次計画に基づく観測施設(測量標) 修繕の実施率 R 元年度 100% → R7 年度 100%
(既存ストックの適切な利用と維持・管理、更新)	
・社会資本の既存ストックの適切な利用と高度利用化の推進	
(維持管理の効率化)	
・公共施設の維持管理・更新にかかる民間活力の活用による事業の効率化	
・社会情勢や地域構造の変化や将来のまちづくり計画を踏まえ、既存インフラの廃止・除却・集約化や、利用者ニーズに沿ったインフラ再編等の取組の推進により、持続可能な都市・地域の形成、ストック効果の更なる向上	〔K P I - 1 2〕 ・道路: 施設の集約・撤去、機能縮小の検討自治体の割合 R 元年度 19% → R7 年度 100% ・海岸: 南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸閘等の安全な閉鎖体制の確保率 R 元年度 81% → R7 年度 88% ・港湾: 既存施設の統廃合、機能の集約化及び転換を検討した港湾の割合 R 元年度 89% → R7 年度 100%
・データ利活用によるインフラメンテナンスの高度化・効率化を図るため、点検結果などのインフラに関する情報の蓄積、データベース化などの環境整備を促進する。	・測量標: 基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合 R 元年度 100% → R7 年度 100%
(長寿命化計画に基づく対策の実施)	
・長寿命化計画に基づいた対策の実施	
期待されるストック効果	
・河川管理施設の老朽化対策として、老朽化した河川管理施設の修繕・更新を実施する。また、河川管理施設の無動力化・遠隔操作化を実施することにより、河川管理の高度化・効率化が図られることが期待される。 ・社会資本の長寿命化を図るための個別施策ごとの長寿命化計画の策定が進められてきた。今後は、計画に基づき「予防保全型」のメンテナンスサイクルを実施し、トータルコストが縮小・平準化されることで着実な長寿命化が図られ、将来にわたり港湾施設としての機能を発揮することが期待される。 ・平成 26 年度に策定した岐阜県道路施設維持管理指針に基づき、道路施設の計画的かつ効率的な維持管理を行っている。その結果、県民が安全・安心に利用できる道路環境の確保に貢献している。 ・「一般国道 150 号」は、静岡県静岡市を起点に静岡県浜松市に至る幹線道路であり、静岡県の地域防災計画において、第 1 次緊急輸送路として指定されている重要な路線である。掛塚橋は、経年劣化等による損傷に加え、大規模地震発生時に十分な耐震性能が確保されておらず重大な損傷の恐れがあることから、修繕に併せ耐震補強を実施し、重要路線としての機能向上を図る。 ・ガーデンふ頭は、国内外のクルーズ船の接岸拠点であり、その 3 号岸壁に改良事業を実施することにより、クルーズ船の受け入れ機能を強化すると共に、維持管理に係るトータルコストの縮減を図る。	

- ・長寿命化計画に基づきメンテナンスサイクルを実施し、トータルコストが縮小・平準化されることで着実な長寿命化が図られることが期待される。
- ・主要地方道伊勢磯部は、伊勢市と志摩市を結ぶ重要な道路で、五十鈴トンネルは建設後56年が経過し、老朽化しているため、長寿命化計画に基づいた対策を実施することで、施設の長寿命化が図られることが期待できる。
- ・下水道施設全体の持続的な機能確保及びライフサイクルコストの低減を図るため、5箇年にわたる「下水道ストックマネジメント計画」を策定しており、（公財）三重県下水道公社を交えたストックマネジメント計画検討会にて機器の調査区分や調査項目等、点検手法の見直しを行い、各施設の目標耐用年数を満足する施設の運転について十分な効果発現を期待している。
- ・長野県千曲川流域下水道の1号焼却炉改築事業は、長野市東部浄化センターの脱水汚泥を受け入れし焼却している焼却炉でもあり、機能停止した場合、約160,000人に影響を及ぼすため、改築更新を早急に行い、機能停止を未然に防止することは、地域住民に対する生活の安全安心に大きく貢献している。
- ・（主）浜北袋井線は第1次緊急輸送路に指定されており、更には隣接する磐田市へのアクセスルートの一つでもあり、利用者も多く、重要な橋梁である。橋梁修繕を実施することで、施設の長寿命化により道路の信頼性が確保され、道路利用者の安全・安心の向上につながる。
- ・（国）362号は第2次緊急輸送路に指定されており、更には隣接する愛知県へのアクセスルートの一つでもあり、利用者も多く、重要なトンネルである。トンネル修繕を実施することで、施設の長寿命化により道路の信頼性が確保され、道路利用者の安全・安心の向上につながる。
- ・（主）浜松環状線は第1次緊急輸送路に指定されており、また東名高速道路ICに直結する路線であり、利用者も多く、重要な道路である。舗装修繕を実施することで、施設の長寿命化により道路の信頼性が確保され、道路利用者の安全・安心の向上につながる。

「インフラ経営」の取組

- ・長寿命化計画に基づく「予防保全型」インフラメンテナンスの実施や老朽化・陳腐化した岸壁の利用転換により、港湾施設の全体最適を図る。
- ・長寿命化計画に基づいた整備・更新等の延命化措置による予防保全型の維持管理により機能を維持する。
- ・長野県千曲川流域下水道の1号焼却炉は、平成14年に供用開始し、18年が経過し、施設の劣化が進み、老朽化による支障が顕在化しており、修繕費を含む維持管理費が年々増加している。戦略的なメンテナンスサイクル構築により、「予防保全」への本格転換を早期に行い、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や負担の平準化を図り、安全安心な生活の確保を進める。

重点目標4:持続可能で暮らしやすい地域社会の実現

目指すべき姿

・地域の核への集約を図りながら地域内・地域外をネットワークでつなぐ多核連携型の国土づくりを進め、テレワークや二地域居住など新たな暮らし方、働き方、住まい方を支えるための基盤を構築するとともに、高齢者、障害者、子ども、子育て世代など、全ての人が安全・安心で不自由なく生活できるユニバーサルデザインのまちづくり、地域の自然や歴史文化に根ざした魅力・個性を活かしたまちづくりを進め、持続可能で暮らしやすい地域社会・地方創生を実現する。

現状と課題

・地域における人口の減少により、住民の買い物や医療・福祉へのアクセスが中長期的に維持困難となるおそれがあることから、コンパクトなまちづくり及びそれらを結ぶネットワークの形成を推進することが必要である。

・高齢者の増加が進む都市部においては、医療・福祉サービスのニーズの拡大への対応や、多様な世代が生き生きと暮らせる地域づくりが必要である。

・地域の暮らしを守るとともにその活力を向上させるため、地域の輸送・移動手段の確保や、地域間の多様な交流を支える交通ネットワークの整備が必要である。

・依然として交通事故により多数の死傷者が発生していることから、移動・生活空間におけるさらなる安全の確保が必要である。

・高齢者、障害者、子ども、子育て世代等の多様な人々が安全に安心して暮らせるよう、生活・移動空間におけるバリアフリーやユニバーサルデザインを推進することが必要である。

・令和2(2020)年には、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 が改訂され、地方創生の動きを更に加速させていくこととされているところであり、地方創生に資する社会資本整備に中長期的な視点から取り組む必要がある。

・中山間地域や農山漁村等人口減少・高齢化の進展に伴い、住民の生活サービス・コミュニティ機能の維持が困難になる恐れがある。

・一方、都市においても、今後は市街地の人口密度が低下し、医療、福祉、商業等の都市機能の維持が困難になる恐れがある。

小目標4-1:地方創生地域支援

(重点施策の概要)

・住民の生活に必要な生活サービス機能を一定のエリアに集約し、周辺集落と交通・物流ネットワーク等でつなぐ小さな拠点を形成する取組を推進する。

・都市機能を都市の中心部や生活拠点に集約してその周辺部に居住を誘導するとともに、これらのエリアや都市間を相互に結ぶ交通・物流ネットワークを形成し、コンパクト・プラス・ネットワークを推進する。

- ・地方創生の核となる道の駅、みなとオアシス、かわまちづくりの推進、ミズベリングプロジェクトによる地域支援及び太平洋岸自動車道の活用など官民連携による地域の独自性を活かした特色のある観光・交流拠点形成やまちづくりなどを推進する。
- ・活力ある都市の連なりと対流による都市圏の強みを一層高めるため、都市機能集積を図る土地区画整理事業や市街地再開発事業等を推進する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔13〕 小さな拠点の形成

- ・都市計画道路（幹線道路）の整備率

【H29年度 63.3 → R7年度 65.9】

目標の達成に寄与する主要取組

（完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定）

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

■小さな拠点の形成

一般国道414号 静浦バイパス(静岡県沼津市)★

(R3年度工事中)

下香貫地区

[R5年度完成]①、その他地区④

■観光・交流拠点形成

地域の拠点形成の柱となる道の駅、みなとオアシス、かわまちづくりの推進及びミズベリングプロジェクトによる地域支援

(R3年度推進中)④

産地と港湾が連携した農林水産物・食品のさらなる輸出促進(農水産物輸出促進基盤整備事業)(清水港)

(R3年度推進中)④

松本平広域公園 陸上競技場整備事業(長野県松本市)

(R3年度実施設計中)②

【インフラの利活用】

■小さな拠点の形成

(都)環状北線(長野県伊那市)

(R3年度測量設計中)④

(都)出川双葉線(長野県松本市)

(R3年度測量設計中)④

(都)若宮線(長野県千曲市)

(R3年度測量設計中)④

(都)岩野二ツ柳線(長野県長野市)★

(R3年度測量設計中)④

■観光・交流拠点形成

みなとオアシス「みなと」を核とした魅力ある地域づくり(中部管内)

(R3年度推進中)④(再掲)

【既存施設の集約・再編】

■小さな拠点の形成

知立駅周辺土地区画整理事業(愛知県知立市)

(R3年度工事中)④

1	天竜川駅周辺地区(静岡県浜松市東区)	(R3 年度測量設計中)④
2		
3	■都市機能の集積	
4	市街地再開発事業 高島屋南地区市街地再開発事業(岐阜県岐阜市)	
5		(R3 年度工事中)[R4 年度完成(予定)]①
6	沼津駅南第一地区 土地区画整理事業(静岡県沼津市)	(R3 年度工事中)[R6 年度完成]②
7		
8	【選択と集中の徹底】	
9	■小さな拠点の形成	
10	岐阜南部横断ハイウェイ (一)扶桑各務原線 新愛岐道路(岐阜県各務原市)★	
11		(R3 年度工事中)④
12	一般国道248号 今工区(岐阜県可児市)★	(R3 年度工事中)④
13	一般国道248号 光ヶ丘工区(岐阜県多治見市)	(R3 年度工事中)④
14	(一)富士由比線 (仮称)新々富士川橋(静岡県富士市)	
15		(R3 年度工事中)[R5 年度完成]①(再掲)
16	(主)吉田大東線 南原(静岡県牧之原市他)★	(R3 年度工事中)④
17	一般国道 152 号 小嵐バイパス(長野県飯田市)★	(R3 年度工事中)④
18	(主)伊那インター線 中央～上の原 (長野県伊那市)	(R3 年度測量設計中)④
19	(都)北天神町古吉町線(長野県上田市)	(R3 年度工事中)④
20	(都)竜東線(長野県伊那市)	(R3 年度工事中)④
21	(都)飯田中津川線(長野県飯田市)★	(R3 年度工事中)④
22	(都)宮渕新橋上金井線(長野県松本市)★	(R3 年度工事中)④
23	(都)松本駅北小松線(長野県松本市)	(R3 年度工事中)④
24	(都)立ヶ花東山線(長野県中野市)	(R3 年度工事中)④
25	(市)千音寺線ほか1(愛知県名古屋市)★	(R3 年度工事中)④
26	(都)山の手通線(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④
27	(主)春日井長久手線ほか1(愛知県名古屋市)	(R3 年度測量設計中)④
28	(市)大原 2 号線(静岡県浜松市北区)	(R3 年度工事中)④
29		
30	■観光・交流拠点形成	
31	静岡県港湾地方創生港整備推進事業	
32	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②】
33	静岡県港湾環境整備事業(緑地等施設)	
34	【(静岡県)	(R3 年度工事中)②(再掲)】
35		
36	■都市機能の集積	
37	土地区画整理事業 リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業	
38	【(岐阜県中津川市)	(R3 年度測量設計中)[R10 年度完成(予定)]③】
39		
40		
41		

重点施策	指標
(小さな拠点の形成)	
・都市機能を中心部や生活拠点に集約してその周辺部に居住を誘導するとともに、これらのエリアを結ぶ交通ネットワークを形成するコンパクト・プラス・ネットワークの取組推進(地域公共交通計画と併せた立地適正化計画の作成等)	〔KPI-13〕 ・都市計画道路(幹線道路)の整備率 H29年度 63.3 → R7年度 65.9
(観光・交流拠点形成)	
・道の駅、みなとオアシス、かわまちづくりなど官民連携による地域の独自性を活かした観光・交流拠点形成やまちづくりの推進	・水辺の賑わい創出に向け、水辺とまちが一体となった取組を実施した市区町村の数 R2年度 41 → R7年度 61
(都市機能の集積)	
・都市機能集積を図る土地区画整理事業等の推進	
期待されるストック効果	
・増加する農水産物の輸出需要に対応するため、清水港において小口貨物積替を行う「流通加工機能を備えた物流施設」を整備し、合わせて冷蔵冷凍貨物を一時保管する「リーファーコンテナ電源供給設備」を増設したことにより、輸出環境が強化され、中部周辺の農産物輸出が増加した。今後もさらなる輸出額の増加や、新たな輸出機会の創出が期待されている。 ・魅力ある水辺空間及び賑わい空間が望まれており、港湾環境整備事業(緑地等)、浮桟橋整備等の整備を推進している。また、地域振興の取組が継続的に行われている施設を「みなとオアシス」として登録することで活動の活性化を図っており、これらの施策の実施により賑わいある水辺空間の創出に貢献している。 ・令和9年度にリニア中央新幹線の駅が設置される岐阜県中津川市では、平成29年度から駅周辺の土地区画整理事業を施行している。リニア開業及び駅周辺の土地区画整理事業が完了することにより、市民の暮らしの幅を広げるとともに、多様な交流を活性化させ観光をはじめとする各分野の産業活性化に大きく寄与する。 ・みなとオアシスにも登録されている沼津港は、平成30年度の調査によると年間166万人以上の観光客が来訪しており、年々増加傾向となっている。多くの来訪者に対応するため、平成27年12月に「沼津港みなとまちづくり推進計画」を策定し、計画に基づき、官民連携によるみなとまちづくりを推進している。民間では、来訪者のアクセス向上に繋がるシェアサイクルステーションの設置などを行い、県では観光バスやタクシーの乗降場を併設した多目的広場や憩い・交流の空間としての緑地の整備などを進めている。 ・知立駅周辺は知立市の中心市街地であるとともに、名鉄名古屋本線と三河線の乗換駅であり、西三河地域の交通の要衝でありながら、鉄道により市街地が分断され慢性的な交通渋滞が発生するなど、まちの発展の支障となってきた。そこで、連続立体交差事業と併せて土地区画整理事業を施行し、10箇所の踏切除却と21路線の新たな交差道路整備の他、駅前広場、公園、歩道等の整備により、商業の活性化や都心居住環境の改善を推進しようとするものである。 ・天竜川駅周辺地区は、「拠点ネットワーク型都市構造」を実現するための主要生活拠点に位置付けられており、駅の橋上化及び南北自由通路、駅前広場の整備により、駅利便性が向上し、駅利用者の増加を確認するなど、拠点としての機能向上を確認している。今後は、駅からのネットワークの強化により、更なる機能向上が図られる。	
「インフラ経営」の取組	
・高島屋南地区では、本事業により、耐震性、耐久性、耐火率の改善による防災性の向上が図られるなど快適で安全な都市環境が創出される。さらに、本事業で整備される住宅や公益的施設により、まちなか居住が促進され、中心市街地の活性化や集客力の向上が期待できる。	

小目標4-2: ハード・ソフト両面のバリアフリー化による移動等円滑化

(重点施策の概要)

- ・移動・生活空間における交通安全対策を進めるとともに、全ての利用者に利用しやすい施設及び車両等の整備を通じて、国民が生き生きと安全に暮らせる活力ある社会の維持に寄与する共生社会の実現を目指し、更にバリアフリー化を推進するとともに、高齢者、障害者等も含めて誰もが包摂され活躍できる社会の実現に向けた取組を進める。
- ・旅客施設や車両等のハード面でのバリアフリー対策を進めるとともに、ソフト面でも「心のバリアフリー」を推進し、高齢者、障害者、子ども、子育て世代等の多様な人々が、安全・安心かつ不自由なく移動できる地域づくりを進める。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえつつ事業機会に合わせた施設のバリアフリー化の取組を推進する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔14〕 ハード面のバリアフリー対策

- ・通学路における歩道等の整備率

[R 元年度 57% → R7 年度 61%]

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①: ~R5 年度、②: ~R7 年度、③: ~R12 年度頃、④: 完成時期未定)

★印: 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【インフラの利活用】

バリアフリー道路特定事業(静岡県静岡市) (R3 年度推進中)④

移動等円滑化促進方針(マスタープラン)・移動等円滑化基本構想の作成 (R3 年度推進中)④

重点施策	指標
(ハード面のバリアフリー対策)	
・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた旅客施設や車両等のハード面でのバリアフリー対策の推進	〔KPI-14〕 ・通学路における歩道等の整備率 R 元年度 57% → R7 年度 61%
・市町村におけるバリアフリーに関する基本構想等の策定と、その推進体制の強化を図る。	
(心のバリアフリー)	
・「心のバリアフリー」の推進	
(移動円滑化に資する安全・安心の確保)	
・航空・空港の安全の確保	・ハイジャック及びテロの発生件数 R2年度 0 件 → R3年度以降 0件を維持
期待されるストック効果	
・バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、高齢者や障害者など、全ての人々が安心して生活・移動できる環境の実現が期待される。	
「インフラ経営」の取組	
・誰もが安全に移動できる道路環境を実現するために、生活道路等における安全確保策に取り組む。	

重点目標5: インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション(DX)

目指すべき姿

・ポストコロナ時代の「新たな日常」も見据え、情報技術の利活用、新技術の社会実装を通じた社会資本整備分野のデジタル化・スマート化により、インフラや公共サービスを変革し、働き方改革・生産性向上を進めるとともに、インフラへの国民理解の促進や、安全・安心で豊かな生活の実現を図る

現状と課題

・インフラに関する多様なデータが点在するとともに、人流・物流・地形・気象といった他のデータとも連携しきれていないことを踏まえ、インフラデータの一元化・連携強化に取り組み、最大限に活用する必要がある。

・社会資本の整備や維持管理段階において、3次元設計や無人化施工等の ICT 技術の建設現場での活用が進みつつあるが、中長期的な建設業の担い手の確保や老朽化対策におけるメンテナンスコスト削減の必要性を踏まえ、新技術活用による施工・維持管理等のさらなる高度化・効率化に取り組む必要がある。

・また、都市や地域が交通・防災・医療・エネルギー等の多様な課題に直面するとともに、分野においても技術革新への対応が国際競争を勝ち抜く上で不可欠となる中、ICT や AI 等の新技術を活用してインフラの機能を最大限に引き出し、課題解決や新たな価値の創造に寄与する必要がある。

・さらに、自動運転や MaaS 等の革新的な技術の開発や実用化が着実に進んでいるものの、社会実装の本格化に向けては、インフラ側の環境整備も重要である。

・限られた体制のもとでも、道路利用者に対して安全・安心な通行を確保するとともに高度な道路インフラサービスを提供することが必要である。また、デジタル技術や新技術の導入等による道路管理や行政手続きの省力化・効率化が必要である。

小目標5-1: メンテナンス産業強化

(重点施策の概要)

・「中部圏けんせつ未来懇話会」や「中部圏建設担い手育成ネットワーク協議会」等による取組により、産学官が連携して社会資本整備及び維持管理・更新を支える人材の確保及び育成に向けた取組を推進する。

・社会資本の維持管理体制の構築および維持・更新に関する新技術の導入を図りつつ、「i-Construction 中部ブロック推進本部」の取組によるICT技術の導入・普及や省力化、施工時期の平準化により社会資本整備及び維持管理・更新を支える建設業の生産性向上に取り組む。

・社会資本に関する情報基盤の整備による社会資本の基本情報、健全性の情報一元化や電子化を推進し共有化することで、高度かつ効率的な維持管理が可能な体制を構築する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔15〕（社会資本の情報基盤整備）

- ・下水道：管路施設のマネジメントに向けた基本情報等の電子化の割合

【R2年度 37% → R7年度 100%】

- ・官庁施設：基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合

【R元年度 100% → R7年度 100%】

- ・1級水系および2級水系の利水ダムにおける情報網整備率

【令和元年度 62% → 令和7年度 100%】

目標の達成に寄与する主要取組

（完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定）

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■人材の確保・育成

人材確保・育成 BIM/CIM 推進人材の育成

(R3年度推進中)④

■建設業の生産性向上等

建設業の生産性向上等 建設業許可申請、経営事項審査申請の電子化

(R3年度推進中)④

建設業の生産性向上等 設計における3次元設計実施

(R3年度推進中)④

建設業の生産性向上等 3次元設計を活用した工事

(R3年度推進中)④

建設業の生産性向上等 中部 i-Construction 研究会によるICT技術の導入・普及

(R3年度推進中)④

【インフラの利活用】

■社会資本の情報基盤整備

県管理道路 AIによる画像解析を用いた道路利用状況の計測や提供(県内各地)★

(R3年度推進中)④

狩野川水系維持管理(静岡県沼津市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

安倍川水系維持管理(静岡県静岡市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

大井川水系維持管理(静岡県島田市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

菊川水系維持管理(静岡県菊川市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

天竜川水系維持管理(静岡県浜松市、長野県駒ヶ根市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

豊川水系維持管理(愛知県豊橋市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

矢作川水系維持管理(愛知県豊田市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

庄内川水系維持管理(愛知県名古屋他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

木曽川水系維持管理(岐阜県岐阜市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

鈴鹿川水系維持管理(三重県四日市市他)★

(R3年度工事中)④(再掲)

1	雲出川水系維持管理(三重県津市他)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
2	櫛田川水系維持管理(三重県松阪市他)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
3	宮川水系維持管理(三重県伊勢市他)★	(R3 年度工事中)④(再掲)
4		
5		

重点施策	指標
(人材の確保・育成)	
・産学官の連携による社会資本整備及び維持管理・更新を支える人材の確保及び育成	
(建設業の生産性向上等)	
・社会資本の維持管理体制の構築および維持・更新に関する新技術の導入	
・社会資本整備及び維持管理・更新を支える建設業の生産性向上に資する取組推進	
(社会資本の情報基盤整備)	
・社会資本に関する情報基盤の整備による情報一元化	〔K P I - 1 5〕 ・下水道：管路施設のマネジメントに向けた基本情報等の電子化の割合 R 2 年度 37% → R7 年度 100% ・官庁施設：基本情報、健全性等の情報の集約化・電子化の割合 R 元年度 100% → R7 年度 100% ・1級水系および2級水系の利水ダムにおける情報網整備率 令和元年度 62% → 令和7年度 100% ・排水機場の遠隔監視・操作化実施率 R2 年度 7% → R7 年度 100% ・建設業許可関係手続のオンラインによる申請の割合 R 元年度 0% → R8 年度 20% ・経営事項審査のオンラインによる申請の割合 R 元年度 0% → R8 年度 50% ・排水ポンプ車の統合運用に向けた情報集約化の実施率 R2 年度 43% → R7 年度 約 100%
期待されるストック効果	
・インフラのデジタル化を進め、2023 年度までに小規模なものを除くすべての公共事業について BIM/CIM 活用への転換を実現することで、抜本的な生産性や安全性向上が期待できる。	
・港湾データ連係基盤の構築により、すべての港湾情報や貿易手続きを電子的に取り扱いを標準とする環境を形成する。さらに、海外港湾や異業種の情報プラットフォームとも接続し、連携する情報の拡大を図ることで情報の利活用による利便性・生産性を最大限に高める。	
「インフラ経営」の取組	
・画像解析により自動車、歩行者等のデータ収集や異常検知が可能なAIカメラについて、高速道路や直轄国道へ配備し、県が管理する道路に配備されたカメラとも連携しつつ、ETC2.0 データ等も活用しながら、利用者への提供も含めた高度な道路交通管理を推進する。	

重点目標6: インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上

目指すべき姿

・インフラ分野の脱炭素化等によりグリーン社会の実現を目指すとともに、インフラの機能・空間を多面的・複合的に利活用することにより、インフラのストック効果を最大化し、国民の生活の質を向上させる。

現状と課題

- ・2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化緩和策が急務となる中、防災・減災対策等の気候変動適応策に加えて、我が国の CO2 排出量の約5割を占める運輸・民生（家庭、業務その他）部門における一層の排出削減が必要である。また、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が進む中、インフラを活用した太陽光発電、洋上風力、バイオマス等の再生可能エネルギーや水素・アンモニア等の次世代エネルギーの利活用拡大など、革新的な技術開発や社会実装も含め、地方公共団体や民間事業者等とも連携して更に取り組む必要がある。
- ・自然災害の激甚化・頻発化などの気候危機や、新型コロナウイルス感染症拡大などに直面する中、雨水の貯留・浸透や生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）⁹、生態系ネットワークに配慮した自然環境の保全、「新しい生活様式」に対応した健康でゆとりあるまちづくり、SDGs に沿った環境に優しい地域づくり、生物多様性の保全と持続可能な利用、観光等による地域振興等を実現するために、自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラを推進することが重要である。先進的なグリーンインフラの事例を全国に展開するなど、グリーンインフラの社会実装を加速するための取組が必要である。
- ・水循環・生態系環分野においては、都市部への人口集中や気候変動等により、渇水、生態系への影響等の問題が顕著となっており、健全な水循環の維持、回復及び藻場・干潟等のブルーカーボン生態系の造成・保全・再生に向けた取組が必要である。また、感染症対策を含めた公衆衛生の観点からも、汚水処理体制の確保が必要である。
- ・他者とのつながりや交流に対するニーズに加え、感染症予防のための空間的余裕の確保の必要性、デジタル化の急速な進展や感染症がもたらすニューノーマルによる社会の変化を踏まえ、ゆとりとにぎわいのあるインフラ空間の整備や利活用の促進、自転車通勤等のさらなる普及を見据えた利用環境の整備が必要である。
- ・観光ニーズが多様化するとともに、非日常的な体験に価値を見出す消費観が広がる中、インフラツーリズム（インフラを観光資源として位置付け、観光を通じた地域振興に資するインフラ活用の取組）を推進するための環境整備が必要である。

小目標6-1: 中部の魅力を高める快適安心生活環境

（重点施策の概要）

⁹ 生態系を活用した防災・減災（Ecosystem-based Disaster Risk Reduction）の略。

- ・都市における道路と鉄道との連続立体交差化など都市部の都市交通の円滑化を推進する。
- ・安全で快適な自転車利用環境の整備、通学路等における歩道整備など安全対策や事故ゼロプランにより重点的・集中的に講じることによる効率的・効果的な交通事故対策や踏切安全対策など交通安全対策を推進する。
- ・水と緑を活かした公園整備など、良好な住環境・生活環境づくりの取組を推進する。
- ・地域特性にふさわしい良好な都市景観形成、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりなど魅力あるまちなみづくりの取組を推進する。
- ・多様な交通モード間の接続を強化する集約型公共交通ターミナルの整備を行い、人とモノの流れの円滑化や地域の活性化、災害対応の強化を促進する。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔16〕交通安全対策

- ・ゾーン30等による30km/h速度規制等とハンプ・狭さく等の道路整備を組み合わせた対策による道路等における死傷事故抑止率

【R7年 R元年比約3割抑止】

- ・幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率

【R7年 R元年比約3割抑止】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①：～R5年度、②：～R7年度、③：～R12年度頃、④：完成時期未定)

★印：「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる
※初年度分である令和2年度第3次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■都市交通の円滑化

JR東海道本線・JR御殿場線 連続立体交差事業(静岡県沼津市) (R3年度測量設計中)④

■交通安全対策

交通安全対策事業((主)西尾吉良線)(愛知県西尾市)

(R3年度測量設計中)(R9年度完成)③

交通安全対策事業(愛知県内)

(R3年度工事中)②

道路空間の再配分等による自転車通行空間のネットワーク計画策定及び整備の推進(愛知県一宮市ほか)

(R3年度推進中)④

通学路交通安全プログラムに基づく、安全な通学路の整備の推進(愛知県瀬戸市ほか)

(R3年度推進中)④

一般国道257号 井伊谷(静岡県浜松市北区)

(R3年度工事中)④

■良好な景観の形成

(都)新橋茱萸沢線 街路整備事業(無電柱化推進事業)(静岡県御殿場市)★

(R3年度工事中)④

【ハード・ソフト一体となった取組】

■交通安全対策

生活道路における速度低減や進入抑制の推進(愛知県瀬戸市他) (R3 年度推進中)④

■良好な生活環境づくり

県営都市公園 県営都市公園の活性化の推進(岐阜県各務原市他) (R3 年度推進中)④

■良好な景観の形成

放置艇対策(中部管内) (R3 年度推進中)④

なごや東山の森づくり(東山公園)(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)④

【インフラの利活用】

■交通安全対策

交通安全対策事業(愛知県名古屋市) (R3 年度推進中)④

自転車利用環境整備事業(愛知県名古屋市) (R3 年度推進中)④

静岡市自転車走行空間ネットワーク整備事業(静岡県静岡市) (R3 年度推進中)④

静岡市通学路交通安全事業(静岡県静岡市) (R3 年度推進中)④

バリアフリー道路特定事業(静岡県静岡市) (R3 年度推進中)④

【既存施設の集約・再編】

■交通安全対策

無電柱化推進:市道 御園町線支線第1号(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)④

【選択と集中の徹底】

■都市交通の円滑化

(都)長良系貫線

【(岐阜県岐阜市) (R3 年度工事中)④】

名古屋鉄道名古屋本線等連続立体交差事業(知立駅付近)

【(愛知県知立市) (R3 年度工事中)④(再掲)】

東海旅客鉄道武豊線半田駅付近連続立体交差事業

【(愛知県半田市) (R3 年度工事中)④】

国道 302 号及び(都)守山本通線と名古屋鉄道瀬戸線との立体交差事業★

【(愛知県名古屋市) (R3 年度工事中)④】

■交通安全対策

国道 21 号 大垣河間地区交差点改良

【(岐阜県大垣市) (R3 年度工事中)④】

国道 1 号 清水西地区交差点改良

【(静岡県静岡市) (R3 年度工事中)④】

1	国道1号 長鶴交差点改良	
2	【(静岡県浜松市)	(R3 年度測量設計中)④】
3	国道139号 広見IC 交差点改良	
4	【(静岡県富士市)	(R3 年度測量設計中)④】
5	国道1号 円六橋・瓦町交差点改良	
6	【(愛知県豊橋市)	(R3 年度工事中)④】
7	国道302号 香南交差点改良	
8	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度測量設計中)④】
9	国道25号 伊賀IC 改良	
10	【(三重県伊賀市)	(R3 年度工事中)④】
11	国道19号 神戸地区視距改良	
12	【(長野県木曽郡南木曽町)	(R3 年度工事中)④】
13	国道19号 釜戸町歩道整備	
14	【(岐阜県瑞浪市)	(R3 年度工事中)④】
15	国道1号 葵西自転車走行空間整備	
16	【(静岡県静岡市)	(R3 年度工事中)④】
17	国道19号 名古屋南部自転車通行空間整備	
18	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度工事中)④】
19	国道42号 御浜紀宝地区自転車通行空間整備	
20	【(三重県南牟婁郡御浜町～紀宝町)	(R3 年度工事中)④】
21	国道19号 棧地区歩道整備	
22	【(長野県木曽郡上松町)	(R3 年度工事中)④】
23	交通事故対策及び通学路対策	
24	【(岐阜県内一円)	(R3 年度推進中)④】
25	(主)藤枝黒俣線ほか 自動車走行空間整備 藤枝市内★	
26	【静岡県藤枝市)	(R3 年度工事中)④】
27	一般国道301号 新居	
28	【(静岡県湖西市)	(R3 年度工事中)④】
29	(主)甲南阿山伊賀線	
30	【(三重県伊賀市田中～伊賀市川合)	(R3 年度工事中)④】
31	一般国道152号 栗田～四日市場★	
32	【(伊那市)	(R3 年度工事中)④】
33	自転車利用環境整備事業	
34	【(長野県諏訪市(諏訪湖周))	(R3 年度工事中)④】
35	歩道整備事業	
36	【(長野県辰野町(宮所))	(R3 年度測量設計中)④】
37		
38	■良好な景観の形成	
39	(一)富士富士宮線 宮町★	
40	【(静岡県富士宮市)	(R3 年度工事中)④】

■人中心に捉えたインフラ空間

一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業[残事業費 75 億円 (R2 年度評価時点)]

【(三重県四日市市)

(R3 年度測量設計中)④】

重点施策	指標
(都市交通の円滑化)	
・都市における道路と鉄道との連続立体交差化など都市部の都市交通円滑化の推進	
(交通安全対策)	
・自転車利用環境の整備、通学路等の安全対策、交通事故対策や踏切安全対策など交通安全対策の推進	[K P I - 1 6] ・ゾーン 30 等による 30km/h 速度規制等とハンプ・狭さく等の道路整備を組み合わせた対策による生活道路等における死傷事故抑止率 R7 年 R 元年比約 3 割抑止 ・幹線道路の事故危険箇所における死傷事故抑止率 R7 年 R 元年比約 3 割抑止
(良好な生活環境づくり)	
・水と緑を活かした公園整備など、良好な住環境・生活環境づくりの取組推進	
(良好な景観の形成)	
・地域特性にふさわしい良好な都市景観形成など魅力あるまちなみづくりの取組推進	・景観計画に基づき重点的な取組を進める市区町村数 R 元年度 34 → R7 年度 43 ・歴史的風致の維持及び向上に取り組む市町村数 R2 年 16 → R7 年度末 20
(人中心に捉えたインフラ空間)	
・多様な交通モード間の接続を強化する集約型公共交通ターミナルの整備を行い、人とモノの流れの円滑化や地域の活性化、災害対応の強化の促進	
・「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出を推進	
期待されるストック効果	
・放置艇は、景観の悪化や船舶航行の支障だけでなく、沈船による海洋汚染や津波等発生時の流出による二次被害への問題がある。これを受け放置艇対策として、保管能力の向上と規制の強化を推進しており、着実に放置艇が減少し、安全かつ魅力ある水辺空間の創出に貢献している。 ・岐阜市正木地区では、東海環状自動車道の開通を見据え、土地区画整理事業による新たな宅地開発など行ってきた。平成 23 年度から、東海環状自動車道へのアクセス道路となる都市計画道路の整備を行っている。東海環状自動車道及びアクセス道路の整備が完了することにより、安全で快適な生活環境が整い、更なる沿道の土地利用が見込まれ、地域の活性化や魅力向上に大きく寄与する。 ・沼津駅周辺では、鉄道により市街地が南北に分断され、付近にある 3 つのガードでは、日常的な交通渋滞や、交通事故、集中豪雨による通行止めなどが起こっている。連続立体交差事業により、鉄道を一定区間高架化することにより、南北市街地の一体化、都市交通の円滑化や歩行経路の確保、高架下の有効利用など、多くの効果が期待できる。また、土地区画整理事業などの関連事業を一体的に実施することにより、災害時の防災性の向上、魅力ある都市拠点の形成、都心居住の推進など、これからの都心に求められる様々な都市機能が形成され、街の活性化に大きく寄与するものである。 ・半田市は、知多地域の中核都市として発展してきたが、中心市街地を J R 武豊線が分断することによる都市機能の低下や、踏切での交通渋滞が大きな課題となっている。このため、鉄道高架化に伴う 9 箇所の踏切除却と 2 路線の新たな交差道路整備により、都市交通の円滑化を図るとともに、市が進める半田駅周辺土地区画整理事業により、駅周辺の市街地の再生を図り、歴史文化を活かしたまちづくりを実現する。 ・主要地方道甲南阿山伊賀線は、三重県と滋賀県を結ぶ必要な道路で、生活道路としても利用され	

ている。沿道には、住宅やマンションが建設され、小中学校に通う児童等が増加していることから、通学路における交通安全対策として歩道整備を実施することで、安心して快適に生活できる生活環境の構築が期待できる。

- ・一般国道 257 号の当該区間は、周辺の小中学校の通学路に指定されている道路であるが、歩道が整備されておらず、路肩も狭いことから、通学路交通安全対策プログラムにおいて対策箇所として指定されており、安全対策が急務である。このため、歩道設置により、通学生徒を含む歩行者の安全・安心な歩行空間を確保する。

「インフラ経営」の取組

- ・県営都市公園の活性化に向け、ハード・ソフトの両面にわたる具体的な取組内容を盛り込んだ「新・岐阜県都市公園活性化基本戦略」を策定し地域の発展と活性化に資する公園施策や、アフターコロナを見据えた新たな取組みを通じて、これからの社会や生活、新たなライフスタイルに対応した、さらにはその実現をけん引する公園づくりを進める。

1

小目標6-2:環境共生、美しい豊かな国土づくり

(重点施策の概要)

- ・「伊勢湾再生推進会議」などを通じて産学官民が連携し、海域の漂流ゴミの回収、深掘れ跡の埋戻し、ブルーカーボン生態系(藻場・干潟等)の造成等による環境保全・再生・創出の取組を推進する。
- ・污水处理施設整備、高度処理の導入、放流先の水域の状況に応じた順応的な水質管理等を通じた水質改善を図る。
- ・湖沼や都市河川、運河の浄化、河川流況の改善、多自然川づくりなど河川環境の保全・再生を図る。
- ・道路ネットワークを賢く使い道路網の強化・円滑化を図るとともに、幹線道路における環境施設帯等の整備や大気・騒音の沿道環境改善を図る。
- ・国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じ温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラルポート(CNP)」の形成に取り組み、また空港の脱炭素化の推進により水素・アンモニア等の次世代エネルギーの大量輸入や貯蔵、利活用等を推進する。
- ・下水汚泥のエネルギー利用等、廃棄物の有効活用とともに廃棄物の最終処分場の確保や漂流・漂着ごみ対策を推進し循環型社会の形成を図る。

重点施策の達成状況を測定するための代表的な指標(KPI)

〔17〕 順応的な水質管理等を通じた水質改善

- ・ 污水处理人口普及率

【R元年度 89% → R8年度 94%】

- ・ 良好な水環境創出のための高度処理実施率

【R元年度 57.4% → R7年度 60.0%】

〔18〕 河川・湖沼環境の保全等

- ・ 特に重要な水系における湿地の再生割合

【R元年度 75% → R7年度 79%】

〔19〕 循環型社会の形成

- ・ 下水道バイオマスリサイクル率

【R元年度 36.0% → R7年度 48.0%】

目標の達成に寄与する主要取組

(完了予定時期 ①: ~R5年度、②: ~R7年度、③: ~R12年度頃、④: 完成時期未定)

★印: 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の内容*が含まれる

※初年度分である令和 2 年度第 3 次補正予算に計上されたものに限る

【各主体が連携した取組】

■海域・沿岸域等の環境保全再生

伊勢湾再生(伊勢湾内) (R3 年度推進中)④

愛知県港湾海域環境創造事業(愛知県内) (R3 年度工事中)[R10 年度完成]③

■順応的な水質管理等を通じた水質改善

愛知県流域下水道事業(愛知県豊橋市他) (R3 年度推進中)④

■河川・湖沼環境の保全等

木曽川総合水系環境整備事業(愛知県一宮市、愛西市他、岐阜県岐阜市、海津市他、三重県桑名市他)[残事業費 54 億円(H30 年度評価時点)] (R3 年度工事中)④

天竜川総合水系環境整備事業(静岡県浜松市他、長野県伊那市他) (R3 年度推進中)[R3 年度完成]①

豊川総合水系環境整備事業(愛知県豊橋市、豊川市)[残事業費 11 億円(H30 年度評価時点)] (R3 年度工事中)[R10 年度完成]③

矢作川総合水系環境整備事業(愛知県西尾市他) (R3 年度工事中)[R7 年度完成]②

狩野川総合水系環境整備事業(静岡県清水町、伊豆の国市)[残事業費 6 億円(R2 年度評価時点)] (R3 年度工事中)[R10 年度完成]③

大井川総合水系環境整備事業(静岡県島田市)[残事業費 7 億円(H28 年度評価時点)] (R3 年度推進中)[R8 年度完成]③

庄内川総合水系環境整備事業(岐阜県多治見市、土岐市)[残事業費 1 億円(H29 年度評価時点)] (R3 年度工事中)[R10 年度完成]③

田川総合水系環境整備事業(三重県松阪市)(R3 年度推進中) [R5 年度完成]①

宮川総合水系環境整備事業(三重県玉城町) (R3 年度推進中)[R3 年度完成]①

諏訪湖 統合河川環境整備事業(長野県岡谷市他) (R3 年度工事中)④

■循環型社会の形成

海洋環境整備事業(伊勢湾内) (R3 年度推進中)④

■循環型社会の形成

スーパーシティ構想推進事業(愛知県常滑市) (R3 年度調査・検討中)④(再掲)

【ハード・ソフト一体となった取組】

■地球温暖化対策の推進

カーボンニュートラルポート(CNP)の形成 (R3 年度推進中)④

国内物流を安定的に支えるフェリー・RORO 輸送網の構築 (R3 年度推進中)④(再掲)

港湾荷役機械の省エネルギー化の取組推進 (R3 年度推進中)④

【選択と集中の徹底】

■順応的な水質管理等を通じた水質改善

1	木曽川右岸流域下水道【污水处理の普及】[残事業費 62 億円(R2 年度評価時点)]	
2	【(岐阜県各務原市他)	(R3 年度調査・検討中)④】
3	流域下水道整備事業(污水处理の普及)	
4	【(三重県四日市市他)	(R3 年度推進中)R8 年度完成]③】
5		
6	■循環型社会の形成	
7	国道 19 号 岐阜 19 号環境対策	
8	【(岐阜県多治見市～中津川市)	(R3 年度測量設計中)④】
9	国道 23 号 愛知 23 号環境対策	
10	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度測量設計中)④】
11	一般国道 302 号 愛知 302 号環境対策	
12	【(愛知県名古屋市)	(R3 年度測量設計中)④】
13	国道 23 号 三重 23 号北部・中部環境対策	
14	【(三重県桑名郡木曽岬町～松阪市)	(R3 年度工事中)④】
15	リサイクルボートの推進	
16	【(三河港)	(R3 年度推進中)④】
17	衣浦港外港地区港湾環境整備事業(廃棄物埋立護岸等)	
18	【(愛知県碧南市)	(R3 年度工事中[R6 年度完成]②】
19		
20		

重点施策	指標
(海域・沿岸域等の環境保全再生)	
・「伊勢湾再生推進会議」などを通じて産学官民が連携し、海域の漂流ゴミの回収、深掘れ跡の埋戻し、ブルーカーボン生態系(藻場・干潟等)の造成等による環境保全・再生・創出の取組推進	
・ブルーカーボン生態系(藻場・干潟等)の造成・再生・保全	
(順応的な水質管理等を通じた水質改善)	
・污水处理施設整備、高度処理の導入、放流先の水域の状況に応じた順応的な水質管理等を通じた水質改善	[K P I - 1 7] ・污水处理人口普及率 R 元年度 89% → R8 年度 94% ・良好な水環境創出のための高度処理実施率 R 元年度 57.4% → R7 年度 60.0%
(河川・湖沼環境の保全等)	
・湖沼や都市河川、運河の浄化、河川流況の改善、多自然川づくりなど河川環境の保全・再生	[K P I - 1 8] ・特に重要な水系における湿地の再生割合 R 元年度 75% → R7 年度 79%
(沿道環境改善)	
・道路ネットワークを賢く使い道路網の強化・円滑化を図るとともに、幹線道路における環境施設帯等の整備や大気・騒音・振動の沿道環境改善を図る	
(地球温暖化対策の推進)	
・水素等次世代エネルギーの大量輸入や利活用等を図るため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じたカーボンニュートラルポートの形成および空港の脱炭素化の推進	
道路分野における地球温暖化対策の推進	
(循環型社会の形成)	
・廃棄物の最終処分場の確保や漂流・漂着ごみ対策の推進	

・下水汚泥バイオマス・下水熱等の再生エネルギーの利用などによる廃棄物の減容化・有効活用	〔KPI-19〕 ・下水道バイオマスリサイクル率 R元年度 36.0% → R7年度 48.0%
期待されるストック効果	
・静岡県 の狩野川において、かわまちづくりの取組として管理用通路や親水護岸・階段など親水エリアの整備を進めることで、河川敷や水辺を安全に利用することが可能となる。親水空間を多くの方が利用されることで、地域の魅力が向上し来訪者が増加及び地域の活性化を目指している。今後もかわまちづくり等の水辺とまちが一体となった取組や都市・地域再生等利用区域指定など制度の活用により、公共空間を活かした賑わいの場が創出されることで地域の活性化が期待される。 ・伊勢湾は高度経済成長期の急速な経済発展による環境への影響を受け赤潮、苦潮、貧酸素水塊が発生し生態系等への悪影響が生じている。これらの改善に向けて、良好な環境の実現を目指し「伊勢湾再生行動計画」を策定し、環境モニタリングを行うとともに伊勢湾再生に向けた各種施策を進めている。三河港では深掘れ箇所の埋め戻し、覆砂を実施することとで底質・水質浄化の促進を図っており、海域環境改善の促進が期待される。 ・世界的な脱炭素化への動きや政府方針を踏まえ、我が国の輸出入の99.6%を取扱い、海陸の国際物流の結節点となり産業拠点ともなる国際港湾等においては、立地企業や港運・物流事業者などの多様なニーズを踏まえつつ、水素等を活用した脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や臨海部産業の集積を推進している。また、カーボンニュートラルポートの形成により、港湾を中心とした周辺地域における物流全体のグリーン化の促進が期待される。 ・これまで、CO2、Nox排出量の削減を目的に港湾荷役機械の電動化を進めてきた。今後も導入を推進することで、環境負荷低減の他、給油時間が削減されることにより荷役可能時間が増え、荷役作業の効率化も期待される。 ・伊勢湾内で流木等大型漂流物による船舶の航行への支障や大規模油流出事故による海洋汚染が発生すると地域経済に多大な影響を及ぼす。海洋環境整備船「白龍」により伊勢湾内の航行安全、環境保全対策を実施しており、健全で活力ある地域経済の維持に大きく貢献している。 ・木曽川右岸流域下水道は、木曽川及び長良川の4市6町の汚水を広域的に処理している。平成3年4月の供用開始後、市町の下水道整備にあわせて処理能力を増加させるとともに高度処理の導入により放流河川や伊勢湾の水質改善に寄与し、今後も下水道事業の継続的な推進により、美しい豊かな国土の形成を図る。 ・下水道が整備される前は、市街地を流れる河川へ生活排水や工場排水等が流れ込み、河川の水質汚濁が進んでいたが、愛知県では昭和46年から流域下水道事業に着手し、鋭意下水道整備を進めてきた。その結果、近年では水質改善の効果が徐々にみられるようになり、平成26年度には初めて河川の環境基準達成率が100%になるまで改善されている。下水道整備による良好な水辺空間の回復により、市街地の河川では県民の憩いの場としてイベントなども開催されている。 ・リサイクルポート(総合静脈物流拠点港)の推進により、オールジャパンでの循環型社会の構築を目指して、リサイクル施設の広域的立地に対応した静脈物流ネットワークの拠点を構築している。狭い地域内で循環利用できない廃棄物や副産物等を広域的に流動させることにより、オールジャパンでの利用を進め、同時に小エネルギー消費、CO2排出削減等、環境負荷の小さい海上輸送へのモーダルシフトの促進が図られ、廃棄物最終処分 の極小化に繋がることが期待される。	
「インフラ経営」の取組	
・岐阜県各務原市にある各務原浄化センターは、下水道施設として公共用水域の水質改善などの役割を担うとともに、運動施設や公園の整備により人々がふれあい、賑わう空間を創出している。 ・愛知県蟹江町の蟹江川の整備により河川環境を向上させ、「観光交流センター【祭人】」との連携など、蟹江町の観光産業振興の取り組みとも連携し、人と川との関わりを取り戻し、地域の活性化を創出。 ・愛知県岡崎市の乙川の整備により河川環境を向上させ、河川敷地線占用許可準則22条等を活用した民間事業者等の占用や、河川と隣接した背後地における河川とまちの一体利用を創出。 ・諏訪湖は、長野県の岡谷市、諏訪市、下諏訪町にまたがり、人口約20万人の諏訪盆地の中心に位置する面積13.3k㎡、周囲長15.9kmの淡水湖である。都市公園や湖周道路が整備され、市民の憩いの場であるとともに、温泉地、諏訪大社、花火大会等、観光客の安らぎの場となっており、各種浄化工法(覆砂、沈殿ピット、植生水路)や親水護岸を実施することで自然環境・景観を備え、かつ、親水性、利用面等、現代のニーズ等にも対応した自然再生を図る。	

第4章 計画を推進するための方策

1. 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施

事業の効率性及び、その実施過程の透明性の一層の向上を図るため、新規事業採択時評価、再評価及び、完了後の事後評価による一貫した事業評価体系の下、公共事業評価を実施するとともに、新規事業採択時評価の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数案の比較・評価を行う計画段階評価を実施する。

さらに、安全・安心の確保、生活の質の向上、民間投資の誘発や生産性の向上による生産拡大といった社会資本のストック効果の発現状況について、多面的な効果を踏まえつつ、事業完了後における中部ブロックの即地的な社会経済状況の変化を継続的に把握・公表するなど、ストック効果の見える化の取組を推進する。

2. 社会資本整備への多様な主体の参画・協働と透明性・公平性の確保

(1) 関係機関等の連携強化

中部の課題に中長期的な視点から計画的に対応すべく、本重点計画の実行を図っていくに当たっては、関東や北陸、近畿との連携や社会資本の様々な事業分野間の連携はもとより、社会資本整備政策以外の関係府省庁が所管する各種の政策分野との連携強化を図っていく必要がある。

さらに、中部圏広域地方計画と調和を図りつつ、地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略や国土強靱化地域計画と連携を図っていく必要がある。

また、社会資本の大部分を管理しているのは地方公共団体であることから、本重点計画の実効性を確保するためには、都道府県や市町村等との役割分担を踏まえ、その自主性及び自立性を尊重しつつ、相互の補完・連携を強化していく必要がある。

特に、社会資本の既存施設のメンテナンスを社会資本整備政策のメインストリームのの一つとして取り組んでいくとともに、PPP/PFI 等の多様な取組を効果的に推進していくために、国と地方が連携を強化し、総合的に取り組む必要がある。

(2) 社会資本整備への多様な主体の参画と透明性・公平性の確保

国民の価値観が多様化する中で社会資本整備を円滑に進めるためには、事業の構想・計画段階、実施段階、そして管理段階のそれぞれの段階において、多様な主体の参画を通じて受け手のニーズに合わせたものとするとともに、効率性にも留意しながら各段階において透明性・公平性が確保されたプロセスを経ることにより、社会資本整備に対する国民の信頼度を向上させるとともに、整備された社会資本が有効に活用され、そのストック効果が最大限発現されることが重要である。

さらに、地域における社会資本を守り・支え、管理者のみならず利用者も含めた協働により将来にわたって当該社会資本が必要な機能を発揮し続けるようにしていくことが求められる。

3. 社会資本整備における生産性の向上

1 (1)社会資本整備に関する情報基盤の強化

社会資本がもたらす効果に関する評価の充実、社会資本整備への多様な主体の参画の促進等を図るためには、社会資本整備に関する様々な情報の収集・分析や社会資本の利用者の目線に立った分かりやすく、使いやすいオープン化が必要である。

このため、社会資本に関する様々な情報を効率的、効果的に地理空間情報と重ね合わせ共有化する取組を引き続き推進し、利用者の利便性向上を図るなどにより利活用を推進し、社会資本のストック効果を最大限に引き出す。

その際には、社会資本に関する様々な情報の時系列的な変化を分かりやすく「見える化」したり、情報の内容・提供の仕方について国民生活や社会経済活動との関係で利用者が実感できるよう工夫するとともに、様々な情報の複合的な活用によるイノベーションが効果的に発現されるようにするなど、情報の提供者と利用者の双方にとって利用価値を高めていくことも重要な課題である。

14 (2)効果的・効率的な社会資本整備のための技術開発の進展

持続可能で活力ある国土・地域づくりを実現するため、産学官が連携して技術研究開発を進め、その成果を活用し、社会資本整備を効果的かつ効率的に進めることが必要である。

そのために、以下のとおり総合的な取組を推進する。

①効果的かつ効率的な社会資本の維持管理・更新を実現するため、技術研究開発の促進、円滑な現場展開など、新技術の開発・導入を推進する。

②自然災害に対する強靱な国土を実現するため、今後、発生が危惧される大規模な地震、津波、風水害等に対する施設整備等のハード対策と警戒避難体制の充実等のソフト対策に関する技術の高度化を図る。また、発災時における被災状況の迅速な把握や円滑な情報共有・提供を可能とするような技術開発にも取り組む。

③高度交通システムを実現するため、ICT や高度な制御技術を活用し、事故防止・事故の被害軽減、効率的かつ円滑な人流・物流に係る技術開発を推進する。

④豊かで活力のある持続可能な成長を実現するエネルギー・環境先進社会を実現するため、革新的技術による再生可能エネルギーの供給拡大、エネルギー源・資源の多様化、海洋の戦略的な開発・利用・保全を推進する。

⑤オープンデータ・ビッグデータの活用の推進、世界一安全で災害に強い社会を実現するため、情報の入手・利用環境の整備、信頼性の向上を図る。また、ICT やロボット技術等を活用した情報化施工・無人化施工等の更なる高度化や、建設分野における BIM/CIM の導入事例の蓄積を図る。